

## 書評 201912



### ローマ法王の言葉

法王フランシスコ、講談社第一事業戦略部 編  
法王フランシスコ、ローマ法王庁、カトリック中央協議会 著  
講談社

「ありがとう」それは、気高い魂が咲かせる花です。本当に美しいことです。  
2013 年の就任後から今日に至るまでの法王フランシスコの講話から、「家族」「愛」「ゆるし」「喜び」などに関する言葉を紹介する。

2019:11./ 190p

978-4-06-517989-5

本体 ¥1,500+税



\* 9 7 8 4 0 6 5 1 7 9 8 9 5 \*

産経新聞 2019/12/01



### 総会屋とバブル(文春新書 1241)

尾島 正洋 著

文藝春秋

闇社会の住人でありながら、株主総会で経営陣を攻撃し、震え上がらせた総会屋たち。野村証券など一流企業が、なぜ彼らの呪縛から逃れられなかったのか。論談同友会など総会屋たちの証言からバブル経済の裏側を描く。

2019:11./ 246p

978-4-16-661241-3

本体 ¥800+税



\* 9 7 8 4 1 6 6 6 1 2 4 1 3 \*

産経新聞 2019/12/01



### 定価のない本

門井 慶喜 著

東京創元社

終戦後ふたたび復興を遂げつつあった古書の街・神田神保町。名もなき古書店主の死をめぐる探偵行は、やがて戦後日本の闇に潜む陰謀を炙りだしていき...。長編ミステリ。『ミステリーズ!』連載を書籍化。

2019:9./ 316p

978-4-488-02803-9

本体 ¥1,700+税



\* 9 7 8 4 4 8 8 0 2 8 0 3 9 \*

産経新聞 2019/12/01



### 憲法の正論

西 修 著

産経新聞出版

西修の憲法論のエッセンスがつまった一冊。間違いだらけの憲法論議を指摘し、9 条への正論、憲法改正を阻むもの等を提示する。雑誌『正論』と『産経新聞』正論欄に寄稿した論稿を単行本化。

2019:11./ 248p

978-4-8191-1373-1

本体 ¥1,600+税



\* 9 7 8 4 8 1 9 1 1 3 7 3 1 \*

産経新聞 2019/12/01



### 太陽はひとりぼっち

鈴木 るりか 著

小学館

ある日、家の前に見知らぬビジネスマンがやって来る。さらに別の日にはやせた老婆が家の前に座り込んでいて...。次々登場する謎めいた人物が引き起こす騒動を描いた表題作をはじめ、高校 1 年生作家の書き下ろし全 3 編を収録。

2019:10./ 229p

978-4-09-386556-2

本体 ¥1,300+税



\* 9 7 8 4 0 9 3 8 6 5 5 6 2 \*

産経新聞 2019/12/07

- ご注文の際には、タイトル・出版社名・価格のほか、ISBN も併せてお知らせください。
- 原価の改定、為替相場の変動などの理由により価格を変更する場合がございます。予めご了承の程お願い申し上げます。
- ご注文、ご照会には弊社本・支店・営業部(課)までお申し付けください。
- 表示価格は 2020 年 1 月時点での税抜価格です。



### 望み通りの返事を引き出すドイツ式交渉術

ジャック・ナシャー、安原 実津 著

早川書房

相手のほうが強いときの逆転戦略、相手と信頼関係をきずき、たがいの利益を増やす方法…。話術から準備、締め方まで、ミュンヘン・ビジネススクール教授が、世界中の交渉術のノウハウを独自に体系化して紹介する。

2019:9./ 391p

978-4-15-209884-9

本体 ¥2,100+税



産経新聞 2019/12/07



### 小林秀雄最後の音楽会

杉本 圭司 著

新潮社

終生、最も愛したモーツァルト。晩年、深く共鳴したブラームス。そして、メニューインとの出会いと再会の奇蹟…。小林秀雄の思索は音楽の国で織られていた。近代批評の創始者の生涯にわたる音楽との宿縁を描く。

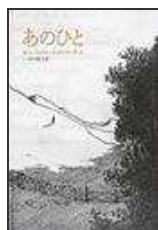
2019:9./ 245p

978-4-10-352791-6

本体 ¥2,200+税



産経新聞 2019/12/08



### あのひと

徳間書店

一人の男性があこがれ続けた永遠の女性「あのひと」が、「このひと」になる瞬間を、アカデミー賞短編アニメーション映画賞受賞監督マイケル・デュドク・ドゥ・ヴィットの絵と、詩人・谷川俊太郎の詩で描いた大人向け絵本。

2019:10./ 32p

978-4-19-864961-6

本体 ¥2,200+税



産経新聞 2019/12/08



### 二人のカリスマ<上> スーパーマーケット編

江上 剛 著

日経BP社

戦争から東京に戻った藤田俊雄は、異父兄とともに、スーパーマーケットを開業。店舗網を広げて成長を遂げ、ライバルたちと競い合いながら、戦後の日本を大きく変えていく。作家・江上剛がカリスマ経営者の姿を描く。

2019:9./ 293p

978-4-296-10366-9

本体 ¥1,600+税



産経新聞 2019/12/08



### 二人のカリスマ<下> コンビニエンスストア編

江上 剛 著

日経BP社

スーパーマーケットチェーン、フジタヨーシウ堂に転職した大木将史。米国出張で偶然出会ったコンビニエンスストアを日本で展開し、日本の消費者の暮らしを大きく変えるが…。作家・江上剛がカリスマ経営者の姿を描く。

2019:9./ 327p

978-4-296-10432-1

本体 ¥1,600+税



産経新聞 2019/12/08



### 大丈夫、なるようになるから。～赤木春恵ありのままを生きる～

赤木 春恵、野杵 泉 著

世界文化社

「私は本当に幸せ」と旅立った母と、「あのとき、もっとこうすれば…」と心ゆらぐ娘の心情…。女優・赤木春恵のリアルストーリーと折々に残した「こころの言葉」を、彼女を支え続けた娘の解説とともに綴る。

2019:11./ 223p

978-4-418-19505-3

本体 ¥1,300+税



産経新聞 2019/12/08



## 史料が語るノモンハン敗戦の真実

阿羅 健一 著

勉誠出版

ノモンハンは大東亜戦争の縮図。スターリンの策略にしてやられた戦いだった...。昭和の陸軍の対ソ準備、参謀本部と関東軍の対立が生じた理由、日本陸軍の廃院などを、史料をひもとき論じる。

2019:8./ 11p,262p

978-4-585-22250-7

本体 ¥2,000+税



産経新聞 2019/12/08



## 朝鮮通信使の真実～江戸から現代まで続く侮日・反日の原点～(WAC BUN-KO B-313)

石 平 著

ワック

朝鮮通信使は友好使節ではなく、事実上の朝貢使節。その屈辱から、日本で見えるもの、聞くものすべてに難癖をつけたのだ。一種の国民精神として受け継がれてきている朝鮮知識人の歪な対日精神構造を浮き彫りにする。

2019:11./ 195p

978-4-89831-813-3

本体 ¥900+税



産経新聞 2019/12/08



## 編集思考～異質なモノをかけ合わせ、新たなビジネスを生み出す～

佐々木 紀彦 著

ニュースピック

日本の企業や業界には「縦割り」がはびこっている。この閉塞感を打ち破る武器となるのが、「横串」で物事をつなぐ編集思考。編集者人生で学んだ「仕事や人生や事業を楽しく編集するためのヒント」を紹介する。

2019:10./ 308p

978-4-910063-00-3

本体 ¥1,800+税



産経新聞 2019/12/08



## しらふで生きる～大酒飲みの決断～

町田 康 著

幻冬舎

30 年間毎日酒を飲み続けた作家は、4 年前の年末、「酒をやめよう」と突如、思い立った。禁酒によって生じた精神ならびに身体の変化、苦悩と葛藤、その心境を微細に綴る。『小説幻冬』連載を改題、加筆・修正し単行本化。

2019:11./ 219p

978-4-344-03532-4

本体 ¥1,500+税



産経新聞 2019/12/08、読売新聞 2019/12/08



## サブリナ

ニック・ドルナソ、藤井 光 著

早川書房

仕事から帰る途中にサブリナが行方不明になって、ひと月が経った。ある日、衝撃的な映像を収めたビデオテープがメディア各社に送られ...。グラフィックノベル初のブッカー賞ノミネート作品。

2019:10./ 205p

978-4-15-209883-2

本体 ¥3,600+税



産経新聞 2019/12/08、読売新聞 2019/12/22



## ノラネコぐんだんカレーライス(コドモエのえほん)

工藤 ノリコ 著

白泉社

ワンワンちゃんのカレー屋さんをのぞくノラネコぐんだん。カレーライスの作り方をしています。夜、ノラネコぐんだんはお店に忍び込んでカレーを作り、「かんたんだったね」と得意顔。でも、その背後には...。

2019:11./ 1 冊(ページ付なし)

978-4-592-76260-7

本体 ¥1,200+税



産経新聞 2019/12/14



### みちづれの猫

唯川 恵 著

集英社

実家の猫に死期が近いことを母親から知らされ、私は東京から金沢に向かうが...。「ミャアの通り道」をはじめ、猫に寄り添われ救われてきた女性たちを描く 7編の短編集。『小説すばる』等掲載をまとめて単行本化。

2019.11./ 226p

978-4-08-771685-6

本体 ¥1,500+税



産経新聞 2019/12/15



### 名残の花

澤田 瞳子 著

新潮社

明治 5 年。長年幽閉されていた鳥居胖庵が戻ると江戸はなくなっていた。軽薄な「東京」に憤然とする胖庵は困窮に喘ぐ見習い能役者と知り合い...。転変の世を生き抜く者の意地と哀歓を描く時代小説。『小説新潮』掲載に加筆修正。

2019.9./ 285p

978-4-10-352831-9

本体 ¥1,650+税



産経新聞 2019/12/15



### 海を渡ったスキヤキ〜アメリカを虜にした和食〜

グレン・サリバン 著

中央公論新社

家政学者が惚れ込んだジャパニーズ・サンドウィッチって？ スパムむすび誕生秘話とは？ スキヤキ、寿司、鉄板焼きなど、驚愕され、注目され、嫌われて、大人気になった、アメリカの「和食」の知られざるエピソードが満載。

2019.11./ 238p

978-4-12-005250-7

本体 ¥2,000+税



産経新聞 2019/12/15



### 親リッチ(日経プレミアシリーズ 415)

宮本 弘之 著

日本経済新聞出版社

日本で急増している富裕層の子どもや孫である「親リッチ」。「隠れた消費の主役」は何を考え、どのように暮らしているのか。長年の調査、取材から、多様な実像に迫る。

2019.11./ 252p

978-4-532-26415-4

本体 ¥850+税



産経新聞 2019/12/15



### 放送作家の時間

大倉 徹也 著

イースト・プレス

テレビがまだ生放送だった時代から半世紀余り、人生を放送台本書きに捧げた大倉徹也。放送番組にできることを追い求め、86 歳で逝った放送作家一期生による極私的放送史。スターや人気番組の秘話が満載。

2019.9./ 269p

978-4-7816-1820-3

本体 ¥1,600+税



産経新聞 2019/12/15



### 大学の問題 問題の大学

竹内 洋、佐藤 優 著

時事通信出版局

問題だらけの大学は、どうしたらよくなるのか。大学や中高のあり方、社会との関わりについて、鬼才・佐藤優と、碩学・竹内洋が縦横無尽に語り合う。

2019.10./ 9p,190p

978-4-7887-1600-1

本体 ¥1,500+税



産経新聞 2019/12/15





### 横尾忠則さんへの手紙

酒井 忠康 著

光村図書出版

冒険王・横尾忠則へ捧げる、美術評論家・酒井忠康からのエール。図録に寄せたエッセイや、雑誌の特集号に掲載した文章、展覧会を記念して行われた対談など全 11 篇を収録。カラー図版も多数掲載する。

2019:10./ 159p

978-4-8138-0263-1

本体 ¥2,000+税



産経新聞 2019/12/15



### 崩壊した「中国システム」と EU システム～主権・民主主義・健全な経済政策～

萩野 文隆 編

F.アスリノ 著

藤原書店

2017 年のフランス大統領選候補フランソワ・アスリノが、2018 年 10 月に日本を訪問した記録。「日仏のデフレ化政策と闘う」「日本とフランスの再生にむけて」など 4 つのテーマに分け、インタビューや対談等を収録する。

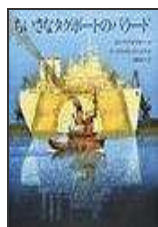
2019:11./ 400p

978-4-86578-235-6

本体 ¥3,600+税



産経新聞 2019/12/15



### ちいさなタグボートのバラード

東京外国語大学出版会

ぼくはタグボート。ぼくの仕事は、港に入ってくる大型船を停泊させること。いつかぼくも、はるか遠くの海へ行ってみたいけれど…。ノーベル文学賞詩人ブロッキーが子どもたちのために書いた、ちいさなタグボートの美しい物語。

2019:11./ 32p

978-4-904575-77-2

本体 ¥1,900+税



産経新聞 2019/12/15



### ショパンゾンビ・コンテスト

町屋 良平 著

新潮社

おれは音楽の、お前は文学のひかりを浴びて、腐ろう。ゾンビになろう。音大を中退したぼくは、魔法のようなピアノを奏でる同級生に恋をしていて…。才能と絶望と恋と友情をめぐる青春小説。『新潮』掲載を単行本化。

2019:10./ 190p

978-4-10-352272-0

本体 ¥1,450+税



産経新聞 2019/12/22



### 改良

遠野 遙 著

河出書房新社

女になりたいのではない、「私」でありたい。美しさを他人に認められたい。ゆるやかな絶望を生きる男が唯一抱いたその望みが、性をめぐる理不尽な暴力とともに、絶望の頂へと導いてゆく…。『文藝』掲載を書籍化。

2019:11./ 113p

978-4-309-02846-0

本体 ¥1,300+税



産経新聞 2019/12/22



### amazon の絶対思考～常に、「普通という基準」を作り変える～

星 健一 著

扶桑社

顧客中心の判断基準は妥協するな、常に学び好奇心をもつ、最高水準を積み上げる、経費節減ではない倏約…。アマゾンジャパン元経営会議メンバーが、アマゾン成功の理由と徹底戦略を説き明かす。

2019:11./ 284p

978-4-594-08316-8

本体 ¥1,600+税



産経新聞 2019/12/22



### 軍服の修道士山本信次郎～天皇と法王の架け橋～

皿木 喜久 著

産経新聞出版

カトリックの海軍軍人として日露戦争を戦い、昭和天皇の側近としてバチカンとの架け橋となった山本信次郎。知る人ぞ知る存在だった愛国のクリスチャンを、その功績とともに紹介する。

2019:11./ 254p

978-4-8191-1376-2

本体 ¥1,700+税



産経新聞 2019/12/22



### なぜ歴史を学ぶのか

リン・ハント、長谷川 貴彦 著

岩波書店

ポスト真実の政治と歴史修正主義が横行する時代に、歴史学に何ができるのか。トランプ政権の?、ホロコースト否認論、白人至上主義者のテロなど、具体的な事件を題材にあげながら問いに答える、アクチュアルな歴史入門。

2019:10./ 6p,120p,9p

978-4-00-024179-3

本体 ¥1,600+税



朝日新聞 2019/12/07



### 水道が危ない(朝日新書 735)

菅沼 栄一郎、菊池 明敏 著

朝日新聞出版

国民が知らない水道の真実とは。世界のどの国も経験したことのない未曾有の危機を迎えている日本の水道事業。先進地に解決策「ダウンサイジング」を学び、自然の浄化力を活用する緩速濾過法からおいしい水の供給を考える。

2019:10./ 204p

978-4-02-295039-0

本体 ¥790+税



朝日新聞 2019/12/07



### 坊っちゃん 改版(角川文庫)

夏目 漱石 著

角川書店

単純明快な江戸っ子の「おれ」(坊っちゃん)は、物理学校を卒業後、四国の中学校教師として赴任する。一本気な性格から様々な事件を起こし、また巻き込まれるが、欺瞞に満ちた社会への清新な反骨精神を描く。

2004:6./ 223p

978-4-04-100121-9

本体 ¥286+税



朝日新聞 2019/12/07



### Op~夜明至の色のない日々~<1>(イブニング KC)

ヨネダ コウ 著

講談社

夜明至。職業、フリーの保険調査員。ある日彼のもとに持ち込まれた 2 つの依頼。それは「銃暴発事故の保険調査」と「ワケアリ少年・玄を預かること」。玄は初対面から夜明に嫌悪感を示し、予期せぬ同居は最悪の幕開けに....。

2018:1./ 188p

978-4-06-510801-7

本体 ¥600+税



朝日新聞 2019/12/07



### Op~夜明至の色のない日々~<2>(イブニング KC)

ヨネダ コウ 著

講談社

フリーの保険調査員・夜明至、バツイチやもめの 38 歳。持ち込まれるのはやっかいな依頼ばかり。そんな夜明のもとに舞い込んだのは、撮影中の火災事故で亡くなった人気映画監督・皆川賢吾の保険調査依頼。

2019:11./ 207p

978-4-06-517927-7

本体 ¥630+税



朝日新聞 2019/12/07



### 近代建築そもそも講義(新潮新書 833)

藤森 照信、大和ハウス工業総合技術研究所 著  
新潮社

「和」の建築は「洋」をどう受け入れてきたか。井上馨がぶち上げた銀座煉瓦街計画、国産大理石競争、乱立する奇妙な洋館群、コンドル教授が育てた 4 人の建築家などをテーマに、全 68 話を建築探偵・藤森教授が縦横無尽に語る。

朝日新聞 2019/12/07

2019:10./ 254p

978-4-10-610833-4

本体 ¥800+税



### 「松本清張」で読む昭和史(NHK 出版新書 586)

原 武史 著  
NHK出版

「社会派推理小説」というジャンルを確立した国民的作家・松本清張。代表作の数々を「鉄道」と「天皇」に注目して読み解き、昭和という時代の歴史の暗部に光をあてる。

朝日新聞 2019/12/07

2019:10./ 220p

978-4-14-088586-4

本体 ¥800+税



### お楽しみはこれからだ～映画の名セリフ～

和田誠 著  
文藝春秋

似顔絵 128 点、117 本の映画から選んだ忘れがたい名セリフの数々。博覧強記、軽妙洒脱に映画の夢と楽しさをつづった粋な本。

朝日新聞 2019/12/07

1987:4./ 251p

978-4-16-333360-1

本体 ¥1,524+税



### 農業新時代～ネクストファーマーズの挑戦～(文春新書 1236)

川内 イオ 著  
文藝春秋

元エリート会計士が作るピーナッツバター、東大卒の畑に入らないマネージャー…。独自のアイデアと先端技術で、稀少かつ高品質の商品、サービスを生み出す農業の変革者たち。時代を先取る彼らの生き方、働き方を紹介する。

朝日新聞 2019/12/07

2019:10./ 204p

978-4-16-661236-9

本体 ¥800+税



### 珈琲城のキネマと事件(光文社文庫 い 31-38)

井上 雅彦 著  
光文社

都内某所、元は名画座だった喫茶店に集うのは、珈琲と映画、そして<謎>を愛する常連たち。不可思議な事件の真相を、彼らが映画への深い造詣をもとに解き明かしてゆく。連作ミステリー。『ジャーロ』掲載に書下ろしを追加。

朝日新聞 2019/12/07

2019:11./ 282p

978-4-334-77938-2

本体 ¥700+税



### 紙の罟(ちくま文庫 つ 11-4)

都筑 道夫、日下 三蔵 編  
都筑 道夫 著  
筑摩書房

紙幣印刷用紙が輸送中に強奪された。近藤庸三は贋造に必要な<製版の名人>の身柄を押さえ、犯人へ引き渡す取引を思い立つ。しかし、同じ企みを持つ土方と沖田、さらに強奪犯の一味も動き出し…。続編「NG 作戦」も収録。

朝日新聞 2019/12/07

2019:11./ 360p

978-4-480-43628-3

本体 ¥760+税





### ひみつのしづもん

岸本 佐知子 著

筑摩書房

私は私のことを監視しているかもしれない何者かの目を欺くために、見かけ上仕事をしているふりをしていることが往々にしてあるのだ。奇想天外、抱腹絶倒、キシモトワールド全開のエッセイ集。『ちくま』連載を加筆し書籍化。

2019:10./ 222p

978-4-480-81547-7

本体 ¥1,600+税



朝日新聞 2019/12/07



### ネプチューンの影(創元推理文庫 M ウ 12-6)

フレッド・ヴァルガス、田中 千春 著

東京創元社

ネプチューンの三叉槍(トリダン)の刺し傷のある死体。30 年前の事件と同一犯による犯行なのか? アダムスベルグ署長は自らが犯人と確信する男を追い続けていた。彼の人生を大きく変えた不可解な事件の驚愕の真相とは?

2019:10./ 503p

978-4-488-23607-6

本体 ¥1,400+税



朝日新聞 2019/12/07



### トマトの歴史(「食」の図書館)

クラリッサ・ハイマン 著

原書房

ヨーロッパに伝わった当初は「毒がある」とされた南米原産のトマトは、いかに世界に広まったか。イタリアの食文化、「野菜か果物か」裁判、伝統&最新の品種など、知られざるトマトの歴史を紹介する。レシピ付き。

2019:10./ 181p

978-4-562-05657-6

本体 ¥2,200+税



朝日新聞 2019/12/07



### 日本人は本当に無宗教なのか(平凡社新書 924)

礪川 全次 著

平凡社

かつて日本では、宗教と習俗とが補完し合う形で人々の心を支え、社会や共同体を支えていた。ある時期まで、日本人は十分に「宗教的」だった。では、いつから無宗教になったのか。日本人の特異な宗教意識を歴史的に解明する。

2019:10./ 237p

978-4-582-85924-9

本体 ¥840+税



朝日新聞 2019/12/07



### 戸籍が語る古代の家族(歴史文化ライブラリー 488)

今津 勝紀 著

吉川弘文館

国民の身分台帳たる戸籍。古代にも戸籍に人々が登録され、租税負担の基本となっていた。どの範囲の親族が記載されたのか? 人口総数は? 歳の差婚が多かった理由とは? 戸籍から見えてくる古代の人々の暮らしを描き出す。

2019:9./ 6p,215p

978-4-642-05888-9

本体 ¥1,700+税



朝日新聞 2019/12/07



### 教養としての「国名の正体」

藤井 青銅 著

柏書房

日本は「ニホン」? 「ニッポン」? アメリカ合衆国はなぜ「合州国」ではないの? オーストリアとオーストラリアは何で似ているの? 世界 196 か国&5 地域の「名前」の起源を探る。

2019:11./ 267p,19p

978-4-7601-5088-5

本体 ¥1,700+税



朝日新聞 2019/12/07





### 西村ツチカ画集

西村 ツチカ 著  
玄光社

漫画家、イラストレーターとして活躍する西村ツチカ、初の画集。これまでに描きためたオリジナル作品を多数収録する。「WHEN I'M 60」「ぼくはニセゾンビーズ」など全6編の漫画も掲載。

2019:10./ 180p

978-4-7683-1248-3

本体 ¥2,700+税



朝日新聞 2019/12/07



### ザ・ソウル・オブ・くすね屋～SDGsを実現する仕事～

東 龍夫 著  
コモンズ

資源回収、廃棄物再生事業、エコ商品の販売などを行うとともに、北海道の様々な社会運動に関わる著者が、環境問題や日本社会、持続可能な未来について考える。さっぽろ自由学校・遊の通信『ゆうひろば』連載を加筆し書籍化。

2019:9./ 201p

978-4-86187-162-7

本体 ¥1,700+税



朝日新聞 2019/12/07



### グレタたったひとりのストライキ

マレーナ・エルンマン、ベアタ・エルンマン、グレタ・トゥーンベリ、スヴァンテ・トゥーンベリ、羽根 由、寺尾 まち子 著  
海と月社

16歳で世界を動かす気候活動家グレタ。彼女が「気候のための学校ストライキ」を始めるまでのことや、人類に迫っている危機「気候変動」について、グレタの家族が語る。世界各地での「グレタのスピーチ」も多数収録。

2019:10./ 305p

978-4-903212-68-5

本体 ¥1,600+税



朝日新聞 2019/12/07



### もう一度倫敦巴里

和田 誠 著  
ナナロク社

対象への愛情を伴う深い洞察によって描かれた、見事な「モジリ」の数々。和田誠の戯作・贋作大全集。1977年に刊行された「倫敦巴里」に、「雪国」海外篇」などを加え、再編集して書籍化。

2017:1./ 170p

978-4-904292-71-6

本体 ¥2,200+税



朝日新聞 2019/12/07



### 深夜高速バスに100回ぐらい乗ってわかったこと

スズキ ナオ 著  
スタンド・ブックス

考え方次第で、なんでもない日々を少しぐらいいは楽しいものにすることができる。若手飲酒シーンの大本命、スズキナオの初単著となるエッセイ集。「銭湯の鏡に広告を出した話」「大人の休日、動物園飲み」など全29編収録。

2019:11./ 323p

978-4-909048-06-6

本体 ¥1,720+税



朝日新聞 2019/12/07



### 柳家喬太郎バラエティブック(東京かわら版新書 6)

柳家 喬太郎 著  
東京かわら版

あんな喬太郎から、こんな喬太郎まで。喬太郎の足跡が丸わかり! 柳家喬太郎の落語家人生を、演芸専門誌『東京かわら版』掲載のインタビューや記事から振り返る。前座のころの写真、10時間超の最新インタビューも掲載。

2019:10./ 239p

978-4-910085-00-5

本体 ¥1,637+税



朝日新聞 2019/12/07



### 原子力時代における哲学(犀の教室)

國分 功一郎 著

晶文社

原子力の本質的な危険性を早くから指摘していた哲学者マルティン・ハイデッガー。その洞察の秘密はどこにあったのか。知られざるテキスト「放下」を軸にした、壮大なスケールの技術と自然をめぐる連続講演の記録。

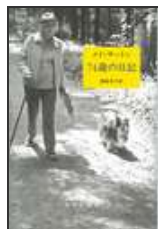
2019:9./ 317p

978-4-7949-7039-8

本体 ¥1,800+税



朝日新聞 2019/12/07、朝日新聞 2019/12/28



### 74歳の日記

メイ・サートン、幾島 幸子 著

みすず書房

73歳の冬に脳梗塞を起こし、気づいたことがあった。「健康な人には分からないことがある」と。どんなときにも人生の探検者でありつづける詩人で小説家のサートンが、ふたたび元気になるまでを綴った日記。

2019:10./ 329p

978-4-622-08852-3

本体 ¥3,200+税



朝日新聞 2019/12/07、東京・中日新聞 2019/12/08、毎日新聞 2019/12/08、朝日新聞 2019/12/28



### 経済的理性の狂気～グローバル経済の行方を<資本論>で読み解く～

デヴィッド・ハーヴェイ、大屋 定晴、加賀美 太記 著

作品社

マルクスだったら、グローバル資本主義の行方をいかに分析するか? “現代のマルクス”ハーヴェイが、「資本論」体系の新たな理論的可能性を探究しつつ、グローバル資本主義の構造と狂気に迫る。日本語版解説付き。

2019:9./ 320p

978-4-86182-760-0

本体 ¥2,800+税



朝日新聞 2019/12/07、東京・中日新聞 2019/12/15



### 赤い髪の女

オルハン・パムク、宮下 遼 著

早川書房

井戸掘りの親方と弟子の前にひとりの女が現れた。移動劇団の赤い髪をした女優だ。ひと目で心を奪われた弟子は、親方の言いつけを破って彼女の元へ向かった。その選択が彼の人生を幾度も揺り動かすことになるとは知らずに...

2019:10./ 289p

978-4-15-209888-7

本体 ¥2,300+税



朝日新聞 2019/12/07、日本経済新聞 2019/12/14、読売新聞 2019/12/22



### 泉鏡花<怪異・幻想>傑作選～本当にさらさら読める!現代語訳版～

泉 鏡花、秋山 稔、白水 銀雪 著

KADOKAWA

面白くてたまらない、そして妖しくも美しい、文豪「泉鏡花」の怪異・幻想の世界を、原文に忠実なストレス 0 の美しい現代語訳で贈る! 「龍潭譚」「高野聖」「天守物語」「雛がたり」など、全7編を収録する。

2019:8./ 319p

978-4-04-912626-6

本体 ¥1,300+税



朝日新聞 2019/12/08



### 着物憑き

加門 七海 著

集英社

人が着物を選ぶのではなく、着物が人を選ぶのだ。糸に布に織りに...入り組んだ情念を身にまとうとき、怪しい気配が立ちのぼる。着物をめぐる 11 の談を収録。和装関係用語の解説付き。『よみタイ』掲載を書籍化。

2019:11./ 253p

978-4-08-788025-0

本体 ¥1,400+税



朝日新聞 2019/12/08



### 負ける建築(岩波現代文庫 社会 316)

隈 研吾 著

岩波書店

都心の摩天楼や郊外の住宅群…。流動する生活を凍結し周囲の環境を圧倒する「勝つ建築」は疎まれ始めた。建築はもっと弱く柔らかくならないのか。様々な外力を受け入れる「負ける建築」の道を探る受動性の建築論。

2019:11./ 11p,264p

978-4-00-603316-3

本体 ¥1,140+税



朝日新聞 2019/12/14



### 茶室学講義～日本の極小空間の謎～(角川ソフィア文庫 F141-1)

藤森 照信 著

KADOKAWA

利休はなぜ二畳にこだわったのか? 建築史家にして建築家の藤森照信が、縦横無尽に日本の極小空間=茶室に迫る。また、藤森照信と磯崎新がそれぞれ手掛けた茶室を例にとり、さまざまな角度から語り合った対談も収録。

2019:11./ 348p

978-4-04-400519-1

本体 ¥1,160+税



朝日新聞 2019/12/14



### 高倉健、その愛。

小田 貴月 著

文藝春秋

孤高の映画俳優・高倉健が最後に愛した女性による手記。今も心に刻まれる言葉を振り返りながら、出逢い、人知れず 2 人で暮らした 17 年の日々、撮影秘話などを綴る。

2019:10./ 349p

978-4-16-391039-0

本体 ¥1,600+税



朝日新聞 2019/12/14



### 信長を操り、見限った男 光秀～史上もっともミステリアスな武将の正体～

乃至 政彦 著

河出書房新社

信長の天下取りは光秀の筋書きだった! 史料を一から精査しなおし、大胆にして繊細に推理を深化させることで、光秀と信長の意外な人間像、謎に満ちた 2 人の関係を明らかにする。

2019:9./ 255p

978-4-309-22784-9

本体 ¥1,600+税



朝日新聞 2019/12/14



### いやいやながらルパンを生み出した作家～モーリス・ルブラン伝～

ジャック・ドゥルワール、小林 佐江子 著

国書刊行会

ルパンが私の影ではなく、私のほうがルパンの影なのだ。世界中で絶大な人気を誇りつづける<怪盗紳士アルセーヌ・ルパン>の生みの親、モーリス・ルブランの初の伝記。

2019:9./ 415p,13p

978-4-336-06383-0

本体 ¥3,600+税



朝日新聞 2019/12/14



### マリー・アントワネットの衣裳部屋

内村 理奈 著

平凡社

マリー・アントワネットの生活と生涯を、豊富なカラー写真と図版に描かれた衣裳から読み解く。フランスの貴婦人たちの文化、宮殿の服飾文化を支える職人たちの技法にも触れる。貴重なアントワネットの衣裳目録全文翻訳付き。

2019:10./ 308p

978-4-582-62069-6

本体 ¥3,200+税



朝日新聞 2019/12/14



**明智光秀・秀満～ときハ今あめが下しる五月哉～(ミネルヴァ日本評伝選)**

小和田 哲男 著

ミネルヴァ書房

織田家重臣として活躍しながらも、主君信長への謀反を起こした明智光秀とその女婿秀満。謎に包まれたふたりの前半生、そして行動と人となり、さらには本能寺の変に至った動機と背景を解明する。

2019:6./ 14p,263p,11p

978-4-623-08656-6

本体 ¥2,500+税



朝日新聞 2019/12/14



**明日は生きてないかもしれない...という自由～私、76 歳 こだわりも諦めも力にして、生きてきた。～**

田中 美津 著

インパクト出版会

「なにごともし過ぎは悪なのだ」「ときめくブスは美しくなる」「人はただ生きているだけでいい」...。70 年代のウーマンリブ運動のカリスマ的存在だった著者が、これまでに新聞や雑誌などに発表してきた論考を中心に集成。

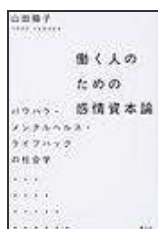
2019:11./ 243p

978-4-7554-0293-7

本体 ¥1,800+税



朝日新聞 2019/12/14



**働く人のための感情資本論～パワハラ・メンタルヘルス・ライフハックの社会学～**

山田 陽子 著

青土社

職場で「感情」という資本はどのように機能しているのか。感情を表出することと、効率的で生産的なパフォーマンスを可能にすることとの間の結び付きを解きほぐしながら、ハラスメントや時間管理など、現代的な課題を考察する。

2019:10./ 231p,9p

978-4-7917-7223-0

本体 ¥2,200+税



朝日新聞 2019/12/14



**いざなぎ流祭文と儀礼 増補(法蔵館文庫 さ1-1)**

斎藤 英喜 著

法蔵館

高知県旧物部村に伝わる民間信仰「いざなぎ流」。中尾計佐清太夫に密着した15年にわたるフィールドワークにより、祭文・法文・神楽・式王子の儀礼現場を解明する。陰陽道、民俗信仰研究の現在をアップデートして文庫化。

2019:11./ 518p

978-4-8318-2601-5

本体 ¥1,500+税



朝日新聞 2019/12/14



**仏性とは何か(法蔵館文庫 た1-1)**

高崎 直道 著

法蔵館

仏性とは何か。全ての人にほどこになれる本性が具わっているのか。日本仏教に根本的な影響を及ぼした仏性思想を明快に説き明かした名著。「如来蔵と仏性」「道元の仏性論」など、仏教を本当に知るための最重要論考を収録する。

2019:11./ 318p

978-4-8318-2602-2

本体 ¥1,200+税



朝日新聞 2019/12/14





### 老年の豊かさについて(法蔵館文庫 キ 1-1)

キケロ、八木 誠一、八木 綾子 著

法蔵館

老人にはすることがない、体力がない、楽しみがない、死に近いという 4 つの悲観的通念を吹き飛ばし、老年の幸福を実例をあげて論証する。2000 年読みつがれてきた老年のための幸福論。

2019:11./ 205p

978-4-8318-2603-9

本体 ¥800+税



朝日新聞 2019/12/14



### 図説明智光秀

柴 裕之 著

戎光祥出版

丹波攻めとその経営手腕、信長が頼った戦略眼と調略、比叡山焼き討ち、裏切られ裏切った戦国のならい...。「真実」の明智光秀像を探るべく、光秀自身のみならず、一族や家臣、伝承も含めて追求し、図版を多用して解説する。

2018:12./ 157p

978-4-86403-305-3

本体 ¥1,800+税



朝日新聞 2019/12/14



### 谷川健一コレクション<1> 小さきものへ

谷川 健一 著

富山房インターナショナル

「谷川健一全集」に未収録の作品を収集した、貴重なコレクション。1 は、1974 年までの草創期の評論を「民俗の眼」「無告の民」とし、少年・習作期の作品を「人間イエス」として構成。

2019:11./ 388p

978-4-86600-081-7

本体 ¥3,000+税



朝日新聞 2019/12/14



### 「本当の豊かさ」はブッシュマンが知っている

ジェームス・スーズマン、佐々木 知子 著

NHK出版

現代人の「労働」や「豊かさ」に関する考え方は本当に正しいのか? 何万年も前から週 15 時間の狩猟採集で「よい暮らし」を送ってきたカラハリ砂漠のブッシュマンの社会を通して、現代文明の“常識”を問い直す。

2019:10./ 398p 図版

16p

978-4-14-081796-4

本体 ¥2,600+税



朝日新聞 2019/12/14、朝日新聞 2019/12/28



### 日本の美(中公文庫 な 58-2)

中井 正一 著

中央公論新社

独自の美学を拓いた著者が、西洋と東洋の美、日本と中国の美の相違を分析。日本文化に通底するモノを探り、世界における日本の美を位置づける。「中井正一全集」未収録のエッセイ「現代日本画の一つの課題」も掲載。

2019:11./ 235p

978-4-12-206799-8

本体 ¥820+税



朝日新聞 2019/12/14、読売新聞 2019/12/15



### 精選折口信夫<6> アルバム

岡野 弘彦 編

折口 信夫 著

慶應義塾大学出版会

折口信夫の学問研究および釈空の筆名で発表された詩歌の作品をも含めた、全著作から精選。6 は、折口およびその関係する人々、ゆかりの場所および物品などの写真を収録。折口信夫製作「日本文学系図」、旅の記録なども掲載。

2019:11./ 228p

978-4-7664-2553-6

本体 ¥2,800+税



朝日新聞 2019/12/14、毎日新聞 2019/12/15



### 宮沢賢治テクノボアの叡知(新潮選書)

今福 龍太 著

新潮社

宮沢賢治の物語宇宙のまったく新しい相貌を照らし出した書。石、風、火山、動物などの実在物や、心象、未完といった構造に隠された賢治の創造原理を解き明かし、いまを生きる私たちの「倫理」を問う。

2019:9./ 395p

978-4-10-603846-4

本体 ¥1,600+税



朝日新聞 2019/12/14、毎日新聞 2019/12/15、読売新聞 2019/12/22、朝日新聞 2019/12/28



### 検証迷走する英語入試～スピーキング導入と民間委託～(岩波ブックレット No.984)

南風原 朝和 編

岩波書店

2020 年度実施の大学入試共通テストから導入される民間スピーキングテスト。拙速・強引な政策決定のプロセス、成績評価のあり方、高校教育や入試全体に及ぼす影響など、その危険性を多角的に検証する。

2018:6./ 105p

978-4-00-270984-0

本体 ¥660+税



朝日新聞 2019/12/21



### 嵐が丘<上>(岩波文庫)

エミリー・ブロンテ 著

岩波書店

朝日新聞 2019/12/21

2004:2./ 313p

978-4-00-322331-4

本体 ¥840+税



### 地名崩壊(角川新書 K-293)

今尾 恵介 著

KADOKAWA

「ブランド地名」の拡大、「忌避される地名」の消滅、市町村合併での「ひらがな」化、「カタカナ地名」の急増…。土地の歴史的層性を失う安易な地名変更。地名の成立と変貌を追い、あるべき姿を考える。

2019:11./ 258p

978-4-04-082300-3

本体 ¥860+税



朝日新聞 2019/12/21



### 立志・苦学・出世～受験生の社会史～(講談社学術文庫 2318)

竹内 洋 著

講談社

明治以降、勉強立身熱が高まり、青少年の上昇移動への野心は新たな「受験的生活世界」を生み出す。刻苦勉励する受験生の禁欲的生活世界を支えた物語とは。受験のモダンと、昭和 40 年代以降の受験のポストモダンを解説。

2015:9./ 205p

978-4-06-292318-7

本体 ¥800+税



朝日新聞 2019/12/21



**岐山の蝶(集英社文庫 し 69-1)**

篠 綾子 著

集英社

斎藤道三の娘・帰蝶は、従兄・明智光秀に好意を寄せていたが、織田信長との縁談が進められることに。帰蝶、信長、光秀...それぞれの運命は複雑に絡み合い...。強く、美しく生き抜いた女性を鮮やかに描いた時代小説。

朝日新聞 2019/12/21

2019:12./ 337p

978-4-08-744063-8

本体 ¥720+税



**恋と国会<1>(ビッグコミックス BIG SPIRITS COMICS)**

西 炯子 著

小学館

真っ向勝負が通用しない国会で正面突破しかできない元地下アイドル、山田一斗。政界の清濁あわせのんだ上で父の地盤を引き継いだ三代目世襲議員、海藤福太郎。ふたりは真の意味での“政治家”になれるのか!?

朝日新聞 2019/12/21

2019:12./ 218p

978-4-09-860399-2

本体 ¥591+税



**老人の美学(新潮新書 835)**

筒井 康隆 著

新潮社

老いは誰にとっても最初で最後の道行き。自分の居場所を見定めながら、社会の中でどう自らを律すればいいのか。孤独との向き合い方や、死を美的に迎える方法等を記した、巨匠・筒井康隆によるリアルな知恵に溢れた老年論。

朝日新聞 2019/12/21

2019:10./ 158p

978-4-10-610835-8

本体 ¥700+税



**科学～中国の試験地獄～(中公文庫)**

宮崎市定 著

中央公論新社

朝日新聞 2019/12/21

1984:2./ 252p

978-4-12-201100-7

本体 ¥524+税



**本当の貧困の話をしよう～未来を変える方程式～**

石井 光太 著

文藝春秋

君たちが幸せをつかむために今知るべきこと-。国内外の最底辺を取材し続けてきた著者が、想像を絶する貧困のリアルから様々な支援の方策までを、17歳に全力で伝える講義。人生や社会に革命をもたらすための方程式を示す。

朝日新聞 2019/12/21

2019:9./ 255p

978-4-16-391103-8

本体 ¥1,500+税



**葵の残葉(文春文庫 お 63-2)**

奥山 景布子 著

文藝春秋

徳川の分家筋・高須に生まれた四兄弟はやがて尾張、一橋、会津、桑名を継いで維新と佐幕で対立する。同じ血筋に連なりながら相戦うこととなった“最後の徳川”たちの物語。

朝日新聞 2019/12/21

2019:12./ 347p

978-4-16-791401-1

本体 ¥800+税





### 絵を見る技術～名画の構造を読み解く～

秋田 麻早子 著

朝日出版社

この絵の主役はどこ？ バランスがいいってどういうこと？ なぜ、その色なの？ 絵の見方を、たくさんの練習問題をまじえて解説する。自分の美意識を自覚するためのワークシート付き。

2019:4./ 286p

978-4-255-01111-0

本体 ¥1,850+税



朝日新聞 2019/12/21



### 約束された移動

小川 洋子 著

河出書房新社

ハリウッド俳優 B の泊まった部屋からは、決まって 1 冊の本が抜き取られていた。B からの無言の合図を受け取る客室係。こうして書棚の秘密はふたりだけのものになった…。6 篇を収録した短篇集。『文藝』ほか掲載を書籍化。

2019:11./ 211p

978-4-309-02836-1

本体 ¥1,500+税



朝日新聞 2019/12/21



### 映画監督神代辰巳

神代 辰巳 著

国書刊行会

数々の日活ロマンポルノの傑作、70 年代映画ベスト作「青春の蹉跌」をのこした伝説の映画監督・神代辰巳。その作品批評・対談などを集成し、インタビュー、書き下ろし評論、未映画化シナリオも収録する。

2019:10./ 701p

978-4-336-06538-4

本体 ¥12,000+税



朝日新聞 2019/12/21



### 世界史のミカタ(祥伝社新書 588)

井上 章一、佐藤 賢一 著

祥伝社

西のローマ帝国、東の漢帝国を崩壊させる決定的な原動力となったのは、遊牧民たちの動きであり、中世には、どちらでも疑似古代国家が再建された。碩学で知られる 2 人がまったく新しいミカタで世界史を斬る、白熱対談。

2019:11./ 290p

978-4-396-11588-3

本体 ¥880+税



朝日新聞 2019/12/21



### 人生に詰んだ元アイドルは、赤の他人のおっさんと住む選択をした

大木 亜希子 著

祥伝社

元アイドルのアラサー女子。夜は男性との「ノルマ飯」、仕事もタフにこなしているつもりが、ある日突然、駅のホームで足が動かなくなった。そして、赤の他人のおっさんと暮らすことに…。『コフレ』連載を加筆し再構成。

2019:11./ 220p

978-4-396-61710-3

本体 ¥1,400+税



朝日新聞 2019/12/21



### 現代思想からの動物論～戦争・主権・生政治～

ディネシュ・J.ワディウェル、井上 太一 著

人文書院

人間動物関係を平和の装いに覆われた戦争と捉え、人文学が生んだ種々の概念装置によってその構造を解き明かすとともに、動物たちの主権回復へ向けた方途を模索する。

2019:10./ 404p

978-4-409-03105-6

本体 ¥3,500+税



朝日新聞 2019/12/21





**日本の民俗宗教(ちくま新書 1450)**

松尾 恒一 著

筑摩書房

大嘗祭、年越し、盆踊り…。日本独自の文化・伝統はどのようにして生まれたのか。古代から現代まで、数々の外来文化の影響を受けて変容し形成された日本の民俗宗教を、歴史上の政治状況、制度の変遷とともに多角的に読み解く。

2019:11./ 282p

978-4-480-07260-3

本体 ¥880+税



朝日新聞 2019/12/21



**目覚めの森の美女～森と水の14の物語～**

ディアドラ・サリヴァン、田中 亜希子 著

東京創元社

もしもあなたが童話の主人公だったら? 「シンデレラ」「赤ずきん」「白雪姫」「美女と野獣」など、14 のよく知られたおとぎ話にひねりを加え再話した、血と陰謀、裏切りと魅惑の匂いが漂う短編集。

2019:10./ 232p

978-4-488-01097-3

本体 ¥2,200+税



朝日新聞 2019/12/21



**銭形平次捕物控傑作集<3> 暗号・謎解き篇(双葉文庫 の-09-03)**

野村 胡堂 著

双葉社

卓越した推理力と投げ銭で難事件を解決する、神田明神下の岡っ引き・銭形平次の活躍を描く。野村胡堂の名作「銭形平次捕物控」シリーズのテーマ別傑作集。3 は、「暗号・謎解き」をテーマにした全 6 編を収録。

2019:12./ 269p

978-4-575-66972-5

本体 ¥660+税



朝日新聞 2019/12/21



**なぜならそれは言葉にできるから～証言することと正義について～**

カロリン・エムケ、浅井 晶子 著

みすず書房

暴力を受けた人はなぜ、「それ」を言葉にできなくなるのか。ナチスの強制収容所、ユーゴ戦争における集団強姦など、極度の非人間的状況から生還した人たちの証言を紹介し、極限体験が人から言葉を奪う過程を丁寧に考察する。

2019:10./ 245p

978-4-622-08853-0

本体 ¥3,600+税



朝日新聞 2019/12/21



**日本人論の危険なあやまち～文化ステレオタイプの誘惑と罠～(ディスカヴァー携書 217)**

高野 陽太郎 著

ディスカヴァー・トゥエンティワン

「欧米人は個人主義」「日本人は集団主義」。それは大いなる幻想だった! 認知科学を専門とする著者が、科学的な研究をもとに日本人論の常識を真っ向から否定し、文化ステレオタイプの危険性を考える。

2019:10./ 310p

978-4-7993-2564-3

本体 ¥1,100+税



朝日新聞 2019/12/21



**アート思考～ビジネスと芸術で人々の幸福を高める方法～**

秋元 雄史 著

プレジデント社

アートは「最先端の思考」と「感性の技術」。アートとビジネスの関係性を知り尽くしたプロが、イノベーティブな発想を生む感性の鍛え方や、現代アートを通じてアート思考を訓練する方法などを伝える。

2019:10./ 295p

978-4-8334-2336-6

本体 ¥1,700+税



朝日新聞 2019/12/21



**梶井基次郎「檸檬」のルーツ-実践女子大学蔵「瀬山の話」～モノクロ影印普及版～**

河野 龍也 編

武蔵野書院

梶井研究史を塗り替える可能性を秘めた幻の草稿群。梶井基次郎の代表作「檸檬」の原型を含む第一級資料のモノクロ影印と翻刻を収録。武蔵野書院版の「檸檬」と解説、物語のあらすじも掲載する。

2019.11./ 7p,274p

978-4-8386-0486-9

本体 ¥1,800+税



朝日新聞 2019/12/21



**永遠の時の流れに～母・美君への手紙～**

龍 應台、劉 燕子、劉 燕子、和泉 ひとみ 著

集広舎

台湾のベストセラー作家・龍應台による、認知症の母・美君に向けて綴られた手紙。母に読まれることも母からの返信もないであろう「19 章の手紙」に、「掌編のコラム」と「息子たちとの対話」を併録。

2019.12./ 365p

978-4-904213-86-5

本体 ¥2,182+税



朝日新聞 2019/12/21



**主権論史～ローマ法再発見から近代日本へ～**

嘉戸 一将 著

岩波書店

法秩序に正統性を与える「主権」という概念。近代ヨーロッパが重ねてきた議論の歴史、日本における二つの憲法制定過程、そしてその間にあった国体を巡る論争など、膨大な資料を読み解きながら、主権論という未踏の領域へ挑む。

2019.8./ 7p,516p,9p

978-4-00-061359-0

本体 ¥9,000+税



朝日新聞 2019/12/28



**おうさまのこどもたち**

三浦 太郎 著

偕成社

花屋、アイドル歌手、サッカー選手など、自分の好きな仕事で人々を幸せにしたいと考えた、王様の 10 人のこどもたち。王様のあとを継いだのは...? さまざまな職場のようすがこまかく描かれた楽しい絵本。

2019.10./ 32p

978-4-03-352090-2

本体 ¥1,400+税



朝日新聞 2019/12/28



**「幸福」と「人生の意味」について**

教皇フランシスコ、安齋 奈津子 著

KADOKAWA

イエスの救いに身をゆだねる者は、罪、悲しみ、内なるむなしさ、孤独から解放されるのです。教皇フランシスコがさまざまなところで語った、幸福な人生を生きる智慧にあふれた言葉を収録する。

2019.11./ 317p

978-4-04-108621-6

本体 ¥1,600+税



朝日新聞 2019/12/28



**資本主義と闘った男～宇沢弘文と経済学の世界～**

佐々木 実 著

講談社

世界から称賛された気鋭の数理経済学者は、なぜ突然「長い沈黙」に入っのか。経済学の発展に寄与しながら、なぜ経済学を批判するようになったのか。「人々が平和に暮らせる世界」を追求した宇沢弘文の激動の生涯を描く。

2019.3./ 638p

978-4-06-513310-1

本体 ¥2,700+税



朝日新聞 2019/12/28



**オカルティズム～非理性のヨーロッパ～(講談社選書メチエ 690)**

大野 英士 著

講談社

タロット、黒ミサ、ユダヤ陰謀論…。古代から現代まで、人間の歴史と共にあるオカルトだが、「魔女狩り」の終焉で近代が始まり、その意味合いは大きく変貌する-。世界観の変遷を闇の側からたどる、オカルティズム思想史。

2018:12./ 317p

978-4-06-514260-8

本体 ¥1,900+税



朝日新聞 2019/12/28



**鬼子の歌～偏愛音楽的日本近現代史～**

片山 杜秀 著

講談社

政治思想史家にして音楽評論家である著者が「クラシック音楽」で読む、日本の近現代 100 年。山田耕筰、伊福部昭、黛敏郎、三善晃らの名曲を辿りながら、この国の歩みに迫る。『群像』連載に書き下ろしを加え単行本化。

2019:1./ 542p

978-4-06-514321-6

本体 ¥3,200+税



朝日新聞 2019/12/28



**AI時代の労働の哲学(講談社選書メチエ 711)**

稲葉 振一郎 著

講談社

AI が人間の仕事を奪うというのは、技術が仕事を奪うという「古くて新しい問題」。AI 化のインパクトはこれまでの機械化と同じなのか。「労働」概念自体から振り返り、資本主義そのものへの影響まで射程に入れて検討する。

2019:9./ 216p

978-4-06-517180-6

本体 ¥1,600+税



朝日新聞 2019/12/28



**「他者」の起源～ノーベル賞作家のハーバード連続講演録～(集英社新書 0985)**

トニ・モリスン 著

集英社

アフリカ系アメリカ人初のノーベル文学賞作家が、「他者化」のからくりを考察。過去の白人作家たちが作品に隠蔽した人種差別を暴き、その欺瞞を突きながら、自著の仕掛けも明かす。2016 年のハーバード大学での連続講演録。

2019:7./ 189p

978-4-08-721085-9

本体 ¥920+税



朝日新聞 2019/12/28



**土に贖う**

河崎 秋子 著

集英社

全く無くなるわけではない。形を変えて、また生きられる-。養蚕、ミンクの養殖、ハッカ栽培など、北海道で一度は栄えるも衰退した産業に携わる人間たちを峻烈に描いた短編集。『小説すばる』掲載を加筆・修正し単行本化。

2019:9./ 253p

978-4-08-771200-1

本体 ¥1,650+税



朝日新聞 2019/12/28



**潜入ルポ amazon 帝国**

横田 増生 著

小学館

“世界最大の小売企業”アマゾンによって、いまや日本市場は制圧されつつある。果たして、その現場では何が起きているのか。アマゾンのさまざまな現場に忍び込み、「巨大企業の光と影」を明らかにするルポルタージュ。

2019:9./ 351p

978-4-09-380110-2

本体 ¥1,700+税



朝日新聞 2019/12/28



### きみはだれかのどうでもいい人

伊藤 朱里 著

小学館

そこにあるのは、絶望か、希望か。県税事務所に勤める、年齢も立場も異なる女性たち。見ている景色は同じようで、まったく違って...。4人の視点で描く、新感覚同僚小説。

2019.9./ 313p

978-4-09-386551-7

本体 ¥1,700+税



朝日新聞 2019/12/28



### ロリータ(ナボコフ・コレクション)

ウラジーミル・ナボコフ、ウラジーミル・ナボコフ、若島 正、後藤 篤 著

新潮社

大学教授のハンバートは、下宿先の未亡人の娘ドロレス(愛称ロリータ)にひと目惚れ、少女を目当てに母親と再婚し...。20世紀文学を代表する最高傑作「ロリータ」と、その原型となった中篇「魅惑者」を収録。

2019.10./ 554p,2p

978-4-10-505610-0

本体 ¥5,300+税



朝日新聞 2019/12/28



### 黒澤明の羅生門〜フィルムに籠めた告白と鎮魂〜

ポール・アンドラ、北村 匡平 著

新潮社

ヴェネツィアとアカデミー賞を制し、「世界のクロサワ」を決定付けた「羅生門」。そのストーリーと演出、セットには監督の悲痛な肉声が重層的に刻まれていた。コロンビア大学教授による画期的なクロサワ論。

2019.5./ 301p

978-4-10-507111-0

本体 ¥2,500+税



朝日新聞 2019/12/28



### 平成金融史〜バブル崩壊からアベノミクスまで〜(中公新書 2541)

西野 智彦 著

中央公論新社

バブル崩壊後、北海道拓殖銀行や山一証券の経営破綻、リーマン危機に直面するなど、長期低迷にあえぐ日本経済。金融当局は当時どう考え、何を見誤ったのか。キーパーソンへの取材をもとに、金融失政の30年を検証する。

2019.4./ 316p

978-4-12-102541-8

本体 ¥920+税



朝日新聞 2019/12/28



### ファシズムと冷戦のはざままで〜戦後思想の胎動と形成 1930-1960〜

三宅 芳夫 著

東京大学出版会

三木清、竹内好、武田泰淳、丸山眞男、サルトル、デリダ...。「ファシズム」と「冷戦」を鍵として剔抉される知識人の思想とその相互連関を、哲学・文学・政治学の縦横な探究のなかから紡ぎ出す。

2019.10./ 10p,467p,20p

978-4-13-010136-3

本体 ¥5,200+税



朝日新聞 2019/12/28



### 青い眼がほしい(ハヤカワ epi 文庫)

トニ・モリスン 著

早川書房

朝日新聞 2019/12/28

2001.6./ 323p

978-4-15-120006-9

本体 ¥860+税







### ビラヴド(ハヤカワ epi 文庫)

トニ・モリスン 著

早川書房

自由の意味を知り、真の自由を求め続ける女性たちの物語。アメリカ文学の最高傑作。

朝日新聞 2019/12/28

2009.12./ 569p

978-4-15-120057-1

本体 ¥1,100+税



### 七つの殺人に関する簡潔な記録

マーロン・ジェイムズ、旦 敬介 著

早川書房

1976 年 12 月 3 日のボブ・マーリー暗殺未遂事件。襲撃犯、裏で操る政治家、CIA 作員、アメリカ人記者、事件の目撃者、さらには亡霊までが真実を語りだし…。現実の事件をもとに、語られざる歴史をつむいだ長篇小説。

朝日新聞 2019/12/28

2019.6./ 717p

978-4-15-209867-2

本体 ¥6,000+税



### 坂の上の雲<1> 新装版

司馬 遼太郎 著

文芸春秋

伊予松山出身の三人、無敵を誇ったコサック騎兵を破った陸軍の名将・秋山好古、その弟で海軍の名参謀・秋山真之、そして俳句の開祖正岡子規。清新な次代の風をうけて夢をふくらませた各人の青春を描く。昭和 44 年刊の新装版。

朝日新聞 2019/12/28

2004.4./ 449p

978-4-16-322810-5

本体 ¥1,600+税



### レオナルド・ダ・ヴィンチ<上>

ウォルター・アイザックソン、土方 奈美 著

文藝春秋

科学者であり、軍事顧問であり、舞台演出家だった。光学、幾何学、解剖学などの点と点を結ぶ芸術家であり、人類史上初めて現れたイノベーターだった。レオナルド・ダ・ヴィンチの生涯とその天才性を、自筆ノートを基に描く。

朝日新聞 2019/12/28

2019.3./ 389p

978-4-16-390999-8

本体 ¥2,200+税



### レオナルド・ダ・ヴィンチ<下>

ウォルター・アイザックソン、土方 奈美 著

文藝春秋

科学者であり、軍事顧問であり、舞台演出家だった。光学、幾何学、解剖学などの点と点を結ぶ芸術家であり、人類史上初めて現れたイノベーターだった。レオナルド・ダ・ヴィンチの生涯とその天才性を、自筆ノートを基に描く。

朝日新聞 2019/12/28

2019.3./ 341p

978-4-16-391000-0

本体 ¥2,200+税



### 熱源

川越 宗一 著

文芸春秋

樺太で生まれたアイヌ、ヤママネクフは故郷を奪われたポーランド人や、若き日の金田一京助と出会い、自らの生きる意味を見出し…。明治維新後、樺太のアイヌに何が起こっていたのか。アイヌの闘いと冒険を描く傑作巨篇。

朝日新聞 2019/12/28

2019.8./ 426p

978-4-16-391041-3

本体 ¥1,850+税





### 在宅無限大～訪問看護師がみた生と死～(シリーズケアをひらく)

村上 靖彦 著

医学書院

病院に変えられた「死」は、再びその姿を変えている。現在の在宅死は、訪問看護師たちが「再発明」したものである。看護師たちの語りを通して、彼らの経験と看護のポテンシャルを明らかにする。テキストデータ引換券付き。

2018.12./ 253p

978-4-260-03827-0

本体 ¥2,000+税



朝日新聞 2019/12/28



### 居るのはつらいよ～ケアとセラピーについての覚書～(シリーズケアをひらく)

東畑 開人 著

医学書院

京大出の心理学ハカセが飛び込んだのは、あらゆる価値が反転する「ふしぎの国」だった。精神科デイケアを舞台に、ケアとセラピーについて綴る。『精神看護』連載を単行本化。テキストデータ引換券付き。

2019.2./ 347p

978-4-260-03885-0

本体 ¥2,000+税



朝日新聞 2019/12/28



### ディスタント

ミヤギ フトシ 著

河出書房新社

僕をあなたの部屋に連れて行ってほしい。そして、あなたと僕、ふたりの写真を撮らせてほしい。まるで、僕たちふたりが恋人同士であるかのような。気鋭の現代美術作家が描く青春小説。『文藝』掲載を単行本化。

2019.4./ 282p

978-4-309-02796-8

本体 ¥1,800+税



朝日新聞 2019/12/28



### 神前酔狂宴

古谷田 奈月 著

河出書房新社

神社の結婚披露宴場で働く浜野、梶、倉地。配膳スタッフとして日々披露宴の「茶番」を演じるうちに、神社の祀る神が明治日本の軍神であることを知り…。結婚、家族、日本という壮大な茶番を切り裂く。『文藝』掲載を単行本化。

2019.7./ 226p

978-4-309-02808-8

本体 ¥1,600+税



朝日新聞 2019/12/28



### すべての、白いものたちの

ハン ガン、斎藤 真理子 著

河出書房新社

うぶぎ、ゆき、つき、こめ、はくさい、ほね…。白い光と体温のある方へ。現代アジア最注目作家が描く、破壊の記憶と、再生への祈り。ワルシャワと朝鮮半島をむすぶ、いのちの物語。

2018.12./ 186p

978-4-309-20760-5

本体 ¥2,000+税



朝日新聞 2019/12/28



### ラファエッロの秘密

コスタンティーノ・ドラッツィオ、上野 真弓 著

河出書房新社

素晴らしい創造力の源であるだけでなく、工房の管理経営においても、他の誰にもなし得なかった手腕をみせたラファエッロ。成功に成功を重ね、貴族のように富を蓄え、性愛に生きた若き巨匠の生涯を、生き生きと物語る。

2019.1./ 251p 図版 16p

978-4-309-25616-0

本体 ¥2,800+税



朝日新聞 2019/12/28



### うるさく、しずかに、ひそひそと～音がきこえてくる絵本～

ロマナ・ロマニーシン、アンドリー・レシヴ、広松 由希子 著

河出書房新社

楽器や声の種類、からだが出す音、自然の中で聴こえる音、音の強さをはかる単位…。「音」や「聴くこと」の様々なことがらについて、美しいグラフィックで描いた絵本。

2019:10./ 1 冊(ページ付なし)

978-4-309-29060-7

本体 ¥2,000+税



朝日新聞 2019/12/28



### 教育格差のかくれた背景～親のパーソナルネットワークと学歴志向～

荒牧 草平 著

勁草書房

親の交際相手について調査した結果から、親族やママ友などの学歴や考え方が親の学歴志向を媒介して関与していることを実証的に析出する。教育格差の生成メカニズムに迫り、親への支援に結び付けようとする研究。

2019:8./ 8p,247p

978-4-326-60319-0

本体 ¥3,800+税



朝日新聞 2019/12/28



### 82 年生まれ、キム・ジョン

チョ ナムジュ、斎藤 真理子 著

筑摩書房

ある日突然、自分の母親や友人の人格が憑依したかのようなキム・ジョン。誕生、学生時代、受験、就職、結婚、育児…。彼女の人生を克明に振り返る中で、女性の人生に立ちはだかる困難と差別を描く。

2018:12./ 189p

978-4-480-83211-5

本体 ¥1,500+税



朝日新聞 2019/12/28



### 「助けて」が言えない～SOSを出さない人に支援者は何ができるか～

松本 俊彦 編

日本評論社

臨床現場で遭遇するであろう、さまざまな援助希求能力の乏しい人々や、それゆえに支援者を悩ませ、苛立たせる人々をとりあげ、その理解や対応のヒントを示す。『こころの科学』202 号掲載を増補し書籍化。

2019:7./ 263p

978-4-535-56379-7

本体 ¥1,600+税



朝日新聞 2019/12/28



### ピカソとの日々

フランソワーズ・ジロー、カールトン・レイク、野中 邦子 著

白水社

間近で見た創作の秘密、芸術観、交友関係、そして恋愛…。巨匠ピカソの素顔を明かす、フランソワーズ・ジローの回想録。ともに生きた 10 年間を克明に記録しながら、ひとりの女性としての成長を綴る。モノクロ口絵も多数収録。

2019:4./ 335p,8p 図版 32p

978-4-560-09680-2

本体 ¥6,000+税



朝日新聞 2019/12/28



### ゴルバチョフ～その人生と時代～<上>

ウィリアム・トーブマン、松島 芳彦 著

白水社

冷戦終結 30 年にして解明される、ゴルバチョフという「謎」。ソ連改革から解体へと導いて「世界を変えた男」を、人間味豊かに描く。写真も多数収録。用語解説、人名索引、略語一覧付き。

2019:5./ 360p,58p

978-4-560-09696-3

本体 ¥4,700+税



朝日新聞 2019/12/28



## ゴルバチョフ～その人生と時代～<下>

ウィリアム・トーブマン、松島 芳彦 著

白水社

冷戦終結 30 年にして解明される、ゴルバチョフという「謎」。クーデターから失脚後まで、「世界を変えた男」を、人間味豊かに描く。写真も多数収録。用語解説、人名索引、略語一覧付き。

2019:6./ 388p,86p

978-4-560-09697-0

本体 ¥4,800+税



朝日新聞 2019/12/28



## カール・ポランニー伝

ギャレス・デイル、若森 みどり、若森 章孝、太田 仁樹 著

平凡社

市場社会を根源的に批判した「大転換」の著者カール・ポランニー。20 世紀の危機の時代を独自に診断した異才の思想に内在する矛盾と両義性とは。同時代とともに生き格闘した人びとの関係を克明に描き、その生涯に迫る。

2019:7./ 539p

978-4-582-82488-9

本体 ¥4,500+税



朝日新聞 2019/12/28



## ナガサキ～核戦争後の人生～

スーザン・サザード、宇治川 康江 著

みすず書房

原子雲真下のあの日から、苦難とともに生きのびた戦後まで、当時 10 代の若者達だった長崎被爆者の人生を、聞き書きや医師らの証言などをもとに描く。被爆者の側に徹底的に寄り添った、アメリカ人女性によるノンフィクション。

2019:7./ 449p,7p

978-4-622-08818-9

本体 ¥3,800+税



朝日新聞 2019/12/28



## 「少年」「少女」の誕生

今田 絵里香 著

ミネルヴァ書房

少年少女雑誌の誕生と変遷、および、少年少女雑誌における「少年」「少女」に関する知の誕生と変遷について、社会学・文学的考察に加え、メディア論的な視点からも読み解く。

2019:10./ 8p,495p,15p

978-4-623-08440-1

本体 ¥4,000+税



朝日新聞 2019/12/28



## 知りたくなる韓国

新城 道彦、浅羽 祐樹、金香男、春木 育美 著

有斐閣

韓国はどのような来歴をもち、国としてどのように舵を切り、人びとはどんな暮らしをしているのか。韓国の歴史、政治、社会、文化を解説し、その実像を伝える。高齢者の貧困や K-POP 等について記したコラムも掲載。

2019:7./ 10p,298p

978-4-641-17449-8

本体 ¥1,800+税



朝日新聞 2019/12/28



## 趣味の社会学～文化・階層・ジェンダー～

片岡 栄美 著

青弓社

社会調査や計量分析を基に、現代日本における文化的オムニボア(文化的雑食性)という特性と、ジェンダーによる文化の差異を浮き彫りにする。そして、日本で文化の再生産が隠蔽されてきたメカニズムを解き明かす。

2019:9./ 377p

978-4-7872-3456-8

本体 ¥4,000+税



朝日新聞 2019/12/28





### 高村光太郎の戦後

中村 稔 著

青土社

戦争を賛美した2人の巨人、詩人・彫刻家の高村光太郎と歌人の斎藤茂吉。戦後書かれた光太郎の「典型」と茂吉の「白き山」を緻密な論証により評価し、光太郎の十和田湖裸婦像の凡庸な所以を新たな観点から解明する。

2019:5./ 477p

978-4-7917-7163-9

本体 ¥2,600+税



朝日新聞 2019/12/28



### 生き物の死にざま

稲垣 栄洋 著

草思社

生きものたちは、晩年をどう生き、どのようにこの世を去るのか。子に身を捧ぐハサミムシ、海と陸の危険に満ちた一生をおくるウミガメ…。生命の最後の輝きを描く、哀切と感動の29話を収録。生きものイラストも掲載する。

2019:7./ 207p

978-4-7942-2406-4

本体 ¥1,400+税



朝日新聞 2019/12/28



### 崩壊学～人類が直面している脅威の実態～

パブロ・セルヴィーニ、ラファエル・スティーンズ、鳥取 絹子 著

草思社

疲弊する社会制度、エネルギーの枯渇、グローバル化によるリスクの拡大、レジリエンスを失った生態系、異常気象の頻発…。現行の枠組が崩壊間際になっている現状をデータとともに提示する。

2019:9./ 270p

978-4-7942-2412-5

本体 ¥2,000+税



朝日新聞 2019/12/28



### セレブの誕生～「著名人」の出現と近代社会～

アントワヌ・リルティ、松村 博史、井上 櫻子、齋藤 山人 著

名古屋大学出版会

王族・政治家から作家・俳優まで、近代の始まりと共に生まれた「セレブリティ」。その新たな社会現象の成立が、ジャーナリズムの発達や市民階級の勃興などに象徴される近代性の確立と不可分に結びついていることを解明する。

2018:12./ 6p,413p,52p

978-4-8158-0933-1

本体 ¥5,400+税



朝日新聞 2019/12/28



### 明日をさがす旅～故郷を追われた子どもたち～

アラン・グラッツ、さくま ゆみこ 著

福音館書店

1939年のドイツ、1994年のキューバ、2015年のシリア。それぞれの故郷を追われて旅立った3人の子どもたちの運命は、時を超えて、思わぬところで結びつくことに…。歴史的事実を踏まえた物語。

2019:11./ 413p

978-4-8340-8385-9

本体 ¥2,200+税



朝日新聞 2019/12/28



### ロヒンギャ難民 100万人の衝撃

中坪 央暁 著

めこん

ロヒンギャ問題とは何か、あの日何が起こったのか、解決の道はあるのか、そして日本に何ができるのか…。バングラデシュで実際にロヒンギャ難民支援に従事してきた元新聞記者が、この未曾有の人道危機をレポートする。

2019:8./ 525p 図版5枚

978-4-8396-0317-5

本体 ¥4,000+税



朝日新聞 2019/12/28



### ぼそぼそ声のフェミニズム

栗田 隆子 著

作品社

現在の社会が見ないようにしてきた問題を、さらには、フェミニズム理論や社会運動からすらこぼれ落ちたものを、拾い集めてつづやき続ける。「なかったこと」にされないために…。過去に発表した論説やエッセイに加筆し書籍化。

朝日新聞 2019/12/28

2019:6./ 224p

978-4-86182-751-8

本体 ¥1,800+税



### 戦争と資本～統合された世界資本主義とグローバルな内戦～

エリック・アリエズ、マウリツィオ・ラッツァラート、杉村 昌昭、信友 建志 著

作品社

資本は常に新たな戦争を求め、戦争抜きには存続しえない。現在の<世界内戦>といわれる戦争状態が、なぜ発生しているのかを論じ、その成り行きが今後の資本主義の行方、世界の在り方を決定することを明らかにする。

朝日新聞 2019/12/28

2019:9./ 423p

978-4-86182-772-3

本体 ¥3,800+税



### 妻の死～加賀乙彦自選短編小説集～

加賀 乙彦 著

幻戯書房

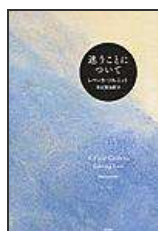
芥川賞候補作の「くさびら譚」から、単行本未収録の「熊」「妻の死」まで、加賀乙彦が自ら選んだ短編小説 12 編を収録。付録として随筆「長編小説執筆の頃」も掲載する。

朝日新聞 2019/12/28

2019:5./ 369p

978-4-86488-170-8

本体 ¥3,200+税



### 迷うことについて

レベッカ・ソルニット、東辻 賢治郎 著

左右社

ソクラテスはいふ。未知を知ることができるのはそれを思い出しているからだ。著者自身の個人史と世界史の両方に分け入りながら、迷いと痛みの深みのなかに光を見つける、哲学的思索の書。

朝日新聞 2019/12/28

2019:4./ 233p

978-4-86528-234-4

本体 ¥2,400+税



### その子、発達障害ではありません～IN-Child の奇跡～

韓 昌完 著

さくら舎

「発達障害」「問題児」と決めつけても何も変わらない。「甘えん坊」「いつも体調が悪い」など、ADHD 傾向や ASD 傾向の気になる子に対処する画期的方法を紹介する。記入用紙、Q&A、研究コラムも収録。

朝日新聞 2019/12/28

2019:2./ 255p

978-4-86581-185-8

本体 ¥1,500+税



### ピカソの私生活～創作の秘密～

オリヴィエ・W.ピカソ、岡村 多佳夫 著

西村書店

親しき者だけが知る、画家パブロ・ピカソの素顔。ピカソの孫である著者が、「女性」「家族」「政治」「金」「死」をテーマに、R・キャパやマン・レイによる貴重な写真と作品で、祖父である巨匠の生涯をたどる。

朝日新聞 2019/12/28

2019:10./ 327p

978-4-86706-000-1

本体 ¥3,800+税





### みぎわに立って

田尻 久子 著  
里山社

熊本地震後、新店舗へと移転した橙書店。変わらぬ日常を作り出そうと静かな強い意志をもつ店主のもとに、いつもの客が集い、日々が始まっていく…。橙書店の 365 日を綴ったエッセイ集。『西日本新聞』連載を大幅に加筆訂正。

2019:3./ 175p

978-4-907497-08-8

本体 ¥1,900+税



朝日新聞 2019/12/28



### 風の図譜～原満三寿句集～

原 満三寿 著  
深夜叢書社

草萌えるさすらう風に湧く言語 ?せ山羊の夕映えを呑む板東太郎 三月の風に  
梵音去れずおり <風>の諸相を象った、思想する俳諧師の第 6 句集。鎮魂の詩  
作品「追憶の俳人たち」3 篇も収録。

2019:10./ 137p

978-4-88032-456-2

本体 ¥2,500+税



朝日新聞 2019/12/29



### 終わりになき探求

パール・S.バック、戸田 章子 著  
国書刊行会

天才児ランドルフは、人生の真実と意味を追い求めて、ニューヨーク、イギリス、  
パリに旅する。非武装地帯の警備について韓国では、人生を一変する出来事に  
遭遇し…。パール・バック未発表の遺作。

2019:10./ 389p

978-4-336-06368-7

本体 ¥2,700+税



東京・中日新聞 2019/12/01



### 祇園の祇園祭～神々の先導者宮本組の一か月～

澤木 政輝 著  
平凡社

祇園祭の本義は神輿渡御を中心とした神事。花街祇園は八坂氏子の宮本とし  
て祭を支える。明治以前から続いたお茶屋に生まれ、宮本の一員として奉仕し  
てきた著者が、知られざる神事と祭り風景を綴った貴重な記録。

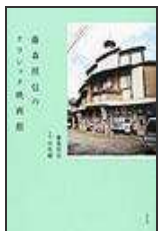
2019:9./ 314p

978-4-582-83806-0

本体 ¥2,400+税



東京・中日新聞 2019/12/01



### 藤森照信のクラシック映画館

藤森 照信、中馬 聡 著  
青幻舎

昭和 30 年代には 7 千軒以上が存在していた映画館も、今や昔ながらの姿を留  
める館は 100 軒に満たない。世を風靡しながらも見過ごされてきた「映画館」の  
歴史を丹念に掘り起こす。全国の名物映画館の貴重な写真も多数掲載。

2019:9./ 229p

978-4-86152-595-7

本体 ¥2,500+税



東京・中日新聞 2019/12/01



### 海と空のあいだに～石牟礼道子全歌集～

石牟礼 道子 著  
弦書房

1943?2015 年の未発表作品を含む 670 余首を収めた石牟礼道子全歌集。1969  
年の「苦海浄土」刊行以前に詠まれた初期短歌と 1999 年の「アニマの鳥」刊行  
前後から詠まれた短歌を中心に集成。関連エッセイも掲載。

2019:10./ 331p

978-4-86329-195-9

本体 ¥2,600+税



東京・中日新聞 2019/12/01



### 十三の海鳴り～蝦夷太平記～

安部 龍太郎 著  
集英社

幕府に従うか、朝廷につくか。鎌倉末期の奥州、蝦夷。身の丈六尺三寸の青年・安藤新九郎がアイヌと力を合わせ切り拓く、真に進むべき道とは…。『小説すばる』掲載を加筆・修正し単行本化。安部版「太平記」シリーズ。

2019:10./ 485p

978-4-08-771680-1

本体 ¥2,000+税



東京・中日新聞 2019/12/08



### さんかく

千早 茜 著  
祥伝社

古い京町家で暮らす夕香と同居することになった正和。理由は“食の趣味”が合うから。けれど恋人の華には言えなくて…。三角関係未満の揺れ動く女、男、女の物語。『新刊ニュース』連載を加筆・訂正。

2019:11./ 266p

978-4-396-63579-4

本体 ¥1,500+税



東京・中日新聞 2019/12/08



### パリ左岸～1940-50 年～

アニエス・ポワリエ、木下 哲夫 著  
白水社

詩人、作家、思想家、画家、俳優、ジャーナリスト、政治家…。目まぐるしく移りゆく社会情勢と世相を背景に、戦後、新たな時代の幕開けを彩り、歴史に名を刻む人々の人生が交錯する瞬間を活写する。

2019:8./ 427p,39p

978-4-560-09719-9

本体 ¥4,800+税



東京・中日新聞 2019/12/08、毎日新聞 2019/12/08



### 投げない怪物～佐々木朗希と高校野球の新時代～

柳川 悠二 著  
小学館

いま、高校野球の現場で何が起きている？ 2019 年夏の岩手大会に密着した著者が、令和の怪物・佐々木朗希の登板回避の裏側に迫るとともに、強豪校の監督、選手、スカウトらに取材を重ね、激変の現場の実態を描く。

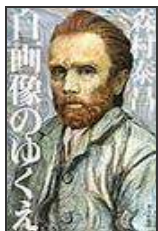
2019:10./ 253p

978-4-09-388719-9

本体 ¥1,500+税



東京・中日新聞 2019/12/15



### 自画像のゆくえ(光文社新書 1028)

森村 泰昌 著  
光文社

画家はなぜ自画像を描くのか。自撮り/セルフイー時代の「わたし」とは。セルフポートレート写真(自画像的写真)をつくりつづけてきた美術家が、約 600 年の歴史を踏まえて綴る実践的自画像論。

2019:10./ 615p

978-4-334-04437-4

本体 ¥1,500+税



東京・中日新聞 2019/12/15



### 沖縄 1935～写真集～

週刊朝日編集部 編  
朝日新聞出版

糸満の漁師たちの日常、軌道馬車、活気あふれる那覇の市場-。1935(昭和 10)年の沖縄の人々の生き生きとした暮らしぶり、民俗、建築、産業、自然を鮮明に記録する写真の数々と、現地の古老らの証言などを収録。

2017:7./ 127p

978-4-02-258695-7

本体 ¥1,800+税



読売新聞 2019/12/01





**ぼくたちの離婚(角川新書 K-291)**

稲田 豊史 著

KADOKAWA

“家族”を背負えないぼくたち、妻が浮気に走った理由、こわれた伴侶…。離婚を経験した男性にのみ、離婚に至るまでの経緯や?末を聞いたルポルタージュ。WEB『女子 SPA!』連載を加筆し書籍化。

2019.11./ 212p

978-4-04-082330-0

本体 ¥860+税



読売新聞 2019/12/01



**ハバア上等!〜大人のおしゃれ DO!&DON'T!〜(集英社文庫 し 62-2)**

地曳 いく子、槇村 さとる 著

集英社

大人のおしゃれカリスマ・地曳いく子と、ファッション大好き漫画家・槇村さとるがコンビ結成! おしゃれに迷う、40代・50代の“すっかり大人”世代の女性に、金言とイラストでおしゃれのポイントをわかりやすく紹介する。

2019.9./ 177p

978-4-08-744026-3

本体 ¥540+税



読売新聞 2019/12/01



**死役所<1>(バンチコミックス)**

あずみきし 著

新潮社

読売新聞 2019/12/01

2014.4./ 181p

978-4-10-771741-2

本体 ¥560+税



**首里城への坂道〜鎌倉芳太郎と近代沖縄の群像〜(中公文庫 よ 58-1)**

与那原 恵 著

中央公論新社

大正末期から昭和初期にかけて、大々的な琉球芸術調査を行い、貴重かつ膨大な資料を残した鎌倉芳太郎。稀代の記録者の仕事をはじめ、彼に琉球文化の扉を開いた人々の姿、そしてそれが現代に?がるまでの熱きドラマを描く。

2016.11./ 486p

978-4-12-206322-8

本体 ¥1,400+税



読売新聞 2019/12/01



**いい感じの石ころを拾いに(中公文庫 み 53-1)**

宮田 珠己 著

中央公論新社

ただ海辺にしゃがみこんで、いい感じの石ころを探す。それ以上主張したいことは特にない。北海道から南の離島まで、“なんてことない石ころ”を拾い続けた紀行エッセイ。石ころ写真も満載。「出雲石拾い行」を加えた文庫版。

2019.10./ 301p

978-4-12-206793-6

本体 ¥780+税



読売新聞 2019/12/01



**スナック墓場**

嶋津 輝 著

文藝春秋

常連客がよく死ぬが、繁盛していたスナック「波止場」を閉めたママと、克子とハラちゃん、久しぶりに大井競馬の特観席に集まり…。表題作ほか、ゆるい日常を鮮やかに描いた全7編を収録。『オール讀物』掲載を単行本化。

2019.9./ 220p

978-4-16-391091-8

本体 ¥1,400+税



読売新聞 2019/12/01



**知れば知るほどおもしろい琉球王朝のすべて～沖縄の歴史と、王家・庶民の生活・文化まで～ 新装改訂版**

喜納 大作、上里 隆史 著

河出書房新社

お妃様はオーディションで決まる!? 大酒飲みは島流し!? 中国や欧米とも渡り合い、隆盛を極めた琉球が沖縄という日本の一部になるまでの波乱の歴史や、独特の発展を遂げた信仰・風俗・ライフスタイルをたのしく紹介。

2015:6./ 193p  
978-4-309-22633-0

本体 ¥1,400+税



読売新聞 2019/12/01



**動物たちが教えてくれた「良い生き物」になる方法**

サイ・モンゴメリー、古草 秀子 著

河出書房新社

動物たちは「良い生き物になる方法」を教えてくれた「教師」だった。エミュー、オコジョ、キノボリカンガルー、ミズダコなど、著者のこれまでの人生に影響をもたらした大切な動物たちの思い出を描く。

2019:10./ 190p  
978-4-309-25399-2

本体 ¥1,750+税



読売新聞 2019/12/01



**静寂から音楽が生まれる**

アンドラーシュ・シフ、岡田 安樹浩 著

春秋社

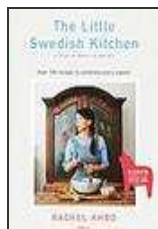
現代最高のピアニスト、アンドラーシュ・シフの肖像。音楽と人生について語った、マーティン・マイヤーとの対話と、「現代のピアノで弾くバッハ」「なぜ自筆譜が必要なのか」など、これまでに発表してきたエッセイを収録する。

2019:9./ 8p,413p  
978-4-393-93602-3

本体 ¥3,000+税



読売新聞 2019/12/01



**レイチェル・クーのスウェーデンのキッチン～Over 100 recipes to celebrate every season～**

レイチェル・クー、清宮 真理 著

世界文化社

スウェーデンに移り住み、子育てをしながら北欧料理を学んできたレイチェル。現地をよく使われるスパイスやハーブ類の使い方を始め、北欧の四季の恵みを味わい尽くすレシピを紹介する。

2019:10./ 302p  
978-4-418-18333-3

本体 ¥2,200+税



読売新聞 2019/12/01



**とりつくしま(ちくま文庫 ひ 19-1)**

東 直子 著

筑摩書房

死んだあなたに、「とりつくしま係」が問いかける。すでに失われた人生が凝縮してフラッシュバックのように現れ、切なさや温かさや哀しみ、そして少しのおかしみが滲み出る、珠玉の短篇小説集。

2011:5./ 213p  
978-4-480-42829-5

本体 ¥600+税



読売新聞 2019/12/01



**沖縄の世界遺産～琉球王国への誘い～(楽学ブックス 文学歴史 17)**

JTB パブリッシング

那覇を見下ろす高台に築かれた色鮮やかな城・首里城を中心とする町、琉球王国のロマンを今に伝えるグスク群と祈りの聖地…。沖縄の世界遺産と、琉球王国の信仰・文化・風習などを紹介する。データ:2012年12月現在。

2013:3./ 143p  
978-4-533-08976-3

本体 ¥1,600+税



読売新聞 2019/12/01



### コトラーのソーシャル・マーケティング～地球環境を守るために～

フィリップ・コトラー、松野 弘 著

ミネルヴァ書房

廃棄物の削減や省エネルギー、水質保全などでいかに周囲の共感を創り、参加者を増やして成果を上げるか。成否の鍵となるソーシャル・マーケティングの手法を、企業や地方自治体为主役の事例とともに紹介する。

2019:10./ 20p,319p

978-4-623-08729-7

本体 ¥3,000+税



読売新聞 2019/12/01



### イダジョ!～医大女子～(ハルキ文庫 と8-1)

史夏 ゆみ 著

角川春樹事務所

普通のサラリーマンの家庭に育ちながら、私立の医大に入学した安月美南。そこで出会う同級生や教授、医師は変わり者だらけ!? 逆境に立ち向かう人にエールを贈る、お仕事×学園エンターテインメント。

2019:11./ 327p

978-4-7584-4304-3

本体 ¥680+税



読売新聞 2019/12/01



### 中国で叶えた幸せ(「忘れられない中国滞在エピソード」受賞作品集 第2回)

鈴木 憲和、乗上 美沙、段 躍中 編

鈴木 憲和、乗上 美沙 著

日本僑報社

中国に行ったことのある日本人を対象にとっておきの体験エピソードを募集した、第2回「忘れられない中国滞在エピソード」の受賞作品集。最優秀賞・中国大使賞の「赤い羽根がくれた幸せ」をはじめ計77編の入賞作などを収録。

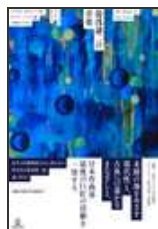
2019:11./ 282p

978-4-86185-286-2

本体 ¥2,500+税



読売新聞 2019/12/01



### 湯浅譲二の音楽

ルチアナ・ガリアーノ、ピーター・バート 編

ルチアナ・ガリアーノ、小野 光子 著

アルテスパブリッシング

未踏の地をめざす現代性と、古典への遙かなまなざし。日本作曲界最後の巨匠・湯浅譲二について、彼と長年にわたる信頼関係を築いてきたイタリア人音楽学者が論じる。湯浅譲二の詳細な年譜と作品目録付き。

2019:9./ 12p,320p

978-4-86559-210-8

本体 ¥3,800+税



読売新聞 2019/12/01



### 現代美術史～欧米、日本、トランスナショナル～(中公新書 2562)

山本 浩貴 著

中央公論新社

芸術は社会、世界、人間とどう向き合っているのか。難解と思われがちな現代美術を、特に第二次世界大戦後の社会との関わりから解説、意義づける。世界中の作家による立体、映像など様々な作品で紡ぐ、現代アート入門。

2019:10./ 9p,318p

978-4-12-102562-3

本体 ¥960+税



読売新聞 2019/12/01、朝日新聞 2019/12/07



### 古川健<1> 治天ノ君/追憶のアリラン(ハヤカワ演劇文庫 48)

古川 健 著

早川書房

歴史劇の名手・古川健の戯曲集。1 は、激動の明治と昭和の間に埋もれ、人々から忘れられた大正天皇の真実を描いた「治天ノ君」ほか、全 2 篇を収録。各作品の参考文献、語句解説、関連年表等も掲載。

2019:10./ 314p

978-4-15-140048-3

本体 ¥1,200+税



読売新聞 2019/12/01、朝日新聞 2019/12/07



### 僕の人生には事件が起きない

岩井 勇気 著

新潮社

30 代独身、相方の陰に隠れがちな「ありふれた人生」を送るお笑い芸人の日常は実は狂気を孕んでいて…。ハライチ岩井の初エッセイ集。自筆イラストも満載。『小説新潮』『BookBang』連載に書き下ろしを加えて書籍化。

2019:9./ 189p

978-4-10-352881-4

本体 ¥1,200+税



読売新聞 2019/12/01、朝日新聞 2019/12/14



### 列島祝祭論

安藤 礼二 著

作品社

天皇制の起源に遡り、神道・道教・修験・天台・真言・後醍醐など、天皇を軸として習合・展開されてきた日本的霊性の原型を根源的に探求。極東の列島に胚胎された原初の祝祭の姿を追う。『すばる』連載を増補し書籍化。

2019:10./ 359p

978-4-86182-773-0

本体 ¥2,600+税



読売新聞 2019/12/01、朝日新聞 2019/12/14



### 在野研究ビギナーズ～勝手にはじめる研究生活～

荒木 優太 著

明石書店

在野の研究者に資格はいらない。卒業後も退職後も、いつだって学問はできる！現役で活躍中の在野研究者たちが、研究生活の実践と方法を、おのおのの体験の中で論じる。

2019:9./ 286p

978-4-7503-4885-8

本体 ¥1,800+税



読売新聞 2019/12/01、朝日新聞 2019/12/28



### 実像～広島市の「ばっちゃん」中本忠子の真実～

秋山 千佳 著

KADOKAWA

約 40 年にわたり、非行少年や生きづらさを抱える人たちに無償で手料理を提供し、支援し続けてきた「ばっちゃん」。綿密な取材によりその原点と秘してきた「情と業」に迫り、偶像を求め、作り、弄ぶ時代を撃つ渾身のレポート。

2019:10./ 252p

978-4-04-108615-5

本体 ¥1,700+税



読売新聞 2019/12/01、読売新聞 2019/12/22



### 秘録退位改元～官邸 VS.宮内庁の攻防 1000 日～

朝日新聞取材班 著

朝日新聞出版

NHK スクープ以降、宮内庁サイドに翻弄され続けてきた官邸は、猛然と巻き返しを図り、主導権を奪い返そうとしていた…。新聞記者が「令和」までの舞台裏を明かす。『朝日新聞』掲載に加筆し書籍化。

2019:10./ 249p,36p

978-4-02-251638-1

本体 ¥1,600+税



読売新聞 2019/12/08





**クアトロ・ラガッツィ〜天正少年使節と世界帝国〜<上>(集英社文庫)**

若桑 みどり 著

集英社

読売新聞 2019/12/08

2008:3./ 575p

978-4-08-746274-6

本体 ¥940+税



**クアトロ・ラガッツィ〜天正少年使節と世界帝国〜<下>(集英社文庫)**

若桑 みどり 著

集英社

読売新聞 2019/12/08

2008:3./ 503p

978-4-08-746275-3

本体 ¥860+税



**私の家**

青山 七恵 著

集英社

実家に戻ってきた娘、他人に親身な母、音信不通だった伯父、そして大叔母。すれ違いながらも、同じ家に暮らした記憶と小さな秘密に結び合わされて…。三代にわたる「家と私」の物語。『すばる』連載を加筆し単行本化。

2019:10./ 315p

978-4-08-771675-7

本体 ¥1,750+税



読売新聞 2019/12/08



**ロボット・イン・ザ・スクール(小学館文庫 イ2-3)**

デボラ・インストール、松原 葉子 著

小学館

プレススクールに通い始めたボニーを見て、ぼんこつロボット・タングが「僕も学校に行きたい」と言い出した。果たしてタングは人間の学校に入学できるのか…？笑って泣けるハートフル小説。

2019:11./ 397p

978-4-09-406715-6

本体 ¥820+税



読売新聞 2019/12/08



**出星前夜(小学館文庫 い25-6)**

飯嶋 和一 著

小学館

寛永 14 年、松倉家入封以来 20 年、無抵抗をつらぬいてきた旧キリシタンの土地・島原で初めての武装蜂起が起こった。幕藩体制に抗った、誇り高き海民・土豪らの絶望的な戦いを描く。

2013:2./ 714p

978-4-09-408796-3

本体 ¥876+税



読売新聞 2019/12/08



**みみずくは黄昏に飛びたつ〜Murakami Haruki A Long,Long Interview〜(新潮文庫 む-5-43)**

新潮社

「騎士団長殺し」誕生秘話、創作の極意、少年期の記憶、名声と日常、そして死後のこと…。村上春樹が、少女時代からの熱心な愛読者・川上未映子に、自身の最深部を鮮烈な言葉で語る。新たな対談を加えて文庫化。

2019:12./ 469p

978-4-10-100175-3

本体 ¥750+税



読売新聞 2019/12/08



### 雪の練習生(新潮文庫 た-106-1)

多和田 葉子 著

新潮社

サーカスの花形から事務職に転身し、やがて自伝を書き始めた「わたし」。サーカスで伝説の芸を成し遂げた娘の「トスカ」。その息子で動物園の人気者となった「クヌート」。ホッキョクグマ 3 代の物語をユーモラスに描く。

読売新聞 2019/12/08

2013:11./ 328p

978-4-10-125581-1

本体 ¥590+税



### 令和誕生〜退位・改元の黒衣たち〜

読売新聞政治部 著

新潮社

平成の天皇が夕食の席で側近に退位の意向を吐露してから、改元、新天皇の即位までの全真相。読売新聞政治部が、2019 年 5 月 1 日の皇位継承に伴う新元号「令和」が制定されるまでの政治の動きを追ったドキュメント。

読売新聞 2019/12/08

2019:10./ 253p

978-4-10-339018-3

本体 ¥1,500+税



### 令和はばたく医療ツーリズム〜国際貢献と連帯の新時代へ〜

水巻 中正 著

中央公論新社

海外の国や地域を訪ねて健診や治療を受ける「医療ツーリズム」。医療通訳の充実、病院の国際認証取得の増加、20 を超える海外の医療拠点などに注目し、科学立国・日本の未来を切り開くための新たな潮流を展望する。

読売新聞 2019/12/08

2019:12./ 227p

978-4-12-005255-2

本体 ¥2,500+税



### 残酷な進化論〜なぜ私たちは「不完全」なのか〜(NHK 出版新書 604)

更科 功 著

NHK出版

人体は「進化の失敗作」？ ヒトも大腸菌も生きる目的は一緒？ 心臓病・腰痛・難産になるようヒトは進化した？ 「人体」をテーマに、誤解されがちな進化論の本質を明快に描き出した、知的エンターテインメント。

読売新聞 2019/12/08

2019:10./ 218p

978-4-14-088604-5

本体 ¥800+税



### インドが変える世界地図〜モディの衝撃〜(文春新書 1237)

広瀬 公巳 著

文藝春秋

今後、中国を上回る世界最大の人口となり、日本、ドイツを抜き世界 3 位の経済大国になると予測されるインド。モディ首相の強いリーダーシップ、AI 戦略、巨大市場…。NHK 元ニューデリー支局長がインドの最新情勢を伝える。

読売新聞 2019/12/08

2019:10./ 255p

978-4-16-661237-6

本体 ¥880+税



### みんな彗星を見ていた〜私的キリシタン探訪記〜(文春文庫 ほ 11-6)

星野 博美 著

文藝春秋

東と西が出会ったとき、何が起きたのか？ 多くの謎が潜む、キリシタンの世紀。長崎からバレンシア、バスクまで、時代を生き抜いた宣教師や信徒の足跡を辿り、新たな視点で伝える。

読売新聞 2019/12/08

2018:10./ 540p

978-4-16-791163-8

本体 ¥1,080+税





### 黒い豚の毛、白い豚の毛～自選短篇集～

閻 連科、谷川 毅 著

河出書房新社

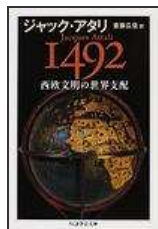
ヒラヒラと舞う雪花、冬の枯草の暖かい匂い、鉄の規律に縛られた軍隊生活、テーブルに刺さった赤い箸の十字架…。ノーベル文学賞候補と目される作家が自ら選んだ、農村と軍隊と信仰をめぐる9つの短篇を収録する。

読売新聞 2019/12/08

2019:7./ 266p

978-4-309-20773-5

本体 ¥2,900+税



### 1492 西欧文明の世界支配(ちくま学芸文庫)

ジャック・アタリ 著

筑摩書房

読売新聞 2019/12/08

2009:12./ 444p,23p

978-4-480-09258-8

本体 ¥1,500+税



### BOOKMARK～翻訳者による海外文学ブックガイド～

三辺 律子 編

CCCメディアハウス

もっと海外文学を! 翻訳物って面白い! 特にお勧めの翻訳小説204冊を、翻訳者が紹介する。江國香織、町田康、村上春樹らのエッセイも収録する。『BOOKMARK』に加筆修正し書籍化。

読売新聞 2019/12/08

2019:9./ 262p

978-4-484-19227-7

本体 ¥1,500+税



### 深夜の散歩～ミステリの愉しみ～(創元推理文庫 M ふ 8-2)

福永 武彦、中村 真一郎、丸谷 才一 著

東京創元社

深夜、男は本棚から1冊の探偵小説にそっと手をのばす。福永武彦、中村真一郎、丸谷才一。博雅の文学者である3人が、探偵小説を読む愉しさを軽やかに、時に銜学的に、余すことなく語り尽くす。

読売新聞 2019/12/08

2019:10./ 398p

978-4-488-47812-4

本体 ¥1,100+税



### インド夜想曲(白水 U ブックス)

アントニオ・タブッキ 著

白水社

失踪した友人を探してインド各地を旅する主人公、彼の前に現れる幻想と瞑想の世界。インドの深層にふれるミステリアスな内面の旅行記。イタリア文学の鬼才が描く十二の夜の物語。

読売新聞 2019/12/08

1993:10./ 163p

978-4-560-07099-4

本体 ¥900+税



### 墨龍賦(PHP 文芸文庫 は 4-2)

葉室 麟 著

PHP研究所

浅井家滅亡、斎藤利三との友情、本能寺の変…。建仁寺の「雲龍図」で名を馳せた桃山時代最後の巨匠・海北友松。武人の魂を持ち続けた絵師の生涯を描く歴史長編。

読売新聞 2019/12/08

2019:11./ 330p

978-4-569-76984-4

本体 ¥780+税





### 新しく学ぶフランス史

平野 千果子 著

ミネルヴァ書房

中世から近代までのフランスの歴史をコンパクトにまとめた入門書。フランス史の研究では扱われることの少ない植民地や移民の歴史のほか、宗教、ジェンダーなど幅広いテーマを取り上げ、図版を多用してわかりやすく解説する。

2020.2./ 8p,323p,27p

978-4-623-08598-9

本体 ¥2,800+税



読売新聞 2019/12/08



### 湘南幻想美術館～湘南の名画から紡ぐストーリー～

太田 治子 著

かまくら春秋社

古賀春江「窓外の化粧」、葉祥明「幸せの秋」、アンリ・マティス「ラ・フランス」など、湘南の美術館でみられる絵や、湘南ゆかりの画家の絵に寄り添うようにして綴ったストーリー集。『かまくら春秋』掲載を加筆し単行本化。

2019.10./ 94p

978-4-7740-0790-8

本体 ¥1,500+税



読売新聞 2019/12/08



### 退職代行～「辞める」を許さない職場の真実～(SB新書 492)

小澤 亜季子 著

SBクリエイティブ

「辞める」を許さない職場で働く人の最後の手段が「退職代行」。どうすればスムーズに退職できるのか、退職するときには何に気をつけると無理なく次の職場に移れるのか。事例を踏まえ、詳しく紹介する。

2019.10./ 183p

978-4-8156-0313-7

本体 ¥830+税



読売新聞 2019/12/08



### 家族の命運～イングランド中産階級の男と女 1780?1850～

L.ダヴィドフ、C.ホール、山口 みどり、梅垣 千尋、長谷川 貴彦 著

名古屋大学出版会

現在、没落を言われる「中間層」は、どのように形成されたのか。経済・政治・社会が急激に変動する産業革命の中心国を舞台に、家族とジェンダーに注目し、そのイデオロギー・制度・実践を、様々な男女の姿を通して描き出す。

2019.8./ 8p,409p,100p

978-4-8158-0955-3

本体 ¥7,200+税



読売新聞 2019/12/08



### ちくわぶの世界～東京下町のソウルフードを味わう～

丸山 晶代、渡邊 博海 著

ころから

ただの小麦粉のかたまりが、美味しい出汁をたっぷり吸い込み、モチモチの食感を生む「ちくわぶ」。ちくわぶの製造方法、ちくわぶ誕生の秘密、メーカーごとの思いやその特徴、ちくわぶの美味しい食べ方やレシピを紹介する。

2019.11./ 184p

978-4-907239-48-0

本体 ¥1,500+税



読売新聞 2019/12/08



### 龍彦親王航海記～澁澤龍彦伝～

磯崎 純一 著

白水社

没後 30 年を過ぎたいまなお、多くのひとびとに読まれる人気作家・澁澤龍彦の最晩年に、編集者として訾咳に接した著者による初の伝記。未公開資料と知られざる逸話を交えながら、不世出の異才の生涯を辿る。

2019.10./ 506p,14p

978-4-560-09726-7

本体 ¥4,000+税



読売新聞 2019/12/08、毎日新聞 2019/12/08、東京・中日新聞 2019/12/15、日本経済新聞 2019/12/21





## MINIATURE TRIP IN JAPAN

田中 達也 著

小学館

ミニチュア写真家・田中達也の、身近な日用品を全く別の何かに見立てたユーモアたっぷりの作品集。日本らしさを感じさせる風景や物、食べ物を選択し、日本語と英語で解説する。

2019.11./ 119p

978-4-09-682318-7

本体 ¥1,800+税



読売新聞 2019/12/08、毎日新聞 2019/12/22



## 20 世紀アメリカの夢〜世紀転換期から 1970 年代〜(シリーズアメリカ合衆国史(3) 岩波新書 新赤版 1772)

中野 耕太郎 著

岩波書店

工業化と大衆社会化を迎えるなかで格差や貧困といった新しい問題に直面し、社会的な福祉国家=帝国と化した 20 世紀のアメリカ。ベトナム戦争とニクソン・ショックにより冷戦が変化する 1970 年代までを描く。

2019.10./ 15p,244p,20p

978-4-00-431772-2

本体 ¥860+税



読売新聞 2019/12/15



## 愛の夢とか(講談社文庫 か 112-5)

川上 未映子 著

講談社

あのと、ふたりが世界のすべてになった…。なにげない日常がゆらいで光を放つ瞬間をとらえた、心ゆさぶるストーリーズ。表題作ほか「アイスクリーム熱」「いちご畑が永遠につづいてゆくのだから」など、全 7 編収録。

2016.4./ 212p

978-4-06-293368-1

本体 ¥550+税



読売新聞 2019/12/15



## 国宝ロストワールド〜写真家たちがとらえた文化財の記録〜

岡塚 章子、金子 隆一、説田 晃大 著

小学館

明治・大正・昭和に撮影された数ある国宝の中から、すでに失われてしまったもの、形が変わっているものなど、写真史を語るうえでとくに意義のある写真全 33 枚を紹介する。『週刊ニッポンの国宝 100』連載を加筆し書籍化。

2019.10./ 112p

978-4-09-388722-9

本体 ¥1,600+税



読売新聞 2019/12/15



## 派遣社員あすみの家計簿(小学館文庫 キャラブン! C あ 5-1)

青木 祐子 著

小学館

恋人に騙され会社を“寿退社”した藤本あすみ。カードの支払いでピンチに陥り親友に説教され、家計簿をつけることに。必死の節約で食いつなぎ、ようやく派遣先を得たあすみ。そんな折、商社マンの八城からアプローチを受け…。

2019.11./ 295p

978-4-09-406719-4

本体 ¥640+税



読売新聞 2019/12/15



## いのちは輝く〜わが子の障害を受け入れるとき〜

松永 正訓 著

中央公論新社

障害児を授かった時、私たちは何を思いどう行動するか。幼い命をめぐり、親が障害を受容することの難しさや、医師の苦悩、出生前診断技術の進歩によって深まる迷いなどを綴る。医療サイト『ヨミドクター』連載に加筆し書籍化。

2019.10./ 236p

978-4-12-005237-8

本体 ¥1,600+税



読売新聞 2019/12/15



**人間の生き方、ものの考え方(文春学芸ライブラリー 思想 21)**

福田 逸、国民文化研究会 編

福田 恆存 著

文藝春秋

常に疑問を持ち思索を続けることを説いた思想家・福田恆存による学生への特別講義全 4 篇を完全再現。悪、歴史と現実、西洋と日本など、現代に至る問題を平易に論じ、混沌とした先行きを照らす。

2019:12./ 207p

978-4-16-813084-7

本体 ¥1,350+税



読売新聞 2019/12/15



**スノーデン独白～消せない記録～**

エドワード・スノーデン、山形 浩生 著

河出書房新社

何が彼を 2013 年の<暴露>にいたる決断へと迫らせたのか? アメリカ政府による秘密の<大量監視システム>の存在を暴露したエドワード・スノーデン。最強の諜報組織 NSA と CIA を敵に回した男の回顧録。

2019:12./ 376p

978-4-309-22786-3

本体 ¥1,900+税



読売新聞 2019/12/15



**恥ずかしながら、詩歌が好きです～近現代詩を味わい、学ぶ～(光文社新書 1036)**

長山 靖生 著

光文社

評論家として数々の受賞歴もある著者が、ついに詩歌好きをカミングアウト。近現代詩歌を時代順に引きながら、恋愛、師弟愛から妬みと友情と近親憎悪、食い様、飲み様、死に様まで、詩人たちの実人生とともにしみじみと味わう。

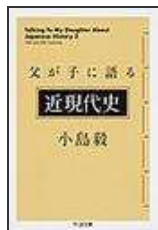
2019:11./ 332p

978-4-334-04444-2

本体 ¥940+税



読売新聞 2019/12/15



**父が子に語る近現代史(ちくま文庫 こ 53-2)**

小島 毅 著

筑摩書房

江戸の二つの歴史意識、チェンバレンとモースの見た日本、韓国問題と日清戦争、歴史に向き合うということ…。近代日本の歴史を対象に、著者が子どもに語りたい内容を選んでまとめる。

2019:11./ 254p

978-4-480-43632-0

本体 ¥800+税



読売新聞 2019/12/15



**やっさもっさ(ちくま文庫 し 39-14)**

獅子 文六 著

筑摩書房

孤児院「双葉園」の運営に奔走する亮子。そこへアメリカ人実業家、文芸評論家、婦人運動家など個性豊かな人物が集まり…。横浜を舞台に、戦後の社会問題を巧みに取り入れ、鋭い批評性と高い諧謔性で楽しませる 1952 年の傑作。

2019:12./ 398p

978-4-480-43638-2

本体 ¥840+税



読売新聞 2019/12/15



**独裁者はこんな本を書いていた<上>**

ダニエル・カルダー、黒木 章人 著

原書房

20 世紀の悪名高き独裁者たちは、何を読み、何を執筆したのか。人類史上最悪の本についてまとめた書。上は、レーニン「国家と革命」、ヒトラー「わが闘争」、毛沢東「毛主席語録」など、5 人の独裁者を取り上げる。

2019:10./ 303p

978-4-562-05703-0

本体 ¥2,000+税



読売新聞 2019/12/15



### 独裁者はこんな本を書いていた<下>

ダニエル・カルダー、黒木 章人 著

原書房

20 世紀の悪名高き独裁者たちは、何を読み、何を執筆したのか。人類史上最悪の本についてまとめた書。下は、辛口批評を気にしていたヒトラーや、ロマンスを執筆していたフセインなど、独裁者の知られざる一面と文才を暴く。

2019.10./ 240p,13p

978-4-562-05704-7

本体 ¥2,000+税



読売新聞 2019/12/15



### 中年女子、ひとりで移住してみました〜仕事・家・暮らし無理しすぎない田舎暮らしのコツ〜

鈴木 みき 著

平凡社

38 歳で東京を離れ、山梨県北杜市で 8 年間暮らした著者。自身の田舎暮らしの体験をもとに、中年独身の女性が移住するための仕事・家探し・ご近所付き合いなどのコツやアドバイスを紹介する。

2019.11./ 159p

978-4-582-83817-6

本体 ¥1,300+税



読売新聞 2019/12/15



### 怪奇日和(ハーパーBOOKS F・ヒ 2・1)

ジョー・ヒル、白石 朗 著

ハーパーコリンズ・ジャパン

モダンホラーの奇才、ジョー・ヒルが放つ怪奇幻想文学中篇集。記憶を吸い取る“パラロイドカメラ”を手にした謎の男が現れる「スナップショット」ほか、「こめられた銃弾」など全 4 篇を収録する。

2019.9./ 751p

978-4-596-54123-9

本体 ¥1,407+税



読売新聞 2019/12/15



### 三宅雪嶺(人物叢書 新装版 通巻 297)

日本歴史学会 編

中野目 徹 著

吉川弘文館

明治・昭和期のジャーナリスト・三宅雪嶺は、雑誌を中心に社会を論じ、独自の思想で日本・日本人像を模索し続けた。晩年に批判精神が失われた起因を探り、稀有の言論人として近代日本の歩みを体現した生涯を描く。

2019.10./ 16p,315p

978-4-642-05290-0

本体 ¥2,300+税



読売新聞 2019/12/15



### 中世鎌倉のまちづくり〜災害・交通・境界〜

高橋 慎一郎 著

吉川弘文館

大小の谷に囲まれた中世都市鎌倉を、人々はどのように活用し、住みこなしていたのか。多様な機能を持つ橋や禅宗寺院、武家屋敷から武士たちの暮らしを分析。人や物が絶え間なく行き交う都市鎌倉を探る。

2019.10./ 7p,216p

978-4-642-08361-4

本体 ¥2,800+税



読売新聞 2019/12/15



### キリン解剖記

郡司 芽久 著  
ナツメ社

キリンが亡くなりました。クリスマスも正月も、訃報で予定をキャンセルし…。これまでに 30 頭のキリンを解剖し、「8 番目の“首の骨”」を見つけた著者が、キリンとの出会い、探求、発見の日々を綴る。

2019/7./ 215p  
978-4-8163-6679-6

本体 ¥1,200+税



読売新聞 2019/12/15



### 個人主義から自分らしさへ～福沢諭吉・高山樗牛・和辻哲郎の「近代」体験～

先崎 彰容 著  
東北大学出版会

“日本近代”終焉後、置き去りにされたバラバラの「自分らしさ」に、なにを処方すればよいのか。戦前の日本思想史を検討することにより、「自分らしさ」の所在を系譜的に追いかけて、過去から現在を問いなおす。

2010/5./ 272p  
978-4-86163-141-2

本体 ¥2,800+税



読売新聞 2019/12/15



### モーツァルトとコーヒータイム(コーヒータイム人物伝)

ジュリアン・ラシュトン、下山 静香 著  
三元社

比類のない美と創意工夫に満ちた作品の数々を生み出したモーツァルト。確かな歴史的事実に基づいて、想像上のインタビュアーが架空のモーツァルトにインタビュー。リラックスしたおしゃべりの中でその生涯の真実を聞く。

2019/10./ 165p  
978-4-88303-495-6

本体 ¥1,500+税



読売新聞 2019/12/15



### わたしのいるところ(CREST BOOKS)

ジュンパ・ラヒリ、中嶋 浩郎 著  
新潮社

歩道で、バールで、本屋で、駅で…。生まれ育ったローマと思しき町に暮らす 45 歳の「わたし」の日々の光景。親しい道連れのような孤独と、彼女の旅立ちを綴った長篇小説。

2019/8./ 166p  
978-4-10-590159-2

本体 ¥1,700+税



読売新聞 2019/12/15、読売新聞 2019/12/22



### 宇宙から帰ってきた日本人～日本人宇宙飛行士全 12 人の証言～

稲泉 連 著  
文藝春秋

日本の社会で生まれ育ち、その風土を背景に持つ日本人宇宙飛行士は、自身の体験をどのようなものとして持ち帰ったのか。秋山豊寛から金井宣茂まで歴代 12 人の日本人宇宙飛行士に取材し、その宇宙体験を明らかにする。

2019/11./ 255p  
978-4-16-391107-6

本体 ¥1,650+税



読売新聞 2019/12/15、読売新聞 2019/12/22



### 千一夜物語～ガラン版～<1>

西尾 哲夫 著  
岩波書店

アントワーン・ガラン翻訳による「千一夜 アラブの物語」全 12 巻を日本語訳。1 は、「黒き島々を治める若き王の話」「アミーナの話」など、「樺物語」から「王子である三人の遊行僧とバグダードの五人の娘の話」までを収録。

2019/7./ 7p,299p  
978-4-00-028773-9

本体 ¥3,500+税



読売新聞 2019/12/22





### 千一夜物語～ガラン版～<2>

岩波書店

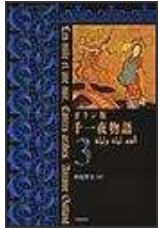
アントワヌ・ガラン翻訳による「千一夜 アラブの物語」全 12 巻を日本語訳。2 は、「海のシンドバードの話」「三つのリンゴ」「こぶ男の物語」を収録。解説も掲載。

読売新聞 2019/12/22

2019.9./ 5p,301p

978-4-00-028774-6

本体 ¥3,500+税



### 千一夜物語～ガラン版～<3>

西尾 哲夫 著

岩波書店

アントワヌ・ガラン翻訳による「千一夜 アラブの物語」全 12 巻を日本語訳。3 は、「ハーリダーンの子もたちの島の王子カマルッザマーンと、中国の王女ブドゥールの愛の話」等、第 166 夜?234 夜を収録。解説も掲載。

読売新聞 2019/12/22

2019.11./ 3p,331p

978-4-00-028775-3

本体 ¥3,500+税



### 明治政治史<上>(岩波文庫 38-126-1)

岡 義武 著

岩波書店

日本の政治史学の礎を築いた岡義武が、明治期の政治・経済・社会を包括的に描いた通史。上は、開国から帝国議会開設にいたる近代国家の形成過程を扱い、明治維新を民族の独立確保のためになされた民族革命として位置付ける。

読売新聞 2019/12/22

2019.2./ 515p

978-4-00-381261-7

本体 ¥1,320+税



### 明治政治史<下>(岩波文庫 38-126-2)

岡 義武 著

岩波書店

日本の政治史学の礎を築いた岡義武が、明治期の政治・経済・社会を包括的に描いた通史。下は、帝国議会開設から大正政変後までを扱い、明治国家が日清・日露戦争を経て、次第に民族的誇負を強めていく過程を記す。

読売新聞 2019/12/22

2019.3./ 454p,11p

978-4-00-381262-4

本体 ¥1,200+税



### バブル経済事件の深層(岩波新書 新赤版 1774)

奥山 俊宏、村山 治 著

岩波書店

バブルの絶頂に始まり、その崩壊、その後の後始末に費やされた平成の 30 年。戦後日本の経済統治体制を突き崩し、金融システムを揺るがせた時代の重要事件を、新証言や未公開資料を発掘し、新たな視点から再検証を試みる。

読売新聞 2019/12/22

2019.4./ 2p,308p

978-4-00-431774-6

本体 ¥820+税



### 「空気」を読んでも従わない～生き苦しさからラクになる～(岩波ジュニア新書 893)

鴻上 尚史 著

岩波書店

どうしてこんなに人の頼みを断るのが苦しいのか。どうしてこんなに周りの目が気になるのか。どうしてこんなにラインやメールが気になるのか…。鴻上尚史が、「生き苦しさ」のヒミツと「生きやすく」なる方法を伝える。

読売新聞 2019/12/22

2019.4./ 12p,189p

978-4-00-500893-3

本体 ¥820+税





**花の妹 岸田俊子伝～女性民権運動の先駆者～(岩波現代文庫 文芸 310)**

西川 祐子 著

岩波書店

京都での娘時代、自由民権運動との出会い、政治家・中島信行との結婚…。岸田俊子の波瀾万丈の生涯を、さまざまな脇役の目を通して、時代の息吹とともに活写する評伝小説。詳細な注を付して文庫化。

2019.9./ 6p,439p

978-4-00-602310-2

本体 ¥1,460+税



読売新聞 2019/12/22



**君たちは今が世界(すべて)**

朝比奈 あすか 著

KADOKAWA

6年3組の調理実習中に起きた洗剤混入事件。犯人が名乗りでない中、担任が放った「皆さんは、たいした大人にはなれない」という残酷な言葉は、教室に小さな波紋を投げかけ…。『文芸カドカワ』掲載に書下ろしを加え単行本化。

2019.6./ 314p

978-4-04-108432-8

本体 ¥1,500+税



読売新聞 2019/12/22



**宇宙と宇宙をつなぐ数学～IUT 理論の衝撃～**

加藤 文元 著

KADOKAWA

数学の超難問「ABC 予想」を解決に導く「IUT 理論」を日本人数学者が公開した。論文を発表した望月新一教授と、議論と親交を重ねてきた数学者が、理論の斬新さと独創性、その核心をわかりやすく伝える。

2019.4./ 297p

978-4-04-400417-0

本体 ¥1,600+税



読売新聞 2019/12/22



**夢中さ、きみに。(BEAM COMIX)**

和山 やま 著

KADOKAWA

WEBなどで噂の作品たちが待望のコミックス化。話題の作品「うしろの二階堂」は全ページ加筆修正のうえ、30ページ以上の描き下ろし続編を収録。

2019.8./ 167p

978-4-04-735718-1

本体 ¥700+税



読売新聞 2019/12/22



**政治の衰退～フランス革命から民主主義の未来へ～<上>**

フランシス・フクヤマ、会田 弘継 著

講談社

「国家」と「法」と「民主主義」は、なぜ衰退するのか。あらゆる国家の政治制度、歴史を論じながら、国民国家の終焉とその後の世界を読み解く。上は、第1部「国家」、第2部「諸外国の制度」を収録。

2018.6./ 385p

978-4-06-217152-6

本体 ¥3,000+税



読売新聞 2019/12/22



**政治の衰退～フランス革命から民主主義の未来へ～<下>**

フランシス・フクヤマ、会田 弘継 著

講談社

「国家」と「法」と「民主主義」は、なぜ衰退するのか。あらゆる国家の政治制度、歴史を論じながら、国民国家の終焉とその後の世界を読み解く。下は、第2部「諸外国の制度」第19章?第4部「政治の衰退」を収録。

2018.12./ 379p

978-4-06-217153-3

本体 ¥3,000+税



読売新聞 2019/12/22



### マンガ サ道～マンガで読むサウナ道～<1>(モーニング KC)

タナカ カツキ 著

講談社

「快感」をどこまでも追い求めるオトナ達の、新時代サウナの入門書! 描きおろし番外編&昇天確実な全国サウナリスト 50 も収録。ハマれるものがあると、人生は、楽し～～～い!!

2016:1./ 160p

978-4-06-388555-2

本体 ¥610+税



読売新聞 2019/12/22



### マンガ サ道～マンガで読むサウナ道～<2>(モーニング KC)

タナカ カツキ 著

講談社

日本でただ一人の「サウナ大使」が伝授する、最強に“ととのう”世界へ、ようこそ。日々がんばるオトナたちのための、スーパー悦楽コミック!!

2019:7./ 160p

978-4-06-516291-0

本体 ¥610+税



読売新聞 2019/12/22



### 「カッコいい」とは何か(講談社現代新書 2529)

平野 啓一郎 著

講談社

「カッコいい」は人間にポジティブな活動を促す大きな力。「カッコいい」を考えることは、いかに生きるべきかを考えること-。一見単純でありながら、複雑な概念「カッコいい」について、多角的に論じる。

2019:7./ 477p

978-4-06-517048-9

本体 ¥1,000+税



読売新聞 2019/12/22



### マンガ サ道～マンガで読むサウナ道～<3>(モーニング KC)

タナカ カツキ 著

講談社

発売以降、テレビ・新聞や雑誌で取り上げられ続ける話題のサウナマンガ。進化し続ける各地のサウナ施設を実名でも紹介し、また、家の風呂でもサウナと同じように気持ち良くなれる方法なども、サウナ大使・タナカカツキが伝授します。

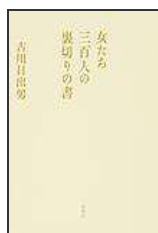
2019:11./ 160p

978-4-06-517776-1

本体 ¥630+税



読売新聞 2019/12/22



### 女たち三百人の裏切りの書

古川 日出男 著

新潮社

怨霊として甦った紫式部が「本もの」の宇治十帖を語りだす。海賊たち、武士たち、孤島の異族たちが集結して結晶する、瞠目の古川日出男版源氏物語。『新潮』掲載を書籍化。

2015:4./ 499p

978-4-10-306076-5

本体 ¥2,500+税



読売新聞 2019/12/22



### あたしたち、海へ

井上 荒野 著

新潮社

楽しいことはいつでも、三人一緒のはずだった。クラスであれが始まるまでは…。大人には見えない、少女たちの孤独な魂にそっと寄り添う物語。『小説新潮』掲載を改題し書籍化。

2019:11./ 222p

978-4-10-473105-3

本体 ¥1,600+税



読売新聞 2019/12/22



## 国境を越えたスクラム～ラグビー日本代表になった外国人選手たち～

山川 徹 著

中央公論新社

リーチマイケル、ホラニ龍コリニアシ、アンドリュー・マコーミック…。なぜ彼らは桜のジャージを選んだのか。ラグビー日本代表となった海外出身選手たちを訪ね、その思いと足跡を追う。

2019:8./ 284p

978-4-12-005222-4

本体 ¥1,800+税



読売新聞 2019/12/22



## 歴史探究のヨーロッパ～修道制を駆逐する啓蒙主義～(中公新書 2567)

佐藤 彰一 著

中央公論新社

宗教改革以降、教会史や聖人伝等の文書を批判的に検証する学問が進歩を遂げ、現代の歴史学の基礎が形成された。マビヨンからライプニッツまで、啓蒙思想の席卷、宗教と世俗の相剋の間で歴史と真理を探究した人々の足跡を追う。

2019:11./ 10p,266p

978-4-12-102567-8

本体 ¥900+税



読売新聞 2019/12/22



## 誰も知らないレオナルド・ダ・ヴィンチ(NHK 出版新書 598)

斎藤 泰弘 著

NHK出版

「世紀の偉人」が本当になりたかったもの-それは「水」の研究者であり、アルキメデスだった! レオナルドの「手稿」研究の第一人者が、図像と鏡文字を読み解き、天才画家の知られざる素顔を描き出す。カラー図版も収録。

2019:9./ 277p

978-4-14-088598-7

本体 ¥1,100+税



読売新聞 2019/12/22



## ストーカーとの七〇〇日戦争

内澤 旬子 著

文藝春秋

ネットで知り合った男性との交際から 8 カ月。ありふれた別れ話から、恋人はストーカーに豹変した。執拗なメール、ネットでの誹謗中傷…。恐怖の神経戦を描いたリアルドキュメント。『週刊文春』連載を単行本化。

2019:5./ 351p

978-4-16-391028-4

本体 ¥1,500+税



読売新聞 2019/12/22



## 真夜中の陽だまり～ルポ・夜間保育園～

三宅 玲子 著

文藝春秋

認可夜間保育園はなぜ増えないのか。深夜子どもを預けて飲食店や風俗などで働く親と、その親を支える保育に取り組んできた福岡の「どろんこ保育園」を長期にわたり密着取材。そのありようを紹介する。

2019:9./ 231p

978-4-16-391095-6

本体 ¥1,500+税



読売新聞 2019/12/22



## 生命式

村田 沙耶香 著

河出書房新社

人口が急激に減り、人類は滅びるのでは、という不安感が世界を支配する時代。死んだ人間を食べながら、男女が受精相手を探す「生命式」が行われ…。表題作をはじめ、著者自身がセレクトした“脳を揺さぶる”全 12 編を収録。

2019:10./ 269p

978-4-309-02830-9

本体 ¥1,650+税



読売新聞 2019/12/22





### ナチ 本の略奪

アンデシュ・リデル、北條 文緒、小林 祐子 著

国書刊行会

世界を思想的にも制覇しようとするナチの野望にとって、歴大な本を略奪し、それを用い「敵」を研究し尽くすことが不可欠だった。ナチによる本の略奪と四散、そして戦後の返還にまつわるさまざまな困難について語る。

2019:7./ 431p

978-4-336-06321-2

本体 ¥3,200+税



読売新聞 2019/12/22



### 某

川上 弘美 著

幻冬舎

名前も記憶もお金も持たない某は、丹羽ハルカ(16 歳)に擬態することに決めた。変遷し続ける<誰でもない者>はついに仲間に出会う。愛と未来をめぐる長編。『小説幻冬』連載に加筆・修正。

2019:9./ 368p

978-4-344-03504-1

本体 ¥1,600+税



読売新聞 2019/12/22



### <性>なる家族

信田 さよ子 著

春秋社

性虐待、DV、セックスレス、不妊治療…。ほとんど表面化することのない家族における性の問題について、カウンセリング経験をもとにさまざまな角度から述べる。『春秋』『ウェブ春秋はるとあき』掲載を再構成・加筆訂正。

2019:5./ 252p

978-4-393-36642-4

本体 ¥1,700+税



読売新聞 2019/12/22



### 不道徳的倫理学講義～人生にとって運とは何か～(ちくま新書 1409)

古田 徹也 著

筑摩書房

運が主に倫理学の歴史のなかでどう扱われ、どのように肯定や否定をされてきたのか、古代ギリシアから現代に至る人々の思索の軌跡を追う。そしてその先に、人間のあるがままの生をとらえる道筋を探る。

2019:5./ 360p,6p

978-4-480-07213-9

本体 ¥1,000+税



読売新聞 2019/12/22



### 一人盆踊り(ちくま文庫 と29-1)

友川 カズキ 著

筑摩書房

徒党を組まず、何者にもおもんねらず、孤絶と背中あわせの自由を生きる歌手・友川カズキ。詩人・画家・俳優・競輪愛好家の顔ももつ男が、狂気と諧謔に満ちた独特の表現で綴った随筆と詩篇を精選して採録する。

2019:6./ 351p

978-4-480-43584-2

本体 ¥820+税



読売新聞 2019/12/22



### 脱毛の歴史～ムダ毛をめぐる社会・性・文化～

レベッカ・M.ハージグ、飯原 裕美 著

東京堂出版

体毛は誰にとって、どういった点で問題になるのか。脱毛とそれを取り巻く背景について、資料を辿りながら、歴史・社会・政治・経済などの様々な絡み合いを紹介し、明らかにする。

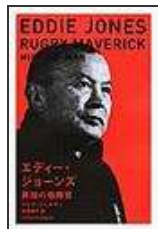
2019:7./ 343p

978-4-490-21014-9

本体 ¥3,200+税



読売新聞 2019/12/22



### エディー・ジョーンズ～異端の指揮官～

マイク・コールマン、高橋 紹子 著

東洋館出版社

2015 年のラグビーW 杯。日本代表を歴史的な勝利に導いた指揮官のその明晰な頭脳、ハードワーク、リーダーシップはどのようにして育まれたのか。ラグビー界でいま最も目が離せない男の半生を追う。

2019:9./ 517p

978-4-491-03937-4

本体 ¥2,000+税



読売新聞 2019/12/22



### ラディカル・マーケット～脱・私有財産の世紀～

エリック・A.ポズナー、E.グレン・ワイル、安田 洋祐、遠藤 真美 著

東洋経済新報社

富裕層による富の独占、膠着した民主主義、巨大企業によるデータ搾取…。若き天才経済学者が、21 世紀初頭の難題を解決する新しいビジョンを示し、資本主義と民主主義の未来を描く。

2019:12./ 476p

978-4-492-31522-4

本体 ¥3,200+税



読売新聞 2019/12/22



### 西洋の自死～移民・アイデンティティ・イスラム～

ダグラス・マレー、町田 敦夫 著

東洋経済新報社

シリア難民・移民問題をめぐり当事者、賛成派、反対派などを徹底取材した英国の新進気鋭ジャーナリストが、欧州と西洋文明の終焉を予測。移民の受け入れによって、欧州の社会や文化が壊死しつつある姿を克明に描く。

2018:12./ 512p,14p

978-4-492-44450-4

本体 ¥2,800+税



読売新聞 2019/12/22



### 中国人は見ています。(日経プレミアシリーズ 417)

中島 恵 著

日本経済新聞出版社

日本を訪れた中国人は、この国の何に戸惑い、何に感動するのか。食文化、仕事、人づき合い、社会、日本人の中国観など、身近なテーマについて、日中双方の認識にどんなギャップがあるのかを、多くのエピソードから探る。

2019:12./ 237p

978-4-532-26417-8

本体 ¥850+税



読売新聞 2019/12/22



### 西欧の東(エクス・リブリス)

ミロスラフ・ベンコフ 著

白水社

1969 年、脳梗塞で倒れた妻とともに介護施設に入居する 71 歳の主人公。彼が偶然発見したのは…。「マケドニア」をはじめ、過去と現在を行き来しながら紡がれる 8 つの物語。ブルガリア出身の新鋭によるデビュー短篇集。

2018:10./ 306p

978-4-560-09271-2

本体 ¥2,800+税



読売新聞 2019/12/22



### ライオンのおやつ

小川 糸 著

ポプラ社

若くして余命を告げられた雫は、残りの日々を瀬戸内の島のホスピスで過ごすことを決めた。穏やかな景色の中、本当にしたかったことを考える雫。ホスピスでは毎週日曜日、入居者がリクエストできる「おやつの時間」があつて…。

2019:10./ 255p

978-4-591-16002-2

本体 ¥1,500+税



読売新聞 2019/12/22



### 庭とエスキース

奥山 淳志 著

みすず書房

北海道の丸太小屋で自給自足の生活を営み、糧を生みだす庭とともに暮らす「弁造さん」。その姿を 14 年に渡り記録した写真家による写文集。弁造さんの“生きること”を思い紡いだ 24 篇の記憶の物語と、40 点の写真を収録。

2019:4./ 284p 図版 40p

978-4-622-08795-3

本体 ¥3,200+税



読売新聞 2019/12/22



### スヌーピーの父チャールズ・シュルツ伝

デイヴィッド・マイケリス、古屋 美登里 著

亜紀書房

チャーリー・ブラウン、スヌーピーたちが登場する漫画「ピーナッツ」を生み出したチャールズ・シュルツ。世界中で愛される漫画を描き続け、桁違いの成功を収める一方で、常に劣等感に苛まれていた天才漫画家の生涯を描く。

2019:9./ 686p 図版 32p

978-4-7505-1616-5

本体 ¥6,000+税



読売新聞 2019/12/22



### 「舞姫」の主人公をバンカラとアフリカ人がボコボコにする最高の小説の世界が明治に存在したので 20 万字くらいかけて紹介する本

山下 泰平 著

柏書房

漱石・?外を人気で圧倒しながら、今では知名度ゼロの<明治娯楽物語>。その全容をひもときながら、現代の創作物に与えた影響、明治人が一度は捨てた虚構を楽しむ技術を取り戻すまでの流れを紹介する。

2019:5./ 380p

978-4-7601-5007-6

本体 ¥1,800+税



読売新聞 2019/12/22



### なかみグラフィックス～断面図・分解図・透過図のめくるめく世界～

フアン・ベラスコ、サムエル・ベラスコ、ゲシュタルテン 編

フアン・ベラスコ、サムエル・ベラスコ、和田 侑子 著

グラフィック社

なかみを知りたい。科学と芸術の分野をまたいで、人類の知的好奇心を刺激し続ける、断面図、分解図、透過図。その名作と作者を世界中から選りすぐって紹介する、内部図解インフォグラフィック大全。観音開きのページあり。

2019:7./ 232p

978-4-7661-3284-7

本体 ¥3,500+税



読売新聞 2019/12/22



### ワックスプリント～世界を旅したアフリカ布の歴史と特色～

アンヌ・グロフィレー、ダコスタ吉村花子 著

グラフィック社

色鮮やかな布・ワックスプリント。ヨーロッパで生まれ、アフリカ・アジアを旅した布がアフリカ社会に浸透していく過程を追い、24 のテーマごとに、ワックスプリントやその他の布に特徴的にみられる柄やトピックを紹介する。

2019:10./ 251p

978-4-7661-3320-2

本体 ¥3,900+税



読売新聞 2019/12/22



### 井筒俊彦英文著作翻訳コレクション<7> スーフィズムと老荘思想(上)

井筒 俊彦 著

慶應義塾大学出版会

1950年代から80年代にかけて井筒俊彦が海外読者に向けて著した英文代表著作を本邦初訳。7-1は、東洋における二大叡智の真髓を解き明かす「スーフィズムと老荘思想」のうち、イブン・アラビーの存在論を収録。

2019:6./ 401p,7p

978-4-7664-2460-7

本体 ¥5,400+税



読売新聞 2019/12/22



### 井筒俊彦英文著作翻訳コレクション<7> スーフィズムと老荘思想(下)

井筒 俊彦 著

慶應義塾大学出版会

1950年代から80年代にかけて井筒俊彦が海外読者に向けて著した英文代表著作を本邦初訳。7-2は、東洋における二大叡智の真髓を解き明かす「スーフィズムと老荘思想」のうち、老子と荘子の存在論、解説などを収録。

2019:5./ 356p,5p

978-4-7664-2461-4

本体 ¥5,400+税



読売新聞 2019/12/22



### パンティオロジー

秋山 あい 著

集英社インターナショナル

すべてのパンティには哲学が宿る! ささまざまな国籍・年齢・職業の女性たちの「セクシー」「リラックス」「お気に入り」のパンティをイラストにし、持ち主の赤裸々な本音を聞き出して分析した学問的アートブック。

2019:11./ 159p

978-4-7976-7380-7

本体 ¥2,200+税



読売新聞 2019/12/22



### 樹木希林 120 の遺言～死ぬときぐらい好きにさせてよ～

樹木 希林 著

宝島社

とにかく、世の中を面白がること。老いだって病気だって、自分の栄養になる。生・老・病・死など普遍的なテーマを中心に、樹木希林が残した120の言葉を厳選して収録する。巻頭には写真も掲載。

2019:2./ 279p

978-4-8002-9192-9

本体 ¥1,200+税



読売新聞 2019/12/22



### 平尾誠二名言録～人を動かす 120 の言葉～

平尾 誠二 著

宝島社

“ミスターラグビー”平尾誠二が遺した言葉から、「人を動かす」をキーワードに構成。自己を変革し、他者に影響を与え、そして組織をも動かす120の言葉を通して、平尾誠二の生きざま、リーダーとしての考え方を伝える。

2019:8./ 263p

978-4-8002-9765-5

本体 ¥1,300+税



読売新聞 2019/12/22



### トイレ掃除の奇跡～広島から暴走族が消え、荒れた学校が消えた～

鍵山 秀三郎、竹内 光弘、縄田 良作 著

致知出版社

暴走族は消え、荒れた学校が消えた広島。街、人、学校は、いかにして生まれ変わったのか。広島市内の学校をはじめとする公共施設の清掃とトイレ掃除から教育現場にトイレ掃除が広まり、学校の荒れが収まっていく様子を綴る。

2019:10./ 218p

978-4-8009-1218-3

本体 ¥1,200+税



読売新聞 2019/12/22





## ハンナ・ヘーヒ〜透視のイメージ遊戯〜

香川 檀 著

水声社

前衛芸術集団ベルリン・ダダの唯一の女性メンバー、ハンナ・ヘーヒ。「反芸術」を掲げた前衛運動に参加しながらも常に実験的な作品をつくりだした彼女の生涯と、そのうちにあるイメージ思考を解きほぐす、初のモノグラフ。

2019:9./ 309p 図版 32p

978-4-8010-0442-9

本体 ¥4,000+税



読売新聞 2019/12/22



## せかいのトイレ〜たのしくて、う〜んとタメになる!〜

ERIKO 著

日本能率協会マネジメントセンター

トイレを知れば、世界がわかる! ロシアのとびらが無いトイレ、フィンランドの背の高い便器、タダじゃないドイツの高速道路のトイレなど、さまざまな国のトイレを紹介します。クイズ等も掲載。

2019:11./ 119p

978-4-8207-2752-1

本体 ¥1,000+税



読売新聞 2019/12/22



## 初の国産軍艦「清輝」のヨーロッパ航海

大井 昌靖 著

芙蓉書房出版

明治9年に横須賀造船所で竣工した初めての国産軍艦「清輝」。明治維新から10年で軍艦を国産し、欧州へと航海させた海軍、その任務を見事に完遂した軍艦「清輝」の航跡を、若手海軍士官たちにも焦点を当てながら追う。

2019:1./ 196p

978-4-8295-0753-7

本体 ¥1,800+税



読売新聞 2019/12/22



## 僕という容れ物

檀 廬影 著

リットーミュージック

何時からだろう。僕は自分が誰かわからなくなった。どこまでが幻覚か現実か、荒涼とした精神の砂漠を徘徊する日々を描く。インディーズでカルト的人気を誇るミュージシャンの小説デビュー作品。

2019:4./ 207p

978-4-8456-3348-7

本体 ¥1,600+税



読売新聞 2019/12/22



## 戦下の淡き光

マイケル・オndaatje、田栗 美奈子 著

作品社

1945年、両親は犯罪者かもしれない男達に僕らをゆだねて姿を消した。母の秘密を追い、政府機関の任務に就くナサニエル。母たちはどこで何をしていたのか。人生を賭して、彼は探す…。スリリングで美しい長編小説。

2019:9./ 294p

978-4-86182-770-9

本体 ¥2,600+税



読売新聞 2019/12/22



## 隠された悲鳴

ユニティ・ダウ、三辺 律子 著

英治出版

ある村で行方不明になった12歳の少女。村には「儀礼殺人」ではと噂が流れる。だが、警察は野生動物に襲われたのだと結論づけ…。ボツワナの現職女性大臣が実際の儀礼殺人事件をもとに描いたアフリカ発サスペンス。

2019:8./ 331p

978-4-86276-289-4

本体 ¥2,000+税



読売新聞 2019/12/22



### 全著作<森繁久彌コレクション>～自伝～<第1巻> 道

森繁 久彌 著  
藤原書店

名優・森繁久彌の、最後の文人としての全貌を明かす著作全集。1 は、人生 50 年の“一応の区切り”として書いた「私の履歴書-さすらいの唄」や、「森繁自伝」などを収録する。鹿島茂の解説付き。

2019:10./ 635p

978-4-86578-244-8

本体 ¥2,800+税



読売新聞 2019/12/22



### 天皇はいかに受け継がれたか～天皇の身体と皇位継承～

歴史学研究会 編  
加藤 陽子 著  
新文堂出版

歴史上、天皇の存在はいかに位置づけられ、継承の法式はどう変化し、天皇自身は政治や社会の変化にいかに対応しようとしたのかについて、通史的・世界的観点から迫る。2018 年 4 月開催の東京大学でのシンポジウムの成果。

2019:2./ 18p,312p,13p

978-4-88116-134-0

本体 ¥2,800+税



読売新聞 2019/12/22



### たぶの里

藤岡 拓太郎 著  
ナナロク社

おすもうさんがどこかから現れて、大きなおなかを、男の子や女の子の頭の上に、たぶ、と乗せて…。Twitter と Instagram でギャグ漫画を発表している著者が初めて手掛けた、不思議なリズムの笑える絵本。

2019:7./ 42p

978-4-904292-89-1

本体 ¥1,200+税



読売新聞 2019/12/22



### ガール・コード～プログラミングで世界を変えた女子高生二人のほんとうのお話～(ele-king books)

ソフィー・ハウザー、アンドレア・ゴンザレス 著  
Pヴァイン

生理タブー風刺ゲームを作ったことから、すべては始まった-。ニューヨーク公共図書館ベストブック 2017、米国児童図書評議会の高校生以下向けベスト STEM 図書に選出された、女の子たちの痛快サクセスストーリー。

2019:10./ 255p,20p

978-4-909483-40-9

本体 ¥2,270+税



読売新聞 2019/12/22



### もの思うころ～生きづらさと共感四つの物語～

村井 雅美 著  
木立の文庫

生後 3 カ月で先天性股関節脱臼を患った女子学生、母親が精神病を患っていた女性…。同時刊行の心理臨床の専門書「からだの病いとこころの痛み」からそのエッセンスを抽出。4 つの物語を人間のドキュメンタリーとして描く。

2019:10./ 8p,132p

978-4-909862-07-5

本体 ¥2,200+税



読売新聞 2019/12/22



### 分解者たち〜見沼田んぼのほとりを生きる〜

猪瀬 浩平、森田 友希 著

生活書院

「とるに足らない」とされたものたちの思想に向けて-。障害、健常、おとな、子ども、蠢く生き物たち…。首都圏の底<見沼田んぼ>の農的営みから、どこにでもありそうな街を分解し、見落とされたモノたちと出会い直す。

2019:4./ 412p

978-4-86500-094-8

本体 ¥2,300+税



読売新聞 2019/12/22、朝日新聞 2019/12/28



### 金太郎飴〜磯崎憲一郎エッセイ・対談・評論 2007-2019〜

磯崎 憲一郎 著

河出書房新社

デビューから12年。『朝日新聞』の「文芸時評」をはじめ、エッセイや書評、評論に留まらず、インタビュー記事、文庫の解説まで、さまざまな原稿を掲載年ごとに掲載。保坂和志、佐々木敦、羽生善治らとの対談も収録。

2019:12./ 511p

978-4-309-02851-4

本体 ¥3,300+税



読売新聞 2019/12/24



### 世紀末ウィーン文化評論集(岩波文庫 33-583-1)

ヘルマン・パール、西村 雅樹 著

岩波書店

クリムトやマラー、ホフマンスタール、シュニッツラーなど、世紀末ウィーンの世界・芸術を多方面にわたって批評したヘルマン・パール。その代表的な評論を精選する。

2019:11./ 451p,8p

978-4-00-335831-3

本体 ¥1,200+税



日本経済新聞 2019/12/07



### 荒城に白百合ありて

須賀 しのぶ 著

KADOKAWA

昌平坂学問所で学ぶ薩摩藩士の岡元伊織は、安政の大地震の日ひとりさまよい歩く美しい少女を見つける。それが、伊織の運命を揺るがす青垣鏡子という女との出会いであった…。『文芸カドカワ』他連載に加筆修正し単行本化。

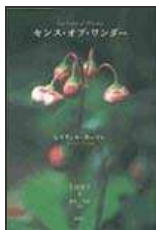
2019:11./ 361p

978-4-04-108433-5

本体 ¥1,700+税



日本経済新聞 2019/12/07



### センス・オブ・ワンダー

レイチェル・ルイス・カーソン、上遠恵子 著

新潮社

子どもたちへの一番大切な贈りもの!美しいもの、未知なもの、神秘的なものに目を見はる感性を育むために、子どもと一緒に自然を探検し、発見の喜びを味わう

1996:7./ 60p

978-4-10-519702-5

本体 ¥1,400+税



日本経済新聞 2019/12/07



### 日本列島回復論〜この国で生き続けるために〜(新潮選書)

井上 岳一 著

新潮社

「寅さん」とともに東京から失われたものとは。「先祖還り」する若者達が探しているものとは。自然、歴史、コミュニティ、テクノロジーを総動員して、まったく新しいSDGs、イノベーションの思想を構築する。

2019:10./ 303p

978-4-10-603847-1

本体 ¥1,400+税



日本経済新聞 2019/12/07



### 分断の時代～混迷する世界の読み解き方～

岡部 直明 著

日経BP社

「米中新冷戦」が招く経済危機とは。英 EU 離脱の行方は。トランプ大統領の 7 つの大罪とは。政治と経済、両方の視点から、「分断の時代」における世界情勢を読み取る。『日経ビジネスオンライン』連載を加筆し書籍化。

日本経済新聞 2019/12/07

2019:10./ 351p

978-4-296-10364-5

本体 ¥1,600+税



### 田村はまだか(光文社文庫)

朝倉 かすみ 著

光文社

日本経済新聞 2019/12/07

2010:11./ 303p

978-4-334-74869-2

本体 ¥571+税



### 新医療経済学～医療の費用と効果を考える～

井伊 雅子、五十嵐 中、中村 良太 著

日本評論社

今後の日本財政を圧迫する最大の要因は、高齢者向けの医療と介護の経費。医療の費用対効果、エビデンスに基づく政策形成(EBPM)など、限られた資源を効率的に利用し、国民健康の増進に寄与する最新の知見を提示する。

日本経済新聞 2019/12/07

2019:10./ 6p,222p,26p

978-4-535-55923-3

本体 ¥2,300+税



### 文学に描かれた「橋」～詩歌・小説・絵画を読む～(平凡社新書 922)

磯辺 勝 著

平凡社

誰もが抱く橋への想い。これまでに著者が読んできた詩歌、小説などを通じて橋の記憶を掘り起こしつつ、橋の描かれた絵画の話題なども交えながら、人々にとって橋とはどのようなものだったのかを描く。

日本経済新聞 2019/12/07

2019:9./ 237p

978-4-582-85922-5

本体 ¥880+税



### 日本人にとってエルサレムとは何か～聖地巡礼の近現代史～(叢書・知を究める 16)

臼杵 陽 著

ミネルヴァ書房

日本人にとって聖地エルサレムとは何か。もっと広く、パレスチナとは何か。明治末?昭和期の日本人の聖地体験を、著者のエルサレムでの生活と比較しつつ考察する。日本人ムスリムのエルサレム論も取り上げる。

日本経済新聞 2019/12/07

2019:10./ 8p,392p,12p

978-4-623-08558-3

本体 ¥3,200+税



### コラプション～なぜ汚職は起こるのか～

レイ・フィスマン、ミリアム・A. ゴールドン、山形 浩生、守岡 桜 著

慶應義塾大学出版会

政治学者と経済学者が協力して「コラプション(腐敗・汚職)」をわかりやすく解説し、「汚職の構造」を明らかにする。世界のさまざまな腐敗・汚職の実証データ、分析ツールも提供する。

日本経済新聞 2019/12/07

2019:10./ 9p,366p

978-4-7664-2626-7

本体 ¥2,700+税







**スマートフォンは誰を豊かにしたのか〜シュンペーター『経済発展の理論』を読み直す〜(いま読む!名著)**

小林 大州介 著

現代書館

「スマホ経済」の終着点は、豊かさ? 格差? 20 世紀の経済学者・シュンペーターの名著「経済発展の理論」を通じて、スマートフォンが変えた「富」の構造を読み解く。テキストデータ請求券付き。

日本経済新聞 2019/12/07

2019:10./ 237p

978-4-7684-1017-2

本体 ¥2,200+税



**ポルトガル短篇小説傑作選〜よみがえるルーススの声〜(現代ポルトガル文学選集)**

黒澤 直俊 編

現代企画室

ジョゼ・ルイス・ペイショット、ドウルセ・マリア・カルドーゾ、リカルド・アドルフォ、ジョルジュ・デ・セナなど重鎮から新鋭まで、ポルトガル現代文学の魅力を存分に示す 12 人の作家たちによる珠玉の掌篇集。

日本経済新聞 2019/12/07

2019:11./ 200p

978-4-7738-1905-2

本体 ¥2,200+税



**トウガラシ大全〜どこから来て、どう広まり、どこへ行くのか〜**

スチュアート・ウォルトン、秋山 勝 著

草思社

灼熱の赤道直下から寒冷の高地まで、トウガラシの食文化は世界中に広まっている。なぜ人はトウガラシに惹かれるのか? その種類、特徴、歴史、料理法、文化のすべてを紹介する。

日本経済新聞 2019/12/07

2019:9./ 311p

978-4-7942-2414-9

本体 ¥2,000+税



**モンゴル最後の王女〜文化大革命を生き抜いたチンギス・ハーンの末裔〜(草思社文庫 よ 2-1)**

楊 海英、新聞 聡 著

草思社

英雄の血を受け継ぐ美しい王女に、運命はあまりにも苛酷だった。中国で現在もなお続く苛烈な民族問題の知られざる実態を、激動を生き抜いたモンゴル最後の王女スチンカンルの半生を通じて描きあげる。

日本経済新聞 2019/12/07

2019:12./ 326p

978-4-7942-2428-6

本体 ¥1,000+税



**地図帳の深読み**

今尾 恵介 著

帝国書院

学校地図帳を発刊し続けている帝国書院と、地図研究家の今尾恵介による地図雑学本。海面下の土地、中央分水界、飛び地、地名や国名、経緯度・主題図・統計など、「地図帳」の楽しい「読み方」を紹介する。

日本経済新聞 2019/12/07

2019:8./ 173p

978-4-8071-6469-1

本体 ¥1,800+税





### 切字と切れ

高山 れおな 著  
邑書林

平安期の前史から現在に至る切字と切字説を通覧。「切れ」が俳句の本質でも伝統でもなく、1960?70 年代に切字説から派生した一種の虚妄であることを明らかにする画期的論考。

日本経済新聞 2019/12/07

2019:8./ 333p

978-4-89709-887-6

本体 ¥1,819+税



### 霧中の読書

荒川 洋治 著  
みすず書房

書物について書くことは、霧の中にいるようなものだ-。「風景の時間」「川上未映子の詩」「西鶴の奇談」など、荒川洋治が 2016?2019 年に発表したエッセイから 45 編を選び、書き下ろし 1 編を加えて単行本化。

日本経済新聞 2019/12/07、朝日新聞 2019/12/14

2019:10./ 227p

978-4-622-08845-5

本体 ¥2,700+税



### ソビエト・ミルク～ラトヴィア母娘の記憶～

ノラ・イクステナ、黒沢 歩 著  
新評論

バルト海の東に位置し、何世紀もの間、近隣に支配されてきたラトヴィア。ソ連体制下に生きて自由を求めた母娘の行く末は…。バルトの道、ベルリンの壁崩壊を経て、独立へ向かう道程を辿る、知られざるラトヴィアの母娘の物語。

日本経済新聞 2019/12/07、毎日新聞 2019/12/08

2019:9./ 8p,266p

978-4-7948-1133-2

本体 ¥2,000+税



### 見えない戦争(インビジブルウォー)(中公新書ラクレ 671)

田中 均 著  
中央公論新社

一国・大国主義、過激な主張外交がポピュリズムに乗じて勢いを増す中、世界で起きている「見えない戦争」。日本はなすすべがないのか？ 日本外交きつての戦略家が「見えない戦争」を生き抜くための正確な眼とメソッドを伝授。

日本経済新聞 2019/12/07、毎日新聞 2019/12/22

2019:11./ 205p

978-4-12-150671-9

本体 ¥820+税



### 人は語り続けるとき、考えていない～対話と思考の哲学～

河野 哲也 著  
岩波書店

思考と対話はどんな関係にあるのか。「考える」と「思う」の違いは何か。対話する身体はどのように考えているのか。対話における安全性(セイフティ)の条件とは何か。「子どもの哲学」「哲学カフェ」の実践をふまえ探究する。

日本経済新聞 2019/12/14

2019:10./ 9p,238p

978-4-00-024539-5

本体 ¥2,300+税



### グッドバイ

朝井 まかて 著  
朝日新聞出版

長崎の油商・大浦屋の女あるじ、お希以(のちの大浦慶)は無鉄砲にも異国との茶葉交易に乗り出した。やがて明治という時代に漕ぎ出したお慶だが、思わぬ逆波が襲いかかる。『朝日新聞』連載に加筆修正し単行本化。

日本経済新聞 2019/12/14

2019:11./ 359p

978-4-02-251647-3

本体 ¥1,600+税





### ノルウェイの森<上>(講談社文庫)

村上 春樹 著

講談社

僕は 1969 年、もうすぐ 20 歳になろうとする秋のできごとを思い出し、激しく混乱し、動揺していた。限らない喪失と再生を描き新境地を拓いた長編小説。

日本経済新聞 2019/12/14

2004:9./ 302p

978-4-06-274868-1

本体 ¥620+税



### ノルウェイの森<下>(講談社文庫)

村上 春樹 著

講談社

あたらしい僕の大学生活はこうしてはじまった。自殺した親友キズキ、その恋人の直子、同じ学部の緑。等身大の人物を登場させ、心の震えや感動、そして哀しみを淡々とせつないまでに描いた作品。

日本経済新聞 2019/12/14

2004:9./ 293p

978-4-06-274869-8

本体 ¥620+税



### 堕ちた英雄～「独裁者」ムガベの 37 年～(集英社新書 0993)

石原 孝 著

集英社

超長期政権、容赦ない粛清、ハイパーインフレ…。人種差別闘争の英雄はなぜ、独裁者となったのか。盤石の体制はなぜ、唐突な終焉を迎えたのか。徹底取材で元ジンバブエ大統領ムガベの実相に迫り、その世界史的意味を探る。

日本経済新聞 2019/12/14

2019:10./ 254p

978-4-08-721093-4

本体 ¥860+税



### ?外先生～荷風随筆集～(中公文庫 な 73-3)

永井 荷風 著

中央公論新社

森?外を生涯師と仰いだ荷風。「森先生の伊沢蘭軒を読む」「?外記念館のこと」などの随筆や、大正 11 年?昭和 33 年の?外忌の日録のほか、向島・浅草をめぐる文章等も収録。巻末に谷崎潤一郎・正宗白鳥の批評を付す。

日本経済新聞 2019/12/14

2019:11./ 315p

978-4-12-206800-1

本体 ¥1,000+税



### 鯖

赤松 利市 著

徳間書店

紀州雑賀崎を発祥の地とする一本釣り漁師船団。彼らが終の棲家と定めたのは日本海に浮かぶ孤島だった。日銭を稼ぎ、場末の居酒屋で管を巻く、そんな彼らの生を照らす一筋の光明。しかしそれは破滅への序曲にすぎなかった。

日本経済新聞 2019/12/14

2018:7./ 402p

978-4-19-864654-7

本体 ¥1,700+税



### 天皇と軍隊の近代史(けいそうブックス)

加藤 陽子 著

勁草書房

1930 年代の日本の軍事と外交を専門とする著者が、天皇制下の軍隊の在り方の特徴とその変容を捉え、軍が政策決定の本質的変容にどのような影響をもたらしたのかを、明快な論理と筆致で描き出す。

日本経済新聞 2019/12/14

2019:10./ 12p,365p,9p

978-4-326-24850-6

本体 ¥2,200+税





### アリバイ崩し承ります(実業之日本社文庫 お 8-1)

大山 誠一郎 著

実業之日本社

時計にまつわる依頼は何でも受けるという美谷時計店。難事件を抱える捜査一課の新米刑事は、アリバイ崩しを依頼する。店主の美谷時乃は、謎を解き明かせるのか? テレビ朝日系ドラマの原作。

2019:11./ 306p

978-4-408-55548-5

本体 ¥680+税



日本経済新聞 2019/12/14



### 人新世の哲学～思弁的実在論以後の「人間の条件」～

篠原 雅武 著

人文書院

環境、物質、人間ならざるものたちとの共存とは何か。「人新世」という概念や現代の思想潮流を全面的に引き受け、思想の更新を図るとともに、新時代における「人間の条件」をアーレントを手掛かりに探る。

2018:1./ 253p

978-4-409-03096-7

本体 ¥2,300+税



日本経済新聞 2019/12/14



### インディアンとカジノ～アメリカの光と影～(ちくま新書 1449)

野口 久美子 著

筑摩書房

ラスベガスより巨大なカジノ産業はいかにして生まれたのか。なぜインディアンがカジノを経営するようになったのか。アメリカとの関係からインディアンの歴史を跡づけ、「インディアン・カジノ」の光と影を明らかにする。

2019:11./ 301p

978-4-480-07268-9

本体 ¥920+税



日本経済新聞 2019/12/14



### 監査役事件簿

眞田 宗興 著

同文館出版

監査役は最低限どのような監査をすれば、義務を果たし、任務懈怠責任の追及を免れることができるのか。過去に起きた 50 の企業不祥事の事例から、監査役の役割やとるべき行動を考える。

2019:11./ 10p,289p

978-4-495-20961-2

本体 ¥3,200+税



日本経済新聞 2019/12/14



### TALENT WINS～人材ファーストの企業戦略～

ラム・チャラン、ドミニク・バートン、デニス・ケアリー、中島 正樹、齋藤 佐保里、堀井 摩耶、栗木 さつき 著

日本経済新聞出版社

著名な企業経営のアドバイザー3 人による、21 世紀企業のための人材戦略ブック。様々な業界の事例と経営者への取材を基に、企業経営のパラダイムシフトを鋭く洞察。人材ファースト企業へと変革するステップを具体的に描く。

2019:10./ 251p

978-4-532-32279-3

本体 ¥2,200+税



日本経済新聞 2019/12/14



### 宇宙の地政学～科学者・軍事・武器ビジネス～<上>

ニール・ドグラス・タイソン、エイヴィス・ラング、北川 蒼、國方 賢 著

原書房

米中を核に武装化・軍構想が進む宇宙。古代から現代にいたる宇宙と国家と科学者の関係や、最新技術と国際関係をひもとく、科学、そして戦争とは何かを論じる。上は、天体物理学者と戦争、人工衛星、五感を超越する挑戦等を収録。

2019:10./ 352p

978-4-562-05700-9

本体 ¥2,400+税



日本経済新聞 2019/12/14





### 宇宙の地政学～科学者・軍事・武器ビジネス～<下>

ニール・ドグラス・タイソン、エイヴィス・ラング、北川 蒼、國方 賢 著

原書房

米中を核に武装化・軍構想が進む宇宙。古代から現代にいたる宇宙と国家と科学者の関係や、最新技術と国際関係をひもとき、科学、そして戦争とは何かを論じる。下は、宇宙兵器と安全保障、21世紀の覇権争い等を収録。

2019:10./ 331p

978-4-562-05701-6

本体 ¥2,400+税



日本経済新聞 2019/12/14



### 野食ハンターの七転八倒日記

茸本 朗 著

平凡社

野外で採取してきた食材を普通の食卓に活用する「野食」をライフワークとする著者が、失敗体験エピソードを紹介しつつ、野食材や食べ方などを紹介する。ウェブメディア『cakes』掲載に書き下ろしを加えて書籍化。

2019:11./ 247p

978-4-582-63224-8

本体 ¥1,400+税



日本経済新聞 2019/12/14



### われわれはなぜ?つきで自信過剰でお人好しなのか～進化心理学で読み解く、人類の驚くべき戦略～

ウィリアム・フォン・ヒッペル、濱野 大道 著

ハーパーコリンズ・ジャパン

炎上、フェイクニュース、格差社会…。ヒトの残念な習性は太古から備わる生存戦略が理由だった!? 数百万年前から続く人類の「心の進化」をひもとき、現代人の幸せのヒントを提示する。

2019:10./ 365p

978-4-596-55148-1

本体 ¥1,860+税



日本経済新聞 2019/12/14



### 地域から国民国家を問い直す～スコットランド、カタール・ニヤ、ウイグル、琉球・沖縄などを事例として～

奥野 良知 著

明石書店

複数の民族が共存する国家は可能か、だとすればどのような形が望ましいのか。スコットランド、カタール・ニヤ、琉球・沖縄などを事例として、国民国家の問題を考察する。2017年度愛知県立大学公開講座をもとに書籍化。

2019:10./ 278p

978-4-7503-4908-4

本体 ¥2,600+税



日本経済新聞 2019/12/14



### 侵略者は誰か?～外来種・国境・排外主義～

ケビン・カミングス 編

井上 太一 著

以文社

外来種を侵略者と読み替える「国境」の論理が生み出す、人間と動物への「排外主義」とは何か。「人新世」や「多元的存在論」など、人間と自然の関係を再検討する諸概念・研究を手がかりに、既存の外来種論の見直しを図る。

2019:1./ 308p

978-4-7531-0351-5

本体 ¥3,400+税



日本経済新聞 2019/12/14



### テロリストの誕生～イスラム過激派テロの虚像と実像～

国末 憲人 著  
草思社

普通の EU 市民は、いかにして凶悪なテロリストに変貌したのか。シャルリー・エブド襲撃事件、パリ同時多発テロ…。丹念な現地取材をもとに、テロリストが誕生した過程と背景を探り、彼らの意識と思考回路を明らかにする。

2019:10./ 541p

978-4-7942-2420-0

本体 ¥2,900+税



日本経済新聞 2019/12/14



### 私は本屋が好きでした～あふれるヘイト本、つくって売らざるまでの舞台裏～

永江 朗 著  
太郎次郎社エディタス

仕事だからつくる。配本が多いから書店は平積みする。しくみに忠実な労働が「ヘイト本」を生んだ。見て見ぬふりでつくり上げられてきた“憎悪の棚”を直視し、書店と出版の仕事の実像を明らかにする。

2019:11./ 251p

978-4-8118-0839-0

本体 ¥1,600+税



日本経済新聞 2019/12/14



### ポストヒューマン～新しい人文学に向けて～

ロージ・ブライドッティ、門林 岳史、大貫 菜穂、篠木 涼、唄 邦弘、福田 安佐子、増田 展大、松谷 容作 著  
フィルムアート社

人文主義の根幹にある近代・西洋・白人・男性的な人間像に異議を唱え、人文学(ヒューマニティーズ)、すなわち、人間という観念を根幹にする学問が抱える問題点を指摘。ポストヒューマンな人文学のかたちを描き出す。

2019:2./ 313p,39p

978-4-8459-1725-9

本体 ¥3,000+税



日本経済新聞 2019/12/14



### <賄賂>のある暮らし～市場経済化後のカザフスタン～

岡 奈津子 著  
白水社

カザフスタンの人びとは、生活や仕事の問題を解決するために、カネとコネをどのように駆使しているのか。その多様なサバイバル戦略を具体的に描き出すと同時に、彼らの直面する厳しい現実、たくましい暮らしぶりも紹介する。

2019:10./ 245p,8p

978-4-560-09728-1

本体 ¥2,200+税



日本経済新聞 2019/12/14、毎日新聞 2019/12/15



### 現代政治のリーダーシップ～危機を生き抜いた 8 人の政治家～

吉田 徹 編  
岩波書店

メジャー、コール、ブレア、ミッテラン、エリツィン…。8 人の卓越した政治家の素質、時代状況、手腕、そして失敗の分析から、新たなリーダー像を描き出す。

2019:10./ 9p,250p

978-4-00-001087-0

本体 ¥4,500+税



日本経済新聞 2019/12/21



### 俳句を楽しむ(岩波ジュニア新書 907)

佐藤 郁良 著  
岩波書店

高校の国語科教諭から俳人となった著者が、俳句を鑑賞するイロハから、吟行や句会の進め方まで、季語や文法の説明を交えてていねいに解説。十七音の世界がもつ味わい、更にはつくる楽しさを伝える。

2019:11./ 10p,193p

978-4-00-500907-7

本体 ¥860+税



日本経済新聞 2019/12/21



### 黄金列車

佐藤 亜紀 著

KADOKAWA

大戦末期。ハンガリー大蔵省の役人バログは、敵軍迫る首都から国有財産の退避を命じられ、ユダヤ人の没収財産を積んだ「黄金列車」の運行に携わることに...。『文芸カドカワ』連載を加筆し単行本化。

日本経済新聞 2019/12/21

2019:10./ 333p

978-4-04-108631-5

本体 ¥1,800+税



### 論点別 昭和史～戦争への道～(講談社現代新書 2550)

井上 寿一 著

講談社

女性差別、SNS と言論、格差社会、官僚主導、対アジア外交...。今日の日本が直面している諸問題の歴史的な起源は戦前昭和にあった! 日本近現代史研究の第一人者が、10 の論点で昭和史の実像を読み解く。

日本経済新聞 2019/12/21

2019:11./ 252p

978-4-06-517862-1

本体 ¥900+税



### 明智光秀伝～本能寺の変に至る派閥力学～

藤田 達生 著

小学館

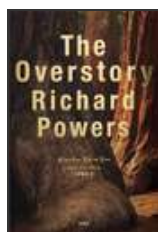
左遷寸前の明智光秀、領土を削減される長宗我部元親、政治生命の危機に瀕する足利義昭。危機意識が三者を結びつけ、未曾有のクーデターへと発展した-。「本能寺の変」研究の第一人者が、新出史料で歴史の真相を解き明かす。

日本経済新聞 2019/12/21

2019:11./ 319p

978-4-09-388732-8

本体 ¥1,300+税



### オーバーストーリー

リチャード・パワーズ、木原 善彦 著

新潮社

南北戦争前、アメリカ中西部である男が庭に植えた栗の木。絶滅の危機に瀕した巨木の「声」に召喚された名もなき人々。国家と巨大企業に、身のほど知らずの戦いを挑む彼らの運命は? 地球環境と人間たちの営みを描き出す。

日本経済新聞 2019/12/21

2019:10./ 674p

978-4-10-505876-0

本体 ¥4,300+税



### 赤星鉄馬 消えた富豪

与那原 恵 著

中央公論新社

武器商人の父の遺産で日本初の学術財団「啓明会」を設立し、芦ノ湖にアメリカからブラックバスを移入。日本ゴルフの草創期を牽引し、朝鮮半島では広大な牧場を経営...。何も書き残さず姿を消した富豪、赤星鉄馬の一生を追う。

日本経済新聞 2019/12/21

2019:11./ 413p

978-4-12-005244-6

本体 ¥2,500+税



### こんなに深い日本の古典～サイエンス・ライターが古文のプロに聞く～(ちくま文庫 く32-1)

黒澤 弘光、竹内 薫 著

筑摩書房

サイエンス・ライターの竹内薫が、母校の恩師・黒澤弘光に「源氏物語」「平家物語」「万葉集」といった古文の行間や一語一句の深みに迫る読み方を学ぶ。対談で取り上げた作品の原文と、黒澤による現代語訳も掲載。

日本経済新聞 2019/12/21

2019:10./ 382p

978-4-480-43618-4

本体 ¥950+税





### 危機と人類<上>

ジャレド・ダイヤモンド、小川 敏子、川上 純子 著

日本経済新聞出版社

ペリー来航の日本、ソ連に侵攻されたフィンランド…。国家的危機に直面した各国国民は、いかにして変革を選び取り、繁栄への道を進んだのか。世界 7 か国の事例から、次の劇的変化を乗り越えるための叢智を説き明かす。

日本経済新聞 2019/12/21

2019:10./ 274p 図版  
16p

978-4-532-17679-2

本体 ¥1,800+税



### 危機と人類<下>

ジャレド・ダイヤモンド、小川 敏子、川上 純子 著

日本経済新聞出版社

現代日本は、基本的価値観を再評価し、意味が薄れたものと残すべきものを峻別し、新しい価値観をさらに加えることで、現実に対応できるだろうか？ 博覧強記の博士が、世界を襲う危機と、解決への道筋を提案する。

日本経済新聞 2019/12/21

2019:10./ 331p 図版  
16p

978-4-532-17680-8

本体 ¥1,800+税



### 一生に一度旅してみたいゴルフコース〜世界の名門 22 コース〜

伊集院 静 著

日本経済新聞出版社

マウナケアゴルフコース、リビエラカントリークラブ…。伊集院静が、これまでプレーした思い出深い海外の名門 22 コースを巡る旅を綴る。『日本経済新聞』の「NIKKEI The STYLE」連載を改題し書籍化。

日本経済新聞 2019/12/21

2019:12./ 162p

978-4-532-17685-3

本体 ¥1,500+税



### 巨大ロボットの社会学〜戦後日本が生んだ想像力のゆくえ〜

池田 太臣、木村 至聖、小島 伸之 著

法律文化社

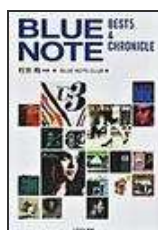
現実離れた「巨大な人型ロボット」を生み出してきた日本のアニメ。そのアニメの世界観とアニメから現実世界への延長(ゲーム・玩具・観光)を分析することで、戦後日本の社会を鮮やかに描き出す。

日本経済新聞 2019/12/21

2019:11./ 8p,208p

978-4-589-04041-1

本体 ¥2,700+税



### ブルーノート・ベスト 5&クロニクル

行方 均、BLUE NOTE CLUB 編

行方 均 著

ユニバーサルミュージック

史上最長・最強ジャズ・レーベル「ブルーノート」。国内盤ベストセラーアルバムなどのテーマ別ベスト 5 を紹介し、クロニクルを収録。『隔週刊ブルーノート・ベスト・ジャズコレクション』連載をもとに単行本化。

日本経済新聞 2019/12/21

2019:12./ 511p

978-4-908307-11-9

本体 ¥2,500+税



### 彼岸の図書館〜ぼくたちの「移住」のかたち〜

青木 真兵、青木 海青子 著

夕書房

命からがらたどり着いた移住先、奈良県東吉野村でぼくたちが始めたのは、自宅を図書館として開くことだった。12 の対話とエッセイで綴る、「人文系私設図書館ルチャ・リプロ」という「実験」のはじまりとこれから。

日本経済新聞 2019/12/21

2019:10./ 284p

978-4-909179-04-3

本体 ¥2,000+税





**くたばれインターネット(ele-king books)**

ジャレット・コベック 著

Pヴァイン

ビヨンセもザッカーバーグもスティーヴ・ジョブスもだいさいらい! 21 世紀にもっともやっつけない唯一の大罪を犯してしまったアラフォー女子 1 名、ツイッターで自衛し、ツイッターで攻撃を仕掛けるが...

2019.12./ 381p

978-4-909483-43-0

本体 ¥2,600+税



日本経済新聞 2019/12/21

**売り渡される食の安全(角川新書 K-276)**

山田 正彦 著

KADOKAWA

農薬基準 400 倍に緩和。遺伝子組み換えもゲノム編集も表示なしで OK...。なぜ日本だけが世界と逆走するのか? 日本の農業政策を見続けてきた元農水大臣が、種子法廃止の裏側にある政府、巨大企業の思惑を暴く。

2019.8./ 237p

978-4-04-082298-3

本体 ¥860+税



毎日新聞 2019/12/01

**能楽手帖(角川ソフィア文庫 F107-1)**

天野 文雄 著

KADOKAWA

現代に受け継がれる「能」のレパートリー約 250 曲のうち、今観ることのできる全 200 曲(復曲も含む)を収録。演目の作意、登場人物、曲柄、現在の上演状況、作者と上演史など、1 曲を見開き 2 ページで詳解する。

2019.9./ 447p

978-4-04-400060-8

本体 ¥1,300+税



毎日新聞 2019/12/01

**深重の海(集英社文庫 つ 6-15)**

津本 陽 著

集英社

明治 11 年、熊野灘の沖に現れた巨大鯨に数百人の男たちが立ち向かう。だが、これが大遭難「背美流れ」の発端となり、伝統的な捕鯨組織が崩壊しはじめる...。古式捕鯨に命を賭けた海人たちの愛と闘いを描いた長編。

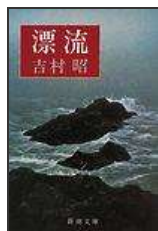
2012.11./ 469p

978-4-08-745006-4

本体 ¥800+税



毎日新聞 2019/12/01

**漂流 改版(新潮文庫)**

吉村 昭 著

新潮社

毎日新聞 2019/12/01

2008.12./ 516p

978-4-10-111708-9

本体 ¥750+税

**12 歳からはじめよう 学びのカタチ～優くん式「成績アップ」5 つの秘密～**

佐藤 優、西原 理恵子 著

NHK出版

時間管理術、インプット&アウトプットのヒケツ...。佐藤優が「5 つの学びのカタチ」を紹介し、具体的な勉強法や本好きになるコツなどを教える。西原理恵子のマンガも収録。本・WEB リスト付き。新学習指導要領に対応。

2019.10./ 213p

978-4-14-081800-8

本体 ¥1,400+税



毎日新聞 2019/12/01



**スターは楽し〜映画で会いたい 80 人〜(文春新書 1238)**

芝山 幹郎 著

文藝春秋

当代きっての眼利きが、古今東西の映画スター80 人を、怪人、妖人、麗人など、8 つのジャンルに分類。その演技や魅力を論じつつ、生い立ちやエピソード、代表作を3本ずつ紹介する。『文藝春秋』連載を加筆し新書化。

2019:10./ 345p,4p

978-4-16-661238-3

本体 ¥1,200+税



毎日新聞 2019/12/01



**海狼伝(文春文庫 し 5-29)**

白石 一郎 著

文藝春秋

戦国時代終盤、対馬。少年・笛太郎は航海中に村上水軍の海賊衆に捕えられ、以後は水軍と行動をともにするようになる。そしていつしか笛太郎は比類なき「海の狼」へ成長していった…。海洋冒険時代小説の最高傑作。

2015:12./ 558p

978-4-16-790514-9

本体 ¥940+税



毎日新聞 2019/12/01



**WOMEN 女性たちの世界史大図鑑**

ホーリー・ハールバート、戸矢 理衣奈、戸田 早紀、中島 由華、熊谷 玲美 著

河出書房新社

先史から現代まで、有名無名を問わず、女性たちが生きてきた歴史を広い視野で見渡すヴィジュアル図鑑。世界の偉大な女性たち約 600 人を紹介し、家庭・育児・政治・戦争・芸術などさまざまな視点から女性の歴史を詳述。

2019:11./ 320p

978-4-309-22780-1

本体 ¥4,500+税



毎日新聞 2019/12/01



**南方の志士と日本人〜インドネシア独立の夢と昭和のナショナリズム〜(筑摩選書 0179)**

林 英一 著

筑摩書房

「インドネシア人」初の日本留学生、ウスマンとガウス。ナショナリズムが台頭する中、大アジア主義を学び、インドネシア独立をひたむきに目指した彼らの波乱に満ちた人生を、フィールドワークと膨大な文献から描き出す。

2019:9./ 220p

978-4-480-01686-7

本体 ¥1,500+税



毎日新聞 2019/12/01



**日本の神話(ちくま学芸文庫 ツ 9-1)**

筑紫 申真 著

筑摩書房

日本の本当の神は、記紀神話の外にいる。天照大神の誕生を追求する研究を、在野で行った著者が、国家統治のために創り上げられた神話を元の地方神話に解体し、日本の神の原初の姿を取り出して見せた、画期的な研究の成果。

2019:11./ 297p

978-4-480-09957-0

本体 ¥1,200+税



毎日新聞 2019/12/01



**タオ(ちくま文庫)**

老子 著

筑摩書房

毎日新聞 2019/12/01

2006:10./ 284p

978-4-480-42267-5

本体 ¥640+税





### 路上の映像論～うた・近代・辺境～

西世 賢寿 著  
現代書館

金時鐘・吉増剛造の詩聲、奄美・沖縄の島唄、河内音頭、そして大菩薩峠…。NHK でキワどい日本の辺境と“語り物芸能”の長編ドキュメンタリーを取り続けたディレクターの集大成。「辺境に響くうた」CD 付き。

2019.10./ 358p

978-4-7684-5867-9

本体 ¥3,600+税



毎日新聞 2019/12/01



### かくしてモスクワの夜はつぐられ、ジャズはトルコにもたらされた～二つの帝国を渡り歩いた黒人興行師フレデリックの生涯～

ウラジーミル・アレクサンドロフ 著  
白水社

厳酷な黒人差別社会に見切りをつけたミシシッピ生まれのフレデリックは、帝政時代のモスクワでアメリカン・ドリームを?むのだが…。ロシア文学の碩学が、黒人興行師・フレデリックの凄まじくも痛快で爽快な魂の遍歴を描く。

2019.9./ 323p,43p

978-4-560-09722-9

本体 ¥4,200+税



毎日新聞 2019/12/01、朝日新聞 2019/12/07、毎日新聞 2019/12/15、朝日新聞 2019/12/28



### 読書実録

保坂 和志 著  
河出書房新社

詩人に教えられ、筆写をはじめた私。文が書かれる瞬間の流動性に身を委ねると、筆写は小説へと飛翔して…。権力の、そして自由の発生源にふれる、アナキズム小説。『すばる』掲載をまとめて単行本化。

2019.9./ 209p

978-4-309-02829-3

本体 ¥1,800+税



毎日新聞 2019/12/01、読売新聞 2019/12/15



### 情動はこうしてつくられる～脳の隠れた働きと構成主義的情動理論～

リサ・フェルドマン・バレット、高橋 洋 著  
紀伊國屋書店出版部

幸福、悲しみ、恐れ、怒り…。情動は「理性のコントロールが及ばず自動的に引き起こされる反応」ではない。情動についての従来の見方を覆す、著者独自の「構成主義的情動理論」を説明し、人間の本性の新たな見方を提起する。

2019.11./ 617p

978-4-314-01169-3

本体 ¥3,200+税



毎日新聞 2019/12/01、日本経済新聞 2019/12/07、毎日新聞 2019/12/15



### 桃源

黒川 博行 著  
集英社

沖縄の互助組織、模合で集めた金を持ち逃げした男・比嘉の行方を追う大阪府警泉尾署の刑事、新垣と上坂。2 人が辿り着いたのは、トレジャーハントへの出資詐欺で…。警察捜査小説。『小説すばる』連載を改題・加筆し単行本化。

2019.11./ 556p

978-4-08-771676-4

本体 ¥2,000+税



毎日新聞 2019/12/07



### 暗約領域(新宿鮫 11)

大沢 在昌 著  
光文社

北新宿のヤミ民泊で男の銃殺死体を発見した鮫島に、上司は新人刑事の矢崎と組むことを命じる。一方、男の死を知り、友人である国際的犯罪者・陸永昌が来日し…。8年ぶりのシリーズ最新作。『小説宝石』連載を加筆し書籍化。

2019.11./ 709p

978-4-334-91317-5

本体 ¥1,800+税



毎日新聞 2019/12/07



### 俳諧の詩学

川本 皓嗣 著  
岩波書店

素朴な「意味」への問いは、「世界最短の詩」である俳句・俳諧を広く一般詩学へと解放するきっかけとなる。季語や切字などの約束事を当たり前のこととせず、その根底から改めてこの「短詩型」を問い直す俳諧論。

2019.9./ 20p,297p,9p

978-4-00-024489-3

本体 ¥3,300+税



毎日新聞 2019/12/08



### とんがりモミの木の郷～他五篇～(岩波文庫 32-344-1)

セアラ・オーン・ジュエツト、河島 弘美 著  
岩波書店

アメリカの女性作家ジュエツトは、故郷メイン州の静かな町を舞台に、人びとのささやかな日常と美しい自然を繊細な陰影をもって描いた。「とんがりモミの木の郷」など全6篇を収録する。

2019.10./ 346p,4p

978-4-00-323441-9

本体 ¥920+税



毎日新聞 2019/12/08



### 真珠湾(奇襲)論争～陰謀論・通告遅延・開戦外交～(講談社選書メチエ)

須藤 真志 著  
講談社

真珠湾攻撃はルーズベルトの陰謀ではないし、一方で原爆投下と相殺されるものでもない。日米双方から過剰な政治的意味を負わされた「奇襲」をめぐる論争に決着。歴史的大打打だった攻撃の全論点を解明する。

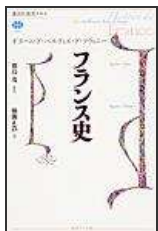
2004.8./ 254p

978-4-06-258306-0

本体 ¥1,600+税



毎日新聞 2019/12/08



### フランス史(講談社選書メチエ 697)

G.ベルティエ・ド・ソヴィニー 著  
講談社

文明の黎明から現代までの3千年を見渡し、フランスの長大な歴史の要点をまとめた通史。ヨーロッパの政治・文化・経済を動かし続けてきたフランスという国をより深く、より明確に知ることができる。

2019.4./ 667p

978-4-06-515029-0

本体 ¥3,150+税



毎日新聞 2019/12/08



### 日本社会のしくみ～雇用・教育・福祉の歴史社会学～(講談社現代新書 2528)

小熊 英二 著  
講談社

女性や外国人に対する閉鎖性、地方や非正規雇用の格差、生産性の低さ…。日本を支配する「社会の慣習」とは何か? 「日本の働き方」成立の歴史的経緯とその是非を問い、「この国のかたち」を浮き彫りにする。

2019.7./ 601p

978-4-06-515429-8

本体 ¥1,300+税



毎日新聞 2019/12/08





## 院政～天皇と上皇の日本史～(講談社現代新書 2523)

本郷 恵子 著

講談社

125 代にわたって続く天皇制。万世一系とうたわれる血統の再生産は、いかに維持されてきたのか。「中古以来譲位の慣例」から生まれた「院政」という政治方式を追跡することを中心に、天皇制の変遷から日本の歴史を読み解く。

2019:5./ 284p

978-4-06-516087-9

本体 ¥920+税



毎日新聞 2019/12/08



## ヒト、犬に会う～言葉と論理の始原へ～(講談社選書メチエ 705)

島 泰三 著

講談社

1 万 5000 年前に始まった人間と犬の共生。幻想や感情で判断する人間、論理的に判断する犬。犬は人の言葉を理解し、人の心を読み、人の窮地を救う。人間と犬、運命共同体としての関係の特異性と起源を探る。

2019:7./ 266p

978-4-06-516644-4

本体 ¥1,750+税



毎日新聞 2019/12/08



## 昭和・平成精神史～「終わらない戦後」と「幸せな日本人」～(講談社選書メチエ 708)

磯前 順一 著

講談社

私たちは今なお「戦後」という時間のなかを生活している。「戦後」はいつ終わるのか。米軍基地問題、被災者、戦後の傷跡...急激な経済発展の裏側で切り捨てられた人びとの声に耳を傾け、時代の真の姿を静かに問い直す。

2019:8./ 275p

978-4-06-516948-3

本体 ¥1,800+税



毎日新聞 2019/12/08



## 隠された奴隷制(集英社新書 0983)

植村 邦彦 著

集英社

「自由」に働く私たちがなぜ「奴隷」なのか? ロック、モンテスキュー、ルソー...。近代 350 年を辿り、マルクスが遺した「隠された奴隷制」という謎のキーワードで資本主義を読みとく。シンポジウムでの報告を基に新書化。

2019:7./ 268p

978-4-08-721083-5

本体 ¥880+税



毎日新聞 2019/12/08



## ヒトラーの正体(小学館新書 353)

舛添 要一 著

小学館

ポピュリズム、反グローバル、排外主義。現代の病根を辿っていくと、20 世紀最恐の暴君ヒトラーに行きつく。なぜ人びとは、この男を支持したのか。悲劇は止められなかったのか。ヒトラーを正しく恐れるための入門書。

2019:8./ 270p

978-4-09-825353-1

本体 ¥840+税



毎日新聞 2019/12/08



## 波(CREST BOOKS)

ソナーリ・デラニヤガラ 著

新潮社

2004 年のクリスマス翌日、スマトラ沖で発生した巨大地震による津波は、著者の夫と 2 人の息子、両親を、一瞬にして奪い去った。絶望の淵から再生してゆく自身の姿を虚飾なく伝える回想録。

2019:1./ 223p

978-4-10-590156-1

本体 ¥2,000+税



毎日新聞 2019/12/08



**日本近現代史講義～成功と失敗の歴史に学ぶ～(中公新書 2554)**

山内 昌之、細谷 雄一 著

中央公論新社

明治維新から、日清・日露戦争、第二次世界大戦、東京裁判と歴史認識問題、戦後日中関係、そして未来に向けた歴史観の問題まで。特定の歴史観やイデオロギーに偏らず実証を旨とする、第一線の研究者たちによる入門講義。

2019:8./ 310p

978-4-12-102554-8

本体 ¥900+税



毎日新聞 2019/12/08



**天使が見たもの～少年小景集～(中公文庫 あ 20-3)**

阿部 昭 著

中央公論新社

短篇小説の名手による<少年>を主題としたオリジナル・アンソロジー。病死した母親の後を追う少年の姿を端正な文体で描いた表題作のほか、随筆「あの夏の海」など全 14 篇を収める。沢木耕太郎によるエッセイも収録。

2019:4./ 285p

978-4-12-206721-9

本体 ¥860+税



毎日新聞 2019/12/08



**詩人の旅 増補新版(中公文庫 た 43-2)**

田村 隆一 著

中央公論新社

小海線の眺め、若狭の水、奥津の温泉…。荒地の詩人は、ウイスキーを道連れに日本各地に旅立った。釧路から沖縄まで、ユーモラスな紀行とエッセイ「ぼくのひとり旅論」を収めた<ニホン酔夢行>。

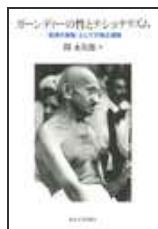
2019:10./ 264p

978-4-12-206790-5

本体 ¥900+税



毎日新聞 2019/12/08



**ガンディーの性とナショナリズム～「真理の実験」としての独立運動～**

間 永次郎 著

東京大学出版会

ガンディーが率いたインド独立運動とそれを支えるナショナリズム思想の形成に、ガンディーの性(セクシュアリティ)が主題化された「ブラフマチャリヤ」という性欲統制の実験がいかなる影響を与えたのかを論じる。

2019:2./ 8p,390p

978-4-13-056119-8

本体 ¥8,800+税



毎日新聞 2019/12/08



**人類最年長**

島田 雅彦 著

文藝春秋

1861 年、横浜生まれ。その男は若い看護師に、159 歳だと言った…。さまざまな女と出会いながら、この国で生きてきた男。数奇な運命の果てに見たものとは。『文藝界』連載を書籍化。

2019:4./ 285p

978-4-16-391006-2

本体 ¥1,850+税



毎日新聞 2019/12/08



**不意撃ち**

辻原 登 著

河出書房新社

不意撃ち、それは運命の悪意か。失踪した風俗嬢の過去を追う男が辿り着いたのは、伊勢の海に浮かぶ不思議な女たちの島だった…。『渡鹿野』ほか、人生の“予測不可能”な畏を描いた全 5 作品を収録。『文藝』等掲載を単行本化。

2018:11./ 235p

978-4-309-02756-2

本体 ¥1,600+税



毎日新聞 2019/12/08



## 森があふれる

彩瀬 まる 著

河出書房新社

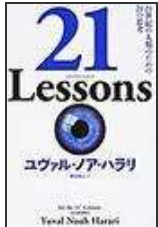
作家・埜渡徹也の妻・琉生は、突然、大量の植物の種を飲み、倒れる。翌日、彼女の毛穴から皮膚を突き破って出てきた芽は、やがて森となって街をも浸食しはじめ…。現実を凌駕する長編小説。『文藝』掲載を改稿し単行本化。

毎日新聞 2019/12/08

2019:8./ 183p

978-4-309-02816-3

本体 ¥1,400+税



## 21 Lessons～21 世紀の人類のための 21 の思考～

ユヴァル・ノア・ハラリ、柴田 裕之 著

河出書房新社

“知の巨人”が、テクノロジーや政治をめぐる難題から、この世界における真実、そして人生の意味まで、人類が直面している 21 の重要テーマを厳選。正解の見えない今の時代に、どのように思考し行動すべきかを問う。

毎日新聞 2019/12/08

2019:11./ 466p

978-4-309-22788-7

本体 ¥2,400+税



## 中国の領土紛争～武力行使と妥協の論理～

テイラー・フレイヴェル、松田 康博 著

勁草書房

中国はいつ武力行使に踏み切り、いつ妥協を選択するのか。アメリカ人中国研究者が、建国以来すべての領土紛争を検証し、中国の武力行使の条件を解き明かす。尖閣問題を論じた日本語版のためのエピソードも収録。

毎日新聞 2019/12/08

2019:7./ 11p,377p,105p

978-4-326-30279-6

本体 ¥6,400+税



## 超不確実性時代の WTO～ナショナリズムの台頭と WTO の危機～

深作 喜一郎 著

勁草書房

「WTO の現代化」とは何か。日本が果たすべき役割とは。トランプ政権の通商政策の問題や、WTO が抱える今日的課題とその課題への取り組みについて平易に語る。

毎日新聞 2019/12/08

2019:6./ 5p,268p

978-4-326-50460-2

本体 ¥3,500+税



## 奴隷の哲学者エピクテトス人生の授業～この生きづらい世の中で「よく生きる」ために～

萩野 弘之、かおり&ゆかり 著

ダイヤモンド社

「よく生きる」うえで真に大切なこととは？ ローマ時代のストア派を代表する奴隷出身の哲学者、エピクテトスの著作「提要」から、印象に残る言葉を取り上げ、ユニークな漫画と簡単な解説と共に紹介する。

毎日新聞 2019/12/08

2019:9./ 246p

978-4-478-10137-7

本体 ¥1,400+税



## 感情天皇論(ちくま新書 1398)

大塚 英志 著

筑摩書房

明仁天皇夫妻に私たちはいかに「個人」を見出し、あるいはいかにそれを消そうとしたのか。文学や映画を通じて天皇をめぐる時代精神を抽出。三島由紀夫から「シン・ゴジラ」、「お気持ち」発言まで読みとく評論集。

毎日新聞 2019/12/08

2019:4./ 334p

978-4-480-07219-1

本体 ¥980+税





### 教育格差～階層・地域・学歴～(ちくま新書 1422)

松岡 亮二 著

筑摩書房

日本は「生まれ」で人生の選択肢・可能性が大きく制限される「緩やかな身分社会」。教育格差の実態を圧倒的なデータ量で検証。すべての人が自分の可能性を活かせる社会をつくるために、採るべき現実的な対策を提案する。

2019:7./ 360p,21p

978-4-480-07237-5

本体 ¥1,000+税



毎日新聞 2019/12/08



### 五・一五事件～橋孝三郎と愛郷塾の軌跡～(ちくま文庫 ほ 16-8)

保阪 正康 著

筑摩書房

5・15 事件で決行された農村有志による変電所襲撃。農村と都市の格差のなか、民衆は青年将校たちの減刑を叫んだ。しかし事件は戦争突入への序曲となり...。昭和の転換点を、指導者・橋孝三郎ら農村の視点から捉えた名著。

2019:4./ 474p

978-4-480-43587-3

本体 ¥980+税



毎日新聞 2019/12/08



### 科学者の目 新版

童心社

すぐれた業績を残した科学者の<目>とは-。絵本作家かこさとしが、工学博士としての豊かな科学知識を生かして書き上げた科学者の伝記集。ニコラス・コペルニクス、木村栄ら、人類のあゆみに不滅の灯をともした 41 人を収録。

2019:7./ 187p

978-4-494-02057-7

本体 ¥1,400+税



毎日新聞 2019/12/08



### 分断と統合への試練～ヨーロッパ史 1950-2017～(シリーズ近現代ヨーロッパ 200 年史)

イアン・カーショー 著

白水社

冷戦による東西分断、グローバリゼーション、格差や貧困、移民などの危機と不安の 70 年間。1950 年から今日までの間にヨーロッパで起きた変化の、複雑かつ多面的態様の説明を試みる。見返しに地図あり。

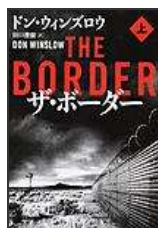
2019:11./ 538p,28p 図版 32p

978-4-560-09727-4

本体 ¥6,800+税



毎日新聞 2019/12/08



### ザ・ボーダー<上>(ハーパーBOOKS M・ウ 3・3)

ドン・ウィンズロウ、田口 俊樹 著

ハーパーコリンズ・ジャパン

グアテマラの殺戮から 1 年。メキシコの麻薬王アダン・バレーラの死は、新たな混沌と破壊を解き放った。後継者を指名する遺言が火種となり、カルテルの玉座をかけた抗争が勃発。一方、ヘロイン流入が止まらぬアメリカでは...

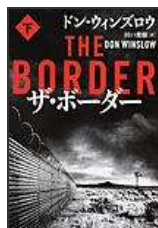
2019:7./ 765p

978-4-596-54118-5

本体 ¥1,296+税



毎日新聞 2019/12/08



### ザ・ボーダー<下>(ハーパーBOOKS M・ウ 3・4)

ドン・ウィンズロウ、田口 俊樹 著

ハーパーコリンズ・ジャパン

メキシコでは再び恐怖が街を支配していた。熾烈を極める抗争、凄惨さを競って SNS で拡散する虐殺映像。終わりのなき血と暴力の連鎖に、ケラーは米国国内からカルテルへの金の流れを断つべく、囑捜査官を潜入させ...

2019:7./ 814p

978-4-596-54119-2

本体 ¥1,324+税



毎日新聞 2019/12/08





### ほとほと〜歳時記ものがたり〜

高樹 のぶ子 著

毎日新聞出版

忘れられない愛おしい季節。懐かしい人々とのいまひとたびの邂逅-。「翡翠」「笹まつり」など、歳時記の季語をタイトルに、人生の<四季>を切なくあざやかに描いた全 24 編を収録。『毎日新聞』西部版連載を単行本化。

毎日新聞 2019/12/08

2019:2./ 275p

978-4-620-10838-4

本体 ¥1,600+税



### 誰が科学を殺すのか〜科学技術立国「崩壊」の衝撃〜

毎日新聞「幻の科学技術立国」取材班 著

毎日新聞出版

日本の科学技術力の急転落は一体どうして起きてしまったのか。「科学技術立国・日本」再生への処方箋は果たしてあるのか。平成の国力衰退をもたらした科学政策大改悪の驚くべき真実をあばく。『毎日新聞』連載を再構成・加筆。

毎日新聞 2019/12/08

2019:10./ 269p

978-4-620-32607-8

本体 ¥1,500+税



### 記憶としてのパールハーバー

細谷 千博、入江 昭、大芝 亮 著

ミネルヴァ書房

真珠湾攻撃、原爆投下…。太平洋戦争の記憶は、戦後日米関係にいかなる影響を及ぼしたのか。2002 年に東京で開催された国際大学研究所の全体会議における論考をもとに、書き下ろしも加えてまとめる。

毎日新聞 2019/12/08

2004:5./ 536p,10p

978-4-623-03916-6

本体 ¥5,000+税



### 湯けむり行脚〜池内紀の温泉全書〜

池内 紀 著

山川出版社

昔ながらの湯治宿に似た宿がそこ、ここにあった。そして時間がとまったような何日かを過ごすことができた-。単行本未収録の『アミューズ』連載エッセイを中心に、珠玉の 100 湯余りを秘蔵写真&イラストとともに紹介する。

毎日新聞 2019/12/08

2018:12./ 391p

978-4-634-15128-4

本体 ¥1,800+税



### 左派ポピュリズムのために

シャンタル・ムフ、山本 圭、塩田 潤 著

明石書店

ベルギー出身の政治理論家シャンタル・ムフが、ギリシャのシリザ、スペインのポデモスなど、「解放志向」の左派ポピュリズム勢力をとり上げ、民主主義を回復・深化させるためのラディカル・デモクラシー戦略を説く。

毎日新聞 2019/12/08

2019:1./ 149p

978-4-7503-4772-1

本体 ¥2,400+税



### くわしすぎる教育勅語

高橋 陽一 著

太郎次郎社エディタス

教育勅語本文の一字一句にこだわって解説。明治のエリートたちが書き上げた 315 字の文言はどこからやってきて、何を目指したのかを考察し、巧みなレトリックと埋め込まれたフェイクを味わう。教育勅語関連年表付き。

毎日新聞 2019/12/08

2019:2./ 269p

978-4-8118-0832-1

本体 ¥2,000+税





## 公共的知識人の誕生～スウィフトとその時代～

田中 祐子 著

昭和堂

時代精神の腐敗を憂い、ブリテンの政争・金権・頹廢を告発したスウィフト。彼の政治経済思想に踏み込み、その社会思想を歴史の多様な文脈のなかで読み解き、代表作「ガリヴァー旅行記」の新解釈を試みる。

2019:4./ 8p,428p,18p

978-4-8122-1820-4

本体 ¥6,000+税



毎日新聞 2019/12/08



## 桃源の水脈～東アジア詩画の比較文化史～

芳賀 徹 著

名古屋大学出版会

東アジアの人びとの根源的な夢想と願望に根ざして作り上げられた、平和の小世界。古代中国に発し、詩的トポスとして幾多の詩文や絵画を生み出してきた「桃源郷」の系譜をまとめた比較詩画史。

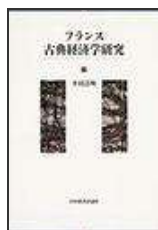
2019:5./ 4p,358p,11p

978-4-8158-0946-1

本体 ¥3,600+税



毎日新聞 2019/12/08



## フランス古典経済学研究

平田 清明、平田清明記念出版委員会 編

平田 清明 著

日本経済評論社

フランス古典経済学の復位を目指して-。著者初期の苦闘の跡を残す未公刊学位論文を集成。「フランス古典経済学の基本性格」「ケネーにおける自然法思想と経済学」「シスモンディの再生産=蓄積論と分割地所有論」の3部構成。

2019:10./ 11p,517p

978-4-8188-2537-6

本体 ¥6,500+税



毎日新聞 2019/12/08



## 古本屋散策

小田 光雄 著

論創社

近代古書業界の誕生、三上於菟吉の翻訳、三笠書房と艶本人脈…。蒐集した膨大な古書を読み込み、隣接する項目を交錯させ、近代出版史と近代文学史の広大な裾野を展望する。2002?18年『日本古書通信』連載を単行本化。

2019:5./ 602p

978-4-8460-1826-9

本体 ¥4,800+税



毎日新聞 2019/12/08



## トラトラトラ～太平洋戦争はこうして始まった～

ゴードン・W. プランゲ 著

並木書房

アメリカは真珠湾の悲劇を防げたのか?数千回に及ぶ日米当事者へのインタビューをもとに、その謎を解き明かし、真珠湾攻撃作戦の全容に迫る。勇敢な日本海軍将兵への尊敬を込めて書いた戦史。91年刊の新装版。

2001:6./ 442p 図版 16p

978-4-89063-138-4

本体 ¥1,900+税



毎日新聞 2019/12/08



## いやな感じ

高見 順 著

共和国/editorial republica

関東大震災後、虐殺された大杉栄の復讐に失敗したアナーキスト・加柴四郎は、ファシストや軍と結託し、韓国や上海での要人暗殺に加担するが…。高見順、畢生の長篇小説「いやな感じ」の全編とそのスピンオフ作品3編を収録。

2019:6./ 421p

978-4-907986-57-5

本体 ¥2,700+税



毎日新聞 2019/12/08



**戦前不敬発言大全～落書き・ビラ・投書・怪文書で見る反天皇制・反皇室・反ヒロヒト的言説～(戦前ホンネ発言大全 第1巻)**

高井 ホアン 著  
パブリブ

特高警察および憲兵隊は、落書きから子どもの替え歌まで、権力の脅威となるものの全てを弾圧するに際し記録した。特高警察の内部回覧誌である特高月報と、憲兵隊による調査記録をもとに、一般市民の反体制的言論活動を紹介する。

2019:5./ 589p

978-4-908468-35-3

本体 ¥2,500+税



毎日新聞 2019/12/08



**日本国民のための愛国の教科書**

将基面 貴巳 著  
百万年書房

愛国心を持つことは自然なことか。国のために尽くすことは正しいことか。愛国心の落とし穴とは何か。「愛国」という問題をめぐって研究してきた内容から重要な論点を選び、個人的体験も交えて平易に論じる。

2019:7./ 199p

978-4-9910221-9-7

本体 ¥1,680+税



毎日新聞 2019/12/08



**小箱**

小川 洋子 著  
朝日新聞出版

小箱の番人、歌でしか会話ができないバリトンさん、息子を失った従姉、遺髪で堅琴の弦をつくる元美容師…。「おくりびと」たちは、孤独のさらに奥深くで冥福を祈っている…。7年ぶりの書下ろし長編小説。

2019:10./ 209p

978-4-02-251642-8

本体 ¥1,500+税



毎日新聞 2019/12/08、朝日新聞 2019/12/21



**大学論を組み替える～新たな議論のために～**

広田 照幸 著  
名古屋大学出版会

なしくずしの政策追従に陥る大学。何を守り、何を見直せばよいのか。教育の質、評価、学問の自由など具体的なトピックを通して、よい改革論とダメな改革論を区別し、大学が公共的な役割を果たし続けられる道を拓く。

2019:10./ 8p,303p,7p

978-4-8158-0967-6

本体 ¥2,700+税



毎日新聞 2019/12/08、朝日新聞 2019/12/21



**三体**

劉 慈欣、大森 望、光吉 さくら、ワン チャイ、立原 透耶 著  
早川書房

物理学者の父を文化大革命で亡くし、人類に絶望した中国人エリート科学者・葉文潔。ある日、彼女は謎めいた軍事基地にスカウトされる。そこでは、人類の運命を左右するかもしれないプロジェクトが極秘裏に進行していて…。

2019:7./ 447p

978-4-15-209870-2

本体 ¥1,900+税



毎日新聞 2019/12/08、朝日新聞 2019/12/28



**夢見る帝国図書館**

中島 京子 著  
文藝春秋

友人から依頼された「日本で最初の国立図書館の小説」を綴りながら、涙もろい大学教授や飄々たる元藝大生らと共に思い出をたどり、友人の人生と幻の絵本の謎を追い…。本を愛した人々の物語。『別冊文藝春秋』連載を書籍化。

2019:5./ 404p

978-4-16-391020-8

本体 ¥1,850+税



毎日新聞 2019/12/08、朝日新聞 2019/12/28



**「家族の幸せ」の経済学～データ分析でわかった結婚、出産、子育ての真実～  
(光文社新書 1015)**

山口 慎太郎 著

光文社

「赤ちゃんには母乳が一番」「3歳までは母親がつきっきりで子育てすべき」は間違い! 出産や子育てにおいて幅をきかせる科学的根拠を一切無視した「思い込み」を、気鋭の学者が最先端の経済学的手法で徹底的に論破する。

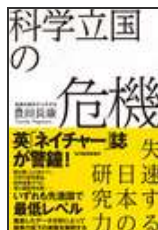
2019/7./ 259p

978-4-334-04422-0

本体 ¥820+税



毎日新聞 2019/12/08、朝日新聞 2019/12/28



**科学立国の危機～失速する日本の研究力～**

豊田 長康 著

東洋経済新報社

失速する日本の研究力。論文数(人口あたり)や研究者数(FTE)など、いずれも先進国で最低のレベル。そんな日本の競争力低下の実態を、徹底したデータ分析により解明し、科学技術立国再生の設計図を示す。

2019/2./ 536p

978-4-492-22389-5

本体 ¥2,600+税



毎日新聞 2019/12/08、朝日新聞 2019/12/28



**罪の轍**

奥田 英朗 著

新潮社

東京オリンピックを翌年にひかえた昭和 38 年、浅草で男児誘拐事件が発生した。しかし犯人が求めていたのは、大金でも、子どもの命でもなく…。犯罪ミステリ。『小説新潮』連載を改題し単行本化。

2019/8./ 587p

978-4-10-300353-3

本体 ¥1,800+税



毎日新聞 2019/12/08、読売新聞 2019/12/22



**江藤淳は甦える**

平山 周吉 著

新潮社

「平成」の空妄を予言し、現代文明を根底から疑った批評家・江藤淳。「成熟と喪失」「海は甦える」など、常に文壇の第一線で闘い続けた軌跡を、徹底的な取材により解き明かす。没後 20 年、自死の当日に会った著者による評伝。

2019/4./ 783p

978-4-10-352471-7

本体 ¥3,700+税



毎日新聞 2019/12/08、読売新聞 2019/12/22



**美しき愚かものたちのタブロー**

原田 マハ 著

文藝春秋

モネ、ルノワール、ゴッホ…。日本の若者に本物を見せたい。その一心で絵画を買い漁った男がいた。アートに魅せられ、不可能を可能にした 4 人の男たちと、国立西洋美術館の礎“松方コレクション”の軌跡を描く。

2019/5./ 441p

978-4-16-391026-0

本体 ¥1,650+税



毎日新聞 2019/12/08、読売新聞 2019/12/22



**きのこのながさめ**

ロン・リット・ウーン、枇谷 玲子、中村 冬美 著

みずず書房

喪失の痛みのさなか、社会人類学者の著者はふと参加したきのこ講座で、足下に広がるワンダーランドに出会う。きのこ狩り、愛好家の友情、色・形・匂いの個性、レシピ…。きのこの不可思議な魅力を通して描く、魂の再生の物語。

2019/8./ 311p,7p

978-4-622-08809-7

本体 ¥3,400+税



毎日新聞 2019/12/08、読売新聞 2019/12/22





### 独ソ戦〜絶滅戦争の惨禍〜(岩波新書 新赤版 1785)

大木 毅 著

岩波書店

これは絶滅戦争なのだ。ヒトラーが断言したとき、ドイツとソ連との血で血を洗う皆殺しの闘争が始まった。想像を絶する独ソ戦の惨禍。歴史修正主義の歪曲を正し、現代の野蛮とも呼ぶべき戦争の本質をえぐり出す。

2019:7./ 20p,248p

978-4-00-431785-2

本体 ¥860+税



毎日新聞 2019/12/08、読売新聞 2019/12/22、朝日新聞 2019/12/28



### 掃除婦のための手引き書〜ルシア・ベルリン作品集〜

ルシア・ベルリン、岸本 佐知子 著

講談社

多くの作家に影響を与えながらも、生前は一部にその名を知られるのみだったルシア・ベルリン。逝去から 10 年を経て出版され、ベストセラーとなった短篇集から、24 篇をよりすぐって収録する。

2019:7./ 317p

978-4-06-511929-7

本体 ¥2,200+税



毎日新聞 2019/12/08、読売新聞 2019/12/22、朝日新聞 2019/12/28



### 井上陽水英訳詞集

ロバート キャンベル 著

講談社

井上陽水の言葉の森にわけ入り、歌詞をひとつひとつ英語に置き換えながら吟じ味わう。日本文学を生業とする著者が、井上陽水の歌詞を訳し、日本語の先にある「日本」に迫る。井上陽水と著者の対話も収録。

2019:5./ 301p

978-4-06-513131-2

本体 ¥2,700+税



毎日新聞 2019/12/08、毎日新聞 2019/12/15



### 彼女たちの場合は

江國 香織 著

集英社

「これは家出ではないので心配しないでね」14 歳と 17 歳。少女は 2 人きりで“アメリカを見る”旅に出た…。美しい風景と愛すべき人々、そして「あの日の自分」に出会える長編小説。『小説すばる』連載を加筆・修正。

2019:4./ 472p

978-4-08-771183-7

本体 ¥1,800+税



毎日新聞 2019/12/08、毎日新聞 2019/12/15



### ヒトラーの時代〜ドイツ国民はなぜ独裁者に熱狂したのか〜(中公新書 2553)

池内 紀 著

中央公論新社

ナチス体制はなぜ短期間に実現したのか。ドイツ国民がそれを支持した理由は何か。労働環境の改善、社会福祉の拡充などの巧みな施策、ゲシュタポによる弾圧。様々な角度から、ヒトラーを独裁者に押し上げた「時代」を描く。

2019:7./ 8p,267p

978-4-12-102553-1

本体 ¥860+税



毎日新聞 2019/12/08、毎日新聞 2019/12/15



### 夏物語

川上 未映子 著

文藝春秋

パートナーなしの妊娠・出産を目指す夏子。彼女のまえに、精子提供で生まれ「父の顔」を知らない潤が現れ…。芥川賞受賞作「乳と卵」の登場人物たちが新たに織りなす物語。『文藝界』掲載を単行本化。

2019:7./ 545p

978-4-16-391054-3

本体 ¥1,800+税



毎日新聞 2019/12/08、毎日新聞 2019/12/15



### 美術の物語

エルンスト・H.ゴンブリッチ、天野 衛 著

河出書房新社

原始の洞窟壁画から現代の実験的な芸術にいたる、美術の全体を論じた入門書。色々な名前や時代や様式がわかりやすく整理できるように工夫し、物語としての美術史を目に見えのように描き出す。

2019:7./ 688p

978-4-309-25628-3

本体 ¥8,500+税



毎日新聞 2019/12/08、毎日新聞 2019/12/15



### ぼくはイエローでホワイトで、ちょっとブルー〜The Real British Secondary School Days〜

ブレイディみかこ 著

新潮社

優等生の「ぼく」が通い始めたのは、人種も貧富もごちゃまぜの「元・底辺中学校」。世界の縮図のような日常を、思春期真っ只中の「ぼく」と著者である母は、ともに考え悩み乗り越え…。傑作エッセイ。『波』連載を書籍化。

2019:6./ 252p

978-4-10-352681-0

本体 ¥1,350+税



毎日新聞 2019/12/08、毎日新聞 2019/12/15、読売新聞 2019/12/22



### 岸のない海 石原吉郎ノート

郷原 宏 著

未来社

極寒の地シベリアに8年にわたって抑留され、苛酷な労働と非人間的な強制収容所生活で人間の本質と死を見とどけた伝説の詩人・石原吉郎の評伝。『季刊未来』連載に参考文献と詳細な年譜を追加して単行本化。

2019:11./ 329p

978-4-624-60123-2

本体 ¥3,800+税



毎日新聞 2019/12/10



### 伊丹十三選集<1> 日本人よ!

松家 仁之、中村 好文、池内 万平 編

伊丹 十三 著

岩波書店

伊丹十三の主要な随筆・対談等を主題ごとに集成。第1巻は、「天皇日常」「貝塚の特別料理人」「机の上のハガキ」「塀のいろいろ」など、天皇、歴史、文化を切り口に、日本と日本人の心性に肉薄したものを収録する。

2018:12./ 8p,509p

978-4-00-028118-8

本体 ¥3,300+税



毎日新聞 2019/12/15



### 伊丹十三選集<2> 好きと嫌い

松家 仁之、中村 好文、池内 万平 編

伊丹 十三 著

岩波書店

伊丹十三の主要な随筆・対談等を主題ごとに集成。第2巻は、「原則の人」「正装の快感」「目玉焼の正しい食べ方」など、人間のふるまい、習慣について、伊丹十三がこだわりつづけたことを綴ったエッセイを収録。

2019:1./ 8p,341p

978-4-00-028119-5

本体 ¥3,300+税



毎日新聞 2019/12/15



### 伊丹十三選集<3> 日々是十三

松家 仁之、中村 好文、池内 万平 編  
伊丹 十三 著  
岩波書店

伊丹十三の主要な随筆・対談等を主題ごとに集成。第 3 巻は、「結婚記念日」「親馬鹿」「書斎の憂鬱」「父と子」「落第のすすめ」など、恋愛、結婚、仕事、子育てについて、伊丹十三の日々を綴ったエッセイを収録。

2019:2./ 8p,389p  
978-4-00-028120-1

本体 ¥3,300+税



毎日新聞 2019/12/15



### 社会科学と因果分析〜ウェーバーの方法論から知の現在へ〜

佐藤 俊樹 著  
岩波書店

マックス・ウェーバーが確立した「適合的因果」と呼ばれる因果分析の方法が、現代の社会科学の展開や論争にそのままつながっているとしたら？ 従来のウェーバー像とは異なるその学術の姿を解明し、社会科学とは何かを考える。

2019:1./ 19p,407p,10p  
978-4-00-061315-6

本体 ¥2,800+税



毎日新聞 2019/12/15



### 大きな字で書くこと

加藤 典洋 著  
岩波書店

私は誰か。何が、その問いの答えなのか。大きな字で書いてみると、何が書けるのか。急逝した文芸評論家が遺した、最後のことばをまとめる。『図書』連載を書籍化。

2019:11./ 8p,149p  
978-4-00-061373-6

本体 ¥1,800+税



毎日新聞 2019/12/15



### あいちトリエンナーレ「展示中止」事件〜表現の不自由と日本〜

アライ ヒロユキ 編  
岩波書店

国内最大の芸術展「あいちトリエンナーレ 2019」で何が起きたのか。国家のみならず「人びとのヘイト」からどう表現を守るのか。事態の経緯を記録し、炙り出された日本社会そのものの不自由さを問う。

2019:11./ 13p,238p  
978-4-00-061378-1

本体 ¥1,800+税



毎日新聞 2019/12/15



### 負動産時代〜マイナス価格となる家と土地〜(朝日新書 708)

朝日新聞取材班 著  
朝日新聞出版

ババ抜きゲームになる住宅、横行する詐欺商法、乗っ取られる管理組合…。不動産はもはや財産ではなく負債。阿鼻叫喚の現場を歩き、“負動産”の惨烈な「今」に肉薄する。『朝日新聞』連載を加筆し書籍化。

2019:2./ 263p  
978-4-02-295008-6

本体 ¥810+税



毎日新聞 2019/12/15



### なぜ世界は存在しないのか(講談社選書メチエ 666)

マルクス・ガブリエル 著  
講談社

1980 年生まれドイツ哲学界の新星が、ポストモダン以後の時代を表す「新しい実在論」をキーワードに示す、哲学の原則。「なぜ世界は存在しないのか」という大胆な問いを投げかけ、豊富な具体例とともに解きほぐす。

2018:1./ 335p  
978-4-06-258670-2

本体 ¥1,850+税



毎日新聞 2019/12/15



**社会学史(講談社現代新書 2500)**

大澤 真幸 著

講談社

マルクスもフロイトも社会学者だった! アリストテレスからカンタン・メイヤーまで、知の巨人が産み出した思想を、網羅的に平易な講義文体で解説する。現代社会をよりよく生きるために必須の知恵がつまった一冊。

2019:3./ 638p

978-4-06-288449-5

本体 ¥1,400+税



毎日新聞 2019/12/15



**創造と狂気の歴史～プラトンからドゥルーズまで～(講談社選書メチエ 696)**

松本 卓也 著

講談社

「創造と狂気」という問題は西洋思想史の中でどのように扱われてきたのか。プラトン、アリストテレスから、デカルト、カント、ヘーゲル、ラカン、デリダ、ドゥルーズまで、様々な哲学者や思想家の議論をもとに追う。

2019:3./ 381p

978-4-06-515011-5

本体 ¥2,150+税



毎日新聞 2019/12/15



**プリンシピア～自然哲学の数学的原理～<第 1 編> 物体の運動(ブルーバックス B-2100)**

アイザック・ニュートン 著

講談社

運動の法則、万有引力の法則、天体の運行など、古典力学の基礎を築いた歴史的名著を新書化。第 1 編は、物体の運動の諸形態をあらゆる角度から詳細に論じる。訳者自身の証明や、気付きも収録する。

2019:6./ 441p

978-4-06-516387-0

本体 ¥1,500+税



毎日新聞 2019/12/15



**プリンシピア～自然哲学の数学的原理～<第 2 編> 抵抗を及ぼす媒質内での物体の運動(ブルーバックス B-2101)**

アイザック・ニュートン 著

講談社

運動の法則、万有引力の法則、天体の運行など、古典力学の基礎を築いた歴史的名著を新書化。第 2 編は、流体力学の諸問題、振り子の運動や波動の研究を展開する。訳者による注も掲載。

2019:7./ 373p

978-4-06-516656-7

本体 ¥1,500+税



毎日新聞 2019/12/15



**プリンシピア～自然哲学の数学的原理～<第 3 編> 世界体系(ブルーバックス B-2102)**

アイザック・ニュートン 著

講談社

運動の法則、万有引力の法則、天体の運行など、古典力学の基礎を築いた歴史的名著を新書化。第 3 編は、第 1 編・第 2 編で述べた哲学の諸原理をもとに、世界体系の枠組を示す。訳者による注も掲載。

2019:8./ 355p

978-4-06-516657-4

本体 ¥1,500+税



毎日新聞 2019/12/15





### 真実の終わり

ミチコ・カクタニ、岡崎 玲子 著

集英社

客観的事実が消えゆく世界で、私たちはどう生きるべきか。トランプ政権に象徴される民主主義の危機、フェイクニュースやプロパガンダがはびこる現代社会の闇を、米文壇無比の文芸評論家が読み解く。

2019:6./ 172p

978-4-08-773496-6

本体 ¥1,700+税



毎日新聞 2019/12/15



### 衰退産業でも稼げます～「代替わりイノベーション」のセオリー～

藻谷 ゆかり 著

新潮社

借金まみれの親の会社でも「代替わり」で蘇る! 東大卒・ハーバード MBA の起業家が、衰退産業といわれる「商店・旅館・農業・伝統産業」で、代替わり時や起業時に革新に成功した 16 社の事例を徹底研究する。

2019:5./ 217p

978-4-10-352641-4

本体 ¥1,500+税



毎日新聞 2019/12/15



### 幽玄の絵師～百鬼遊行絵巻～

三好 昌子 著

新潮社

異能の絵師土佐光信は、将軍足利義政から人心を惑わす妖異の謎を解くよう命じられる。御所をさまよう血塗れの女、影喰らい、笑い小鼓…。果たして彼が見極めた化生の正体とは。『小説新潮』掲載に書き下ろしを加え単行本化。

2019:9./ 248p

978-4-10-352851-7

本体 ¥1,600+税



毎日新聞 2019/12/15



### 新訳夢判断(新潮モダン・クラシックス)

フロイト、大平 健 著

新潮社

ひた隠しにしていた性的欲求が丸出しの夢、試験に落ちる夢、親を殺す夢…。本当の自分が潜む場所「夢」を分析し、悩みを解き明かすフロイトの歴史的ベストセラー。長年患者の夢や無意識と向き合い続けた精神科医による翻訳。

2019:4./ 457p

978-4-10-591007-5

本体 ¥2,500+税



毎日新聞 2019/12/15



### 太閤検地～秀吉が目指した国のかたち～(中公新書 2557)

中野 等 著

中央公論新社

豊臣秀吉が実施した政策の革新性とは。各地を征服するたびに奉行を派遣し検地を断行し、後に江戸幕府の支配基盤となった太閤検地の実態を描き、単なる土地制度上の政策にとどまらず日本の社会構造を大きく変えた意義を示す。

2019:8./ 3p,273p

978-4-12-102557-9

本体 ¥880+税



毎日新聞 2019/12/15



### 美学への招待 増補版(中公新書 1741)

佐々木 健一 著

中央公論新社

藝術に対し抱く素朴な感想や疑問を手がかりに解きほぐす美学入門書。科学技術の発展により、複製がオリジナル以上に影響力を持つようになった藝術のあり方・捉え方の変化を論じる。新しい潮流を大幅増補。

2019:7./ 10p,316p

978-4-12-191741-6

本体 ¥1,000+税



毎日新聞 2019/12/15



### 渦～妹背山婦女庭訓魂結び～

大島 真寿美 著

文藝春秋

江戸時代、芝居小屋が立ち並ぶ大坂道頓堀。虚実の渦を作り出した、もう一人の近松がいた…。浄瑠璃作者・近松半二の生涯を描いた、著者初の時代小説。『オール讀物』連載を単行本化。

2019.3./ 361p

978-4-16-390987-5

本体 ¥1,850+税



毎日新聞 2019/12/15



### 暗黒のスクन्दル国家

青木 理 著

河出書房新社

独裁政権に斬り込め！民主主義を手放すな！スクन्दルそのものと化した現政権を徹底的に暴き、「抵抗するジャーナリズム」の死活を賭けた瞠目の力篇。『月刊日本』『週刊現代』ほか掲載に書き下ろしを加えて書籍化。

2019.9./ 252p

978-4-309-24909-4

本体 ¥1,650+税



毎日新聞 2019/12/15



### マンガ哲学辞典

橋本 治 著

河出書房新社

『広告批評』に連載された幻の作品がいま甦る！橋本治が「梓」に縛られながら生きる現代人に向け、「生きづらさ」の正体に漫画で迫る。永江朗による解説も収録。

2019.9./ 167p

978-4-309-24927-8

本体 ¥1,500+税



毎日新聞 2019/12/15



### 空気の検閲～大日本帝国の表現規制～(光文社新書 938)

辻田 真佐憲 著

光文社

絶対悪の代名詞「検閲」。その実態は？1928年？1945年、エロ・グロ・ナンセンスから日中戦争・太平洋戦争時代まで、大日本帝国期の資料を丹念に追いながら、摩訶不思議な検閲の世界に迫る。

2018.3./ 304p

978-4-334-04344-5

本体 ¥880+税



毎日新聞 2019/12/15



### 9条入門(「戦後再発見」双書 8)

加藤 典洋 著

創元社

戦後日本の象徴として、多くの日本人から熱烈に支持されてきた憲法9条。多くの異説や混乱が存在するなか、あらゆる政治的立場から離れ、憲法9条の「出生の秘密」から「昭和天皇」「日米安保」との相克までを描き出す。

2019.4./ 345p

978-4-422-30058-0

本体 ¥1,500+税



毎日新聞 2019/12/15



### 内村鑑三～その聖書読解と危機の時代～(筑摩選書 0172)

関根 清三 著

筑摩書房

戦争と震災。この2つの危機に対し、内村鑑三はどのように立ち向かったのか。聖書学の視点から、内村の聖書研究に基づく現実との格闘を追っていく。近代日本を代表するキリスト者の思想的可能性と現代的射程を問う一冊。

2019.3./ 382p

978-4-480-01678-2

本体 ¥1,800+税



毎日新聞 2019/12/15



### 仮面の道(ちくま学芸文庫 レ 6-2)

クロード・レヴィ=ストロース 著

筑摩書房

アメリカ北西海岸の諸部族が伝承する仮面。構造人類学の視点から、仮面の裏に折り重なった意味内容とコードの体系を読解し、個人の主観を人類の共有する幻想へと?ぐ。原書最新版で増補された第二部「三つの小さな旅」も収録。

2018.12./ 396p

978-4-480-09647-0

本体 ¥1,400+税



毎日新聞 2019/12/15



### ドライブイン探訪

橋本 倫史 著

筑摩書房

道路沿いにひっそりと佇むドライブイン。クルマ社会、外食産業の激変を受けながら、ドライバーたちに食事を提供し続けた人々の人生と思いに迫る。『月刊ドライブイン』連載を加筆し書籍化。

2019.1./ 315p

978-4-480-81850-8

本体 ¥1,700+税



毎日新聞 2019/12/15



### MMT 現代貨幣理論入門

L.ランダル・レイ、島倉 原、鈴木 正徳 著

東洋経済新報社

MMT(現代貨幣理論)研究の第一人者による「バイブル」。マクロ会計の基礎から主権通貨のための現代貨幣理論までを専門用語を使わず解説する。MMTをいち早く日本に紹介した中野剛志と“反緊縮の旗手”松尾匡の解説付き。

2019.8./ 536p,15p

978-4-492-65488-0

本体 ¥3,400+税



毎日新聞 2019/12/15



### ホモ・デジタルの時代～AI と戦うための(革命の)哲学～

ダニエル・コーエン、林 昌宏 著

白水社

1968 年 5 月の学生運動を起点にして、現在までの思潮と今後の展望を、経済学、社会学、哲学、科学技術、心理学などから学際的に総括。新たな人文知のために、デジタル社会における「経済成長」の真実に迫る。

2019.9./ 222p,17p

978-4-560-09721-2

本体 ¥2,200+税



毎日新聞 2019/12/15



### 工場日記

シモーヌ・ヴェイユ、富原 眞弓 著

みすず書房

哲学教師としてリセで教鞭を執ったのち、自ら女工の生活に飛び込んだ、フランスの思想家・ヴェイユ。苛酷な労働の中に生まれる思考と感情を書き留めた記録に、工場の作業、機械や道具の仕組みについての校閲を加えた決定版。

2019.7./ 257p

978-4-622-08817-2

本体 ¥4,200+税



毎日新聞 2019/12/15



### チョムスキーと言語脳科学(インターナショナル新書 037)

酒井 邦嘉 著

集英社インターナショナル

言語機能は生得的だとする「生成文法理論」は正しいのか。チョムスキー著「統辞構造論」を詳説し、生成文法理論の核心となる<文法中枢>が脳内に存在することを、言語脳科学の実証実験で明らかにする。

2019.4./ 249p

978-4-7976-8037-9

本体 ¥860+税



毎日新聞 2019/12/15



### ドゥルーズ魂の技術と時空・生起-動〜<意味>を現働化する〜

中田 光雄 著  
水声社

ドゥルーズ初期の主要著作「差異と反覆」「意味の論理学」を精読し、「魂の奥底」や「時空・生起-動」において潜勢的に蠢く力動の顕勢化・現働化として「意味」をとらえながら、未来への途を探る。

2019.9./ 320p  
978-4-8010-0446-7

本体 ¥5,000+税



毎日新聞 2019/12/15



### 私のものではない言葉を〜詩集〜

清水 茂 著  
土曜美術社出版販売

すべてが沈黙するまえに せめて 倅せだったときの夢のなかに もう一度 引き返すことはできないものか、あれもこれも ひと時の夢に過ぎないとは知っていても、「ひと時の夢が」より 詩集。

2019.10./ 107p  
978-4-8120-2537-6

本体 ¥2,000+税



毎日新聞 2019/12/15



### 反転する環境国家〜「持続可能性」の罫をこえて〜

佐藤 仁 著  
名古屋大学出版会

国家に依存した自然保護の急速な展開は何をもたらしたのか。東南アジアをフィールドに、灌漑や森林、漁業資源をめぐる思いがけない「人の支配」への転化をあぶりだし、解決策を現場の人々の戦略や日本の経験に見出す。

2019.6./ 15p,318p,30p  
978-4-8158-0949-2

本体 ¥3,600+税



毎日新聞 2019/12/15



### 進化の意外な順序〜感情、意識、創造性と文化の起源〜

アントニオ・ダマシオ、高橋 洋 著  
白揚社

単細胞生物に始まり、神経系や脳の発達を経て、意識や人間の文化の起源へ。脳と心の理解を主導してきた著名な神経科学者アントニオ・ダマシオが、文化の誕生に至る進化を独創的に読み解く。

2019.2./ 349p  
978-4-8269-0207-6

本体 ¥3,000+税



毎日新聞 2019/12/15



### 夢幻往来・師直の恋ほか(松本徹著作集 3)

松本 徹 著  
鼎書房

さまざまな土地を訪ね歩いて古典と今を往来し、物語世界へと誘う「夢幻往来」全篇のほか、「袈裟の首」「師直の恋」からは 6 篇を選び、改稿して収録。

2019.2./ 427p  
978-4-907282-44-8

本体 ¥3,800+税



毎日新聞 2019/12/15



### ずっとこの雑誌のことを書こうと思っていた。

鏡 明 著  
フリースタイル

この雑誌がなかったら、いまのぼくはなかった。著者が少年のときに会った雑誌『マンハント』を通して、ポピュラー・カルチャーとは何かを考える。『フリースタイル』連載を改題して単行本化。

2019.7./ 378p 図版 16p  
978-4-939138-96-6

本体 ¥2,200+税



毎日新聞 2019/12/15





## 人外

松浦 寿輝 著

講談社

アラカシの枝の股から滲みだし、四足獣のかたちをとった「それ」は、荒廃した世界の風景を横切り…。ゆくてに待ち受けるのは、いったい何か？ 世界のへりをめぐるよるべない魂の旅を描く小説。『群像』連載を単行本化。

2019:3./ 269p

978-4-06-514724-5

本体 ¥2,300+税



毎日新聞 2019/12/15、朝日新聞 2019/12/28



## 公の時代

卯城 竜太、松田 修 著

朝日出版社

復興、オリンピック、芸術祭、都市再開発、表現の自由…。 “ブラックボックス化”した大正の前衛アートを手がかりに、開かれた社会と個について語り合う。ウェブ版『美術手帖』連載をもとに書籍化。

2019:9./ 322p

978-4-255-01135-6

本体 ¥1,800+税



毎日新聞 2019/12/15、朝日新聞 2019/12/28



## イタリアン・シューズ

ヘニング・マンケル、柳沢 由実子 著

東京創元社

ひとり離れ小島に住む元医師フレドリックの元に、37 年前に捨てた恋人ハリエツトがやってくる。治らぬ病に冒された彼女の願いをかなえるべく、フレドリックは島をあとにするが…。孤独な男の贖罪と再生、そして希望の物語。

2019:4./ 349p

978-4-488-01087-4

本体 ¥1,900+税



毎日新聞 2019/12/15、朝日新聞 2019/12/28



## 世界地図を読み直す～協力と均衡の地政学～(新潮選書)

北岡 伸一 著

新潮社

大国の周辺国から国際秩序を見直せば、まったく新しい「世界地図」が立ち上がる。歴史と地理に精通した政治外交史家が、国際協力と勢力均衡の最前線で「21 世紀の地政学」を考える。

2019:5./ 251p

978-4-10-603840-2

本体 ¥1,300+税



毎日新聞 2019/12/15、読売新聞 2019/12/22



## モスクワの伯爵

エイモア・トールズ、宇佐川 晶子 著

早川書房

1922 年、モスクワ。革命政府に無期限の軟禁刑を下された伯爵は、絶望に沈みゆく中で紳士の流儀を貫くことを選ぶ。人をもてなし、身のまわりを整え、人生を投げ出さない。やがて彼は宿泊客や従業員たちと友情を深めるが…。

2019:5./ 619p

978-4-15-209860-3

本体 ¥3,600+税



毎日新聞 2019/12/15、読売新聞 2019/12/22



## 人口で語る世界史

ポール・モーランド、渡会 圭子 著

文藝春秋

大英帝国の出現は産業革命と農業革命による人口爆発ありきだった。一方、ナチは優生学ゆえ人口増に失敗した。気鋭の人口学者が「人口の大変革期」に当たる直近 200 年を読み解いた、画期的な歴史教養書。

2019:8./ 405p

978-4-16-391085-7

本体 ¥2,200+税



毎日新聞 2019/12/15、毎日新聞 2019/12/15



### 山海記

佐伯 一麦 著

講談社

東北の震災後、水辺の災害の歴史と記憶を辿る旅を続ける彼は、その締めくぐりに震災と同じ年に土砂災害に襲われた紀伊半島に向かう…。現代日本における私小説の名手による長編小説。『群像』連載を単行本化。

2019:3./ 262p

978-4-06-514994-2

本体 ¥2,000+税



毎日新聞 2019/12/15、毎日新聞 2019/12/15、朝日新聞 2019/12/28



### 教養としての「フランス史」の読み方

福井 憲彦 著

PHPエディターズ・グループ

権力の集中はどのようにして行われたのか。なぜ革命は起き、皇帝が生まれたのか。ケルト人の定住から、移民問題、EU の未来まで、西洋近現代史研究の第一人者が、フランスの歴史を読み解く。

2019:9./ 414p

978-4-569-84369-8

本体 ¥2,000+税



毎日新聞 2019/12/15、毎日新聞 2019/12/22



### アメリカ暴力の世紀～第二次大戦以降の戦争とテロ～

ジョン・W.ダワー、田中 利幸 著

岩波書店

第二次大戦および冷戦の覇者アメリカは、どのような経緯で現在の世界の、そして自国の混沌を生み出してしまったのか。軍事をめぐる歴史とテロなどの不安定の連鎖拡大の現状について、簡潔にかつ深く洞察する。

2017:11./ 27p,186p

978-4-00-022099-6

本体 ¥1,800+税



毎日新聞 2019/12/22



### 岩波国語辞典 第8版

丸山 直子 編

岩波書店

現代語を中心に、日常生活の上で必要な外来語・文語・雅語・成句など、約67000語を見出し語として収録し、わかりやすく解説。実例に基づいた用例・表示なども掲載する。全項目を見直した第8版。

2019:11./ 21p,1726p,53p

978-4-00-080048-8

本体 ¥3,000+税



毎日新聞 2019/12/22



### 市民の反抗～他五篇～(岩波文庫 赤 307-3)

H. D. ソロー、飯田 実 著

岩波書店

『森の生活』の著者ソロー(1817-62)は、自然、人生、社会改革、文学など、様々なテーマをめぐる興味深いエッセイを著している。代表的な作品6篇を収録。

1997:11./ 384p

978-4-00-323073-2

本体 ¥970+税



毎日新聞 2019/12/22



### フェルマーの最終定理(新潮文庫)

サイモン・シン 著

新潮社

毎日新聞 2019/12/22

2006:5./ 495p

978-4-10-215971-2

本体 ¥790+税





**戦後思想の到達点～梶谷行人、自身を語る 見田宗介、自身を語る～(シリーズ・戦後思想のエッセンス)**

梶谷 行人、見田 宗介、大澤 真幸 著

NHK出版

戦後思想の2つの頂点、梶谷行人と見田宗介。2人の思想のポイントとは何か？2人は日本人と人類の未来をどう捉えているのか？大澤真幸によるインタビューと解説で、それぞれの思考の軌跡と今後の展望を浮かび上がらせる。

2019.11./ 254p

978-4-14-081802-2

本体 ¥1,300+税



毎日新聞 2019/12/22



**大名倒産<上>**

浅田 次郎 著

文藝春秋

泰平の世に積もりに積もった大借金に嫌気のさした先代は、縁の薄い末息子に腹を切らせて御家幕引きを謀る。そうとは知らぬ若殿に次々と難題が降りかかり…。『文藝春秋』連載を書籍化。

2019.12./ 351p

978-4-16-391139-7

本体 ¥1,600+税



毎日新聞 2019/12/22



**大名倒産<下>**

浅田 次郎 著

文藝春秋

若殿は倒産阻止を決意するが、家臣共々の努力も焼け石に水。伝家の宝刀「お断り」で借金帳消しの不名誉を被るしかないのか。万策尽きた若殿に、七福神も手助けをし…。『文藝春秋』連載を書籍化。

2019.12./ 348p

978-4-16-391140-3

本体 ¥1,600+税



毎日新聞 2019/12/22



**喉禽抄～上村淳之が語る花鳥画・京都・松園と松篁～**

上村 淳之、木村 未来 著

淡交社

松園、松篁、淳之。上村三代の歩みをたどり、日本画の明日への想いはめぐる…。足かけ27年に及ぶ淳之への取材をもとに、花鳥画の大家が次代に託す、貴重な証言・提言を余さず綴る。カラー図版も収録。

2019.10./ 295p

978-4-473-04353-5

本体 ¥3,000+税



毎日新聞 2019/12/22



**暴力と不平等の人類史～戦争・革命・崩壊・疫病～**

ウォルター・シャイデル、鬼澤 忍、塩原 通緒 著

東洋経済新報社

平等は破壊の後にやってくる。「第二次大戦後の日本」250万人戦死→トップ1%の富が9割下落、「西ローマ帝国の崩壊」支配層の消滅→搾取の終焉・生活向上…。石器時代から現代まで、世界各国の不平等の歴史を描き出す。

2019.6./ 10p, 582p, 141p

978-4-492-31516-3

本体 ¥5,400+税



毎日新聞 2019/12/22



**人間**

又吉 直樹 著

毎日新聞出版

38歳の誕生日に届いた、ある騒動の報せ。何者かになろうとあがいた季節の果てで、かつての若者達を待ち受けていたものとは？又吉直樹、初の長編小説。『毎日新聞』連載を加筆し単行本化。

2019.10./ 366p

978-4-620-10843-8

本体 ¥1,400+税



毎日新聞 2019/12/22



### 41歳の東大生

小川 和人 著  
草思社

妻子があり、郵便配達員として働きつつ、41歳の時に6年がかりで東大に合格した著者。どうやって昼間の仕事を続けながら大学に通い、4年間で卒業することができたのか。前代未聞の「学び直し」に挑んだ中年男性の実話。

2019:11./ 294p

978-4-7942-2423-1

本体 ¥1,500+税



毎日新聞 2019/12/22



### 近代出版史探索

小田 光雄 著  
論創社

古本屋散策から見えてくるものとは? 古本の世界を渉猟するうちに、人物と書物が無限に連鎖し、歴史の闇に消えた近代出版史が浮き彫りになる。ブログ『出版・読書メモランダム』連載「古本夜話」を加筆修正し単行本化。

2019:10./ 727p

978-4-8460-1879-5

本体 ¥6,000+税



毎日新聞 2019/12/22



### プラヴィエクとそのほかの時代(東欧の想像力 16)

オルガ・トカルチュク 著  
松籟社

ポーランドの南西部、国境地帯にあるとされる架空の村プラヴィエク。そこに暮らす人々の、ささやかな日常が、ポーランドの20世紀を映しだすとともに、全世界の摂理を、宇宙的神秘をもかいま見させ…。中東欧文学の傑作。

2019:11./ 367p

978-4-87984-383-8

本体 ¥2,600+税



毎日新聞 2019/12/22



### マイ・ストーリー

ミシェル・オバマ、長尾 莉紗、柴田 さとみ 著  
集英社

前アメリカ大統領夫人、ミシェル・オバマの回想録。優雅でユーモラス、そして率直な文章で、大統領一家の知られざる生活と、その特別な8年間を過ごしたホワイトハウスの内幕を鮮やかに綴る。

2019:8./ 579p 図版 16p

978-4-08-786117-4

本体 ¥2,300+税



毎日新聞 2019/12/22、朝日新聞 2019/12/28